

タジキスタン共和国
アフガニスタン・タジキスタン国境
バダフシャー地域における
農村開発プロジェクト
終了時評価調査報告書

平成27年3月
(2015年)

独立行政法人国際協力機構
農村開発部

農村
JR
15-026

タジキスタン共和国
アフガニスタン・タジキスタン国境
バダフシャー地域における
農村開発プロジェクト
終了時評価調査報告書

平成27年3月
(2015年)

独立行政法人国際協力機構
農村開発部

序 文

日本国政府は、タジキスタン共和国からの要請に基づき、同国のバダフシャー地域を対象に「アフガニスタン・タジキスタン国境バダフシャー地域における農村開発プロジェクト」を実施することを決定し、2012年2月1日に討議議事録（R/D）の署名を行い、3年間のプロジェクトとして実施しました。

本報告書は、2014年5月に実施した中間レビュー調査結果に加えて、プロジェクト終了時までの情報を盛り込み、終了時の評価結果を取りまとめました。

本調査に対しご協力とご支援をいただいた内外関係者の皆様に、心からの感謝の意を表します。

平成 27 年 3 月

独立行政法人国際協力機構
農村開発部長 北中 真人

目 次

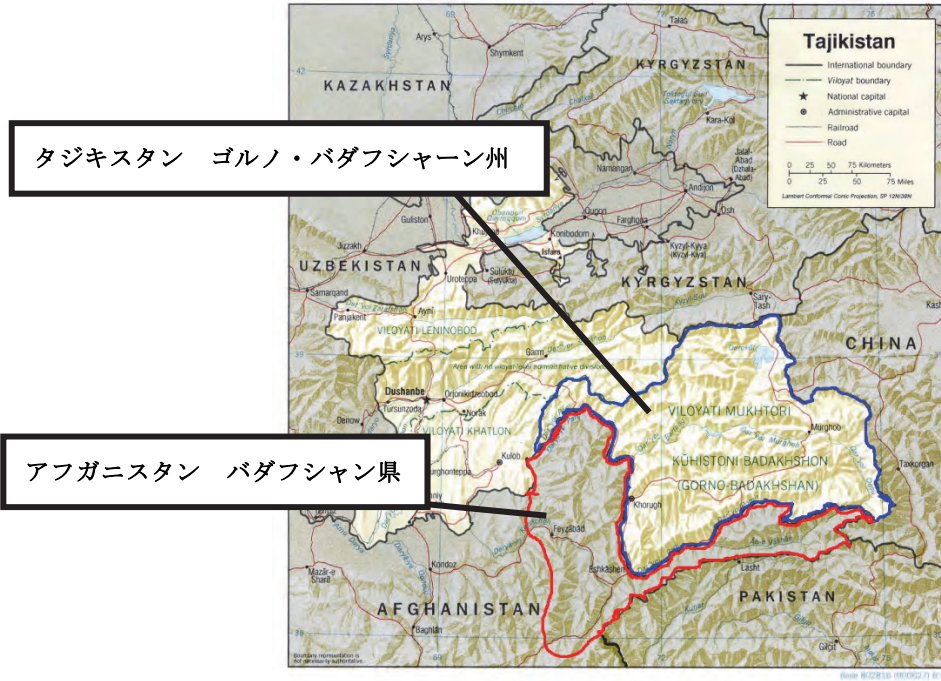
序 文
目 次
地 図
現地写真
略語表

第1章 終了時評価の概要	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 対象プロジェクトの概要	2
第2章 中間レビューの方法	4
2-1 評価の枠組みとデータ収集方法	4
2-2 主な調査項目	4
2-3 評価の制約	5
第3章 プロジェクトの実績と実施プロセス	6
3-1 投入実績	6
3-1-1 日本側投入実績	6
3-1-2 タジキスタン側投入	7
3-2 成果の達成状況	7
3-2-1 成果1	7
3-2-2 成果2	13
3-2-3 成果3	17
3-3 プロジェクト目標の達成状況	20
3-4 実施プロセス	21
第4章 評価結果	23
4-1 評価5項目による評価結果	23
4-1-1 妥当性：高い	23
4-1-2 有効性：高い	23
4-1-3 効率性：高い	25
4-1-4 インパクト：高い	25
4-1-5 持続性：おおむね高い	26
4-2 結論	27
第5章 提言	29
第6章 教訓	30

付属資料

1. 実施体制図	35
2. CBRD サブプロジェクトリスト	36
3. Project Logical Framework	39
4. Plan of Operation	40
5. List of Counterparts	41
6. List of Capacity Building Trainings and Experience Sharing Visit	43
7. Completion Inspection Report (完工調査報告書)	44

地 図



写

真

サブプロジェクト実施前

サブプロジェクト完工後



シュグナン県 Spinz 村 新設道路 (全長 2km)

以前は狭く危険な小道のみが村外へのアクセスであったが、道路完工後は州都ホログへのアクセスは 12km から 7km へと短縮した。車両も通行可能となり、保健施設、学校等へのアクセス時間が大幅に短縮した。



バンジ県 Ravgada 村 橋梁

以前は村を二分するように流れる川の上に丸太橋を架けて通行していたが、危険なうえに水量が増える春季や洪水の時期には、橋が流されることもしばしばであった。橋梁の完成により、老人や子どもも安全に川を渡ることが可能になった。



シュグナン県 Vozom 村 メディカルポイント

Vozom 村では、旧ソ連時代からのコンテナをメディカルポイントとして利用していたが、設備は老朽化し、冬季は寒さをしのぐことが難しかった。メディカルポイントが新設され、県政府により新しい機材も導入され、医療環境が改善した。

サブプロジェクト実施前	サブプロジェクト完工後
-------------	-------------



バンジ県 Rav 村 飲料水施設（上段）シュグナン県 Navobod 村 飲料水施設（中段）
 以前は川で水を汲んでおり、女性、子どもの多大な負担となっていたことに加えて、感染症の罹患率も高かった。飲料水施設が設置されたことにより、水汲みの労働負担が解消され、感染症の罹患率が下がった。



イシュカシム県 Ryn 村 中学校修復
 旧ソ連時代からの老朽化した校舎は天井や床がはがれ危険だった。校舎の修復を行い、生徒たちの学ぶ環境が大きく改善した。

略 語 表

略語	正式名称	日本語
AKF-A	Aga Khan Foundation Afghanistan	アガハーン財団アフガニスタン事務所
AKF-T	Aga Khan Foundation Tajikistan	アガハーン財団タジキスタン事務所
ASUDVO	Association of SUDVOs	村落開発社会組合連合（県レベル）
CBC	Cross-border Committee	クロスボーダー委員会
CBO	Community-Based Organization	地域住民組織
CBM	Cross-border Market	クロスボーダーマーケット
CBRD	Cross-border Rural Development (The Project for Rural Development Project in Tajik – Afghan Border Area of Gorno – Badakhshan Autonomous Oblast)	プロジェクト名称「アフガニスタン・タ ジキスタン国境バダフシャー地域に おける農村開発プロジェクト」の略称
CDC	Community Development Council (Afghanistan)	コミュニティ開発評議会 (アフガニスタン)
CLDC	Cluster Level Development Council (Afghanistan)	クラスターレベル開発評議会 (アフガニスタン)
CSO	Civil Society Organization	市民社会組織
C/P	Counterpart	カウンターパート
DAC	Development Assistance Committee (a committee in the Organization for Economic Co-operation and Development)	経済協力開発機構 開発援助委員会
DDA	District Development Assembly (Afghanistan)	郡開発評議会（アフガニスタン）
DDP	District Development Plan	県開発計画
GBAO	Gorno-Badakhshan Autonomous Oblast	ゴルノ・バダフシャー自治州
GIZ	Deutsche Gesellschaft für Internationale Zusammenarbeit	ドイツ国際協力公社
GoJ	Government of Japan	日本政府
GoT	Government of the Republic of Tajikistan	タジキスタン共和国政府
JICA	Japan International Cooperation Agency	独立行政法人 国際協力機構
JCC	Joint Coordination Committee	合同調整委員会
JDP	Jamoat (Sub-District) Development Plan	郡開発計画
KfW	Bank aus Verantwortung	ドイツ復興金融公庫
MLO	Micro Lending Organization	小規模融資機関
MSDSP	Mountain Societies Development Support Programme	山岳地域開発支援プログラム (アガハーン財団の一実施部門)
NGO	Non-governmental Organizations	非政府組織
OVOP	One Village One Product (activities/project)	一村一品（活動/プロジェクト）

略語	正式名称	日本語
PDM/PLF	Project Design Matrix/Project Logical Framework (used interchangeably)	プロジェクト・デザイン・マトリックス/プロジェクトログフレーム
PO	Plan of Operations	活動計画
SDC	Swiss Agency for Development and Cooperation	スイス開発協力機構
SUDVO	Social Unions for the Development of Village	村落開発社会組合（郡レベル）
TVG	Technical Verification Group (at the oblast level)	テクニカル・ベリフィケーション・グループ（州に設置）
TWG	Technical Working Group (at the district level)	テクニカル・ワーキング・グループ（各県に設置）
VDP	Village Development Plan	村落開発計画
UCA	University of Central Asia	中央アジア大学（アガハーン開発ネットワーク系列大学）
USAID	United States Agency for International Development	米国国際開発庁
VO	Village Organization	村落組織
WUA	Water Users Association (at sub-district level)	水管理組合（郡レベル）
WUC	Water Users Committee (at village level)	水管理委員会（村落レベル）
WFP	United Nations World Food Programme	国連食糧計画

交換レート

USD1 ≙ TJS 5.5（タジキスタン・ソモニ）

TJS 1 ≙ JPY28

第1章 終了時評価の概要

1-1 調査団派遣の経緯と目的

アフガニスタン・タジキスタン共和国（以下、「タジキスタン」と記す）の両国にまたがるゴルノ・バダフシャーン地域は、天然資源、文化、言語等を共有し、地理的にも中央アジア、中国、パキスタンをつなぐ通商、文化の中継地として開発ポテンシャルを有する。他方、タジキスタン側のゴルノ・バダフシャーン自治区では、2007年の貧困人口比率は84%と全国平均を大幅に上回る。家族1名以上が州外で出稼ぎ労働中の世帯が全世帯の半数に上り、家計は外国、特にロシアからの仕送りに依存している。このため最貧農村地域の活性化を支える基礎的な社会サービスの充実と地元経済の成長を牽引する経済活動の活性化が喫緊の課題となっている。

同地域では、タジキスタン国内24県（District）の1,350の村落組織（Village Organizations：VOs）においてエネルギー、教育、保健、経済等、幅広い分野の社会開発事業を実施してきた国際NGOアガハーン財団（Aga Khan Foundation：AKF）が、1990年代から活動を展開している。

タジキスタン政府の要請を受け、「アフガニスタン・タジキスタン国境バダフシャーン地域における農村開発プロジェクト」“Cross-border Rural Development (The Project for Rural Development Project in Tajik – Afghan Border Area of Gorno – Badakhshan Autonomous Oblast)：CBRD”（以下「本プロジェクト」）では、同地域で十分な実績と実施体制をもつアガハーン財団タジキスタン事務所（AKF-T）及びその実働部門である山岳地域開発支援プログラム（Mountain Societies Development Support Programme：MSDSP）との連携により、JICA単独ではアクセスできなかったアフガニスタン・タジキスタン国境バダフシャーン地域のうち、アフガニスタン国境に隣接する同自治州内5県を対象として①コミュニティ・インフラ整備、②ローカルガバナンス組織の能力強化、③タジキスタン、アフガニスタンの経験交流、協力体制の構築を柱とする本プロジェクトを実施している。ゴルノ・バダフシャーン自治州政府（Gorno-Badakhshan Autonomous Oblast：GBAO）は住民参加型の地域開発を推進しており、AKF/MSDSP支援のもと、最少行政単位各郡に村落開発社会組合（郡レベル）（Social Unions for the Development of Village：SUDVOs¹）を形成し、さらに本プロジェクトでの新たな試みとして、住民と行政をつなぎ連携を促進するため村落開発社会組合連合（県レベル）（Associations of SUDVO：ASUDVOs）を各県に設置している。本プロジェクトでは上記ローカルガバナンスの仕組みに沿って、村落開発計画策定、SUDVO/ASUDVOによる優先順位付/承認、小規模インフラ事業の実施・モニタリングのプロセスを通じたステークホルダーの能力強化を図ってきた。

今般、本プロジェクトが終了するにあたって、活動進捗、計画達成度の確認、評価5項目の観点からの検証を行うとともに、今後の方向性にかかる提言を取りまとめることを目的として、終了時評価調査を実施した。なお、中間レビュー調査の実施がプロジェクト終了から9カ月前となったため、効率性の観点から終了時評価調査団の派遣は行わず、終了時評価は中間レビュー時以降の情報を更新し、机上評価を行った。

¹ 10～20のVillage Organizationsを統括

1-2 対象プロジェクトの概要

(1) 協力期間

2012年2月～2015年2月

(2) 協力相手先機関

ゴルノ・バダフシャーン自治州（Gorno-Badakhshan Autonomous Oblast : GBAO）政府及び
対象県政府

事業委託先: アガハーン財団タジキスタン事務所 (AKF-T) 及びその実働部門である MSDSP

(3) 事業実績

約3億3,000万円

(4) プロジェクトサイト

アフガニスタン・タジキスタン国境バダフシャーン地域内の5県（ダルバズ県、バンジ県、
ロシヤン県、シュグナン県、イシュカシム県）

(5) 上位目標

対象地域（ゴルノ・バダフシャーン自治州5県）において住民の生活が向上する。

(6) プロジェクト目標

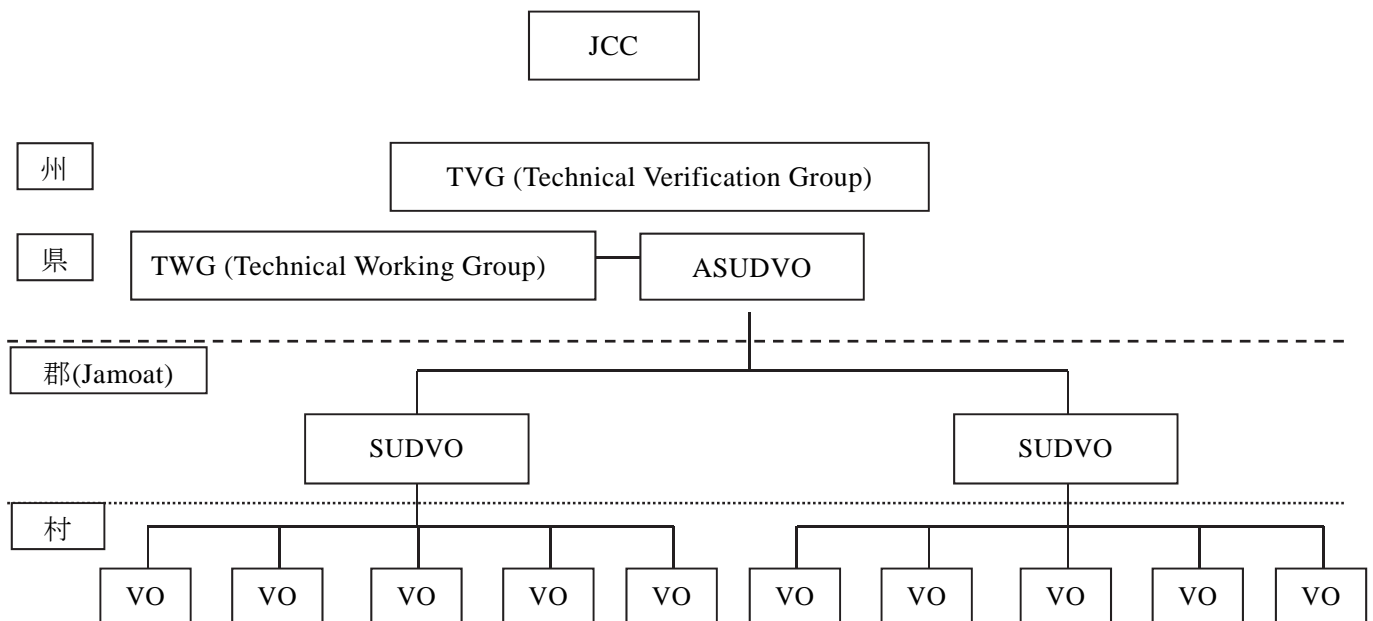
対象地域における住民への社会サービスが向上する。

(7) 成果

- 1) 農村生活や生計向上の基盤となる基礎インフラの整備状況が改善する。
- 2) ローカルガバナンス組織が住民の必要に基づいた社会サービスを提供できる能力（ニーズ発掘計画策定、事業管理）を備える。
- 3) タジキスタン側行政組織とアフガニスタン側行政組織の協力体制が強化される。

（参考）協力対象県データ

県名	ダルバズ Darwaz	バンジ Vanj	ロシヤン Rushan	シュグナン Shugnan	イシュカシム Ishkashim	合計
人口	23,600	30,400	25,300	38,000	28,400	145,700
世帯数	3,281	4,191	4,551	5,348	3,613	20,984
VOs数	58	71	56	71	74	330
SUDVOs数	4	6	7	7	7	31



(参考) 実施体制図 (詳細は付属資料 1 参照)

JCC (Joint Coordination Committee) : 合同調整委員会

TVG (Technical Verification Group) : テクニカル・ベリフィケーション・グループ (州レベルで開発計画・事業を協議するプラットフォーム)

TWG (Technical Working Group) : テクニカル・ワーキング・グループ (県レベルで開発計画・事業を協議するプラットフォーム)

ASUDVO (Association of SUDVO) : 村落開発社会組合連合 (県レベルにおける SUDVO の連合体)

SUDVO (Social Unions for the Development of Village) : 村落開発社会組合 (郡レベルの住民組織)

VO (Village Organization) : 村落組織

第2章 中間レビューの方法

2-1 評価の枠組みとデータ収集方法

本終了時評価調査では、中間レビュー調査において実施した①実績の検証、②実施プロセスの検証、③因果関係の検証、④評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）の分析と、終了時評価時点の情報をもとに考察を加え、机上評価を行った。

データ収集については、中間レビュー調査時以降の文献レビュー・分析を追加で行った。

- ・ AKF/MSDSP 各種報告書（四半期報告書、年次報告書等）
- ・ 長期専門家月次報告書、出張報告書、業務完了報告書
- ・ 44件のインフラサブプロジェクトにかかる完工調査²
- ・ エンドラインサーベイ³

2-2 主な調査項目

(1) 成果ごとの主な調査項目

成果1：農村生活や生計向上の基盤となる基礎インフラの整備状況が改善する
<ul style="list-style-type: none"> ・ サブプロジェクトの選定過程、入札・調達過程、工事進捗及び施工管理/モニタリング体制 ・ 運営維持管理体制と施設効果
成果2：ローカルガバナンス組織が住民の必要に基づいた社会サービスを提供できる能力（ニーズ発掘・計画策定、事業管理）を備える
<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ開発での VO、SUDVO、ASUDVO、郡/県/州政府、TWG、TVG の機能・役割分担 ・ 成果1の取り組み過程での関係者の稼働・協働状況、信頼関係の変化 ・ 実施した能力強化研修及び経験交流事業の概要、参加者の内訳 ・ ASUDVO の選定経緯、活動状況、費用負担、抱える課題、今後の活動継続性 ・ その他各ステークホルダーの活動状況、財政的状況、制度的位置づけ、課題等
成果3：タジキスタン側行政組織とアフガニスタン側行政組織の協力体制が強化される
<ul style="list-style-type: none"> ・ クロスボーダー経験交流の実施状況、参加者の内訳 ・ クロスボーダーマーケットの状況 ・ 外部条件の影響有無

(2) 評価5項目にかかる主な調査項目

妥当性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 開発ニーズの把握（コミュニティ及び郡/県/州政府のニーズ） ・ タジキスタン政府、GBAO 政府の政策変化 ・ 日本政府及び JICA の政策及び重点課題の変化

² 中間レビュー調査団の提言に基づき、44件のサブプロジェクト完工状況を ASUDVO が調査した。3-2-1「成果の達成状況（成果1）」に詳細を記載。

³ ベースライン調査と比較し本プロジェクト（CBRD）のインパクトを分析するため、AKF が主体となって実施。

有効性
<ul style="list-style-type: none"> ・ サブプロジェクトの選定結果と開発ニーズとの整合 ・ サブプロジェクトの選定過程への住民関与、参加度合い ・ クロスボーダー事業の内容、必要性、政府/住民の意向 ・ 各成果とプロジェクト目標達成の関係性、外部条件の影響
効率性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 投入のタイミング、規模、質、量 ・ サブプロジェクトの調達・工事プロセス（入札・契約・工事施工管理） ・ 他の資金源による事業との連携 ・ プロジェクト管理における貢献/阻害要因（自然条件、治安等）
インパクト
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置インフラのもたらした/もたらし得る効果 ・ 政府/住民組織の意思決定・行動変容 ・ 上記2点と上位目標達成との関係性 ・ 政治、社会、環境への正負の影響
持続性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置インフラの運営・維持管理体制 ・ 住民参加型開発の実施体制の定着度合い ・ クロスボーダー事業の定着度合い、継続見込み

(3) 実施プロセスにかかる主な調査項目

<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクト・マネジメント状況〔モニタリング体制、意思決定過程、発生した問題の原因・対処・結果、関係者（JICA、AKF/MSDSP、GBAO 政府）間の意思疎通〕 ・ 政府の関与度合い、モチベーション、オーナーシップの変化 ・ 他ドナーによる活動との連携・相乗効果 ・ AKF/MSDSP への業務委託事業の特徴、優位性
--

2-3 評価の制約

既述のとおり、終了時評価は現地調査を行わず文献レビューによって実施したため、Project Logical Framework（PDM にあたる）に掲げられた各成果・プロジェクト目標等の指標の一部について、的確に対応するデータの入手は困難であった。しかしながら、完工調査やエンドラインサーベイを通して指標に関連する定量・定性的データが得られており、それらを基に分析を行った。

第3章 プロジェクトの実績と実施プロセス

3-1 投入実績

3-1-1 日本側投入実績

(1) AKF-T への委託事業：US\$2,800,000（3年間）

本プロジェクトが開始された2012年2月から2014年3月末までにUS\$1,027,928が執行され、最終年度となる2014年度にUS\$1,772,072が執行予定である。表3-1のとおり委託金額の8割近くが能力強化活動とインフラ整備事業で構成される事業費に充てられ、オペレーション経費、間接経費は2割程度に抑えられている。

表3-1 AKF 委託事業費内訳

(単位:US\$)

会計年度 費目	契約時 配分額	2011 (執行済)	2012 (執行済)	2013 (執行済)	2014 (執行予定) ⁴	最新 配分額	%
人件費	193,422	3,433	53,869	62,767	74,269	194,338	7
旅費・交通費	187,101	589	31,202	34,548	50,500	116,839	4
事業費	2,057,600	394	63,669	648,561	1,433,292	2,145,915	76.7
能力強化事業	(207,600)	(394)	(63,669)	(66,496)	(51,468)	(182,026)	(6.5)
インフラ整備費	(1,850,000)	(0)	(0)	(582,065)	(1,381,824)	(1,963,889)	(70.2)
事務所備品等	16,423	0	15,958	0	3,300	19,258	0.7
その他業務費	90,906	140	20,780	10,672	40,539	72,131	2.6
間接費	254,547	0	17,759	63,587	170,173	251,518	9
合計 (US\$)	2,800,000	4,555	203,238	820,135	1,772,072	2,800,000	100

出所：プロジェクト会計報告に基づき作成

(2) 専門家派遣

AKF への委託事業の進捗管理、モニタリング及びタジキスタン政府、GBAO 政府、コミュニティ関係者、JICA 本部、タジキスタン支所、アフガニスタン事務所との連絡調整を担う「コミュニティ開発・業務調整」長期専門家1名がAKF ドシャンベオオフィスに配属されている。GBAO における事業の進捗管理及びモニタリングは出張ベースで行われている。

また今後、2014年度第2四半期に「参加型ファシリテーション」の短期専門家1名の派遣（2人/日程度）が予定されている。

表3-2 専門家派遣実績及び今後の派遣計画

専門分野	派遣期間
長期専門家 コミュニティ開発・業務調整	2012年9月～2014年12月
短期専門家 参加型ファシリテーション	2014年8月～（0.7人/日）

出所：農村開発部資料より作成

⁴ 終了時評価調査実施時点では精算が未完了のため、執行予定額を記載した。

(3) 研修員受入

2013年度に本邦で実施された集団研修「JICA-NGO 連携による実践的参加型コミュニティ開発」に表3-3のとおり MSDSP の主要スタッフが参加した。

表3-3 研修員受入れ実績

研修員名	研修員職位	研修期間
Mr. Shodomon Hojibekov	Deputy General Manager, MSDSP	2013.8.19～10.5
Mr. Bakhtiyor Azizmamadov	Regional Manager, MSDSP	2013.8.19～10.5

3-1-2 タジキスタン側投入

- (1) カウンターパートの配置：ゴルノ・バダフシャーン自治州経済開発・計画局
(カウンターパートリスト 付属資料5)
- (2) ローカルコスト負担：なし

3-2 成果の達成状況

3-2-1 成果1

成果1：農村生活や生計向上の基盤となる基礎インフラの整備状況が改善する。

指標

- (1) 整備された基礎インフラ事業数が42件以上となる。
- (2) 基礎インフラへのアクセス率が24%まで改善する。
- (3) 基礎インフラの利用住民の満足度が上がる。

【達成状況：良好】

(1) インフラ整備事業の選定過程

- 1) 対象地域内にある計326のVillage Organization (VO)のうち、324のVOsが既存の村落開発計画 (Village Development Plan : VDP)⁵を更新し、うち298のVOsから計画に基づくコミュニティ・インフラ整備事業 (インフラサブプロジェクト) 計498件が申請された。VOレベルでは、コミュニティ構成員である老若男女の幅広いニーズの聞き取りに注意が払われた。課題により郡 (Jamoat) 政府、MSDSP、ASUDVO、VOリーダーが調整役を果たした。郡 (Jamoat) レベルの選定会議では、すべてのVOリーダーが提出のインフラサブプロジェクトのプレゼンテーションを行い、住民が近隣村のニーズ、課題を把握・共有する機会となった。
- 2) 郡→県→州の各段階で郡/県行政と住民組織 SUDVOs/ASUDVOs が協働でサブプロジェクト内容の検討・審査を行い、最終的に44件に絞り込まれた。選定基準として裨益率、直面する課題の深刻度が検討され、各県 TWG における選定では、Pairwise Ranking

⁵ VDPは1997年にSwiss Agency for Development Cooperation (SDC)の支援を受けて、MSDSPが導入した。定型様式があり、主な記載内容は以下のとおり。1) 人口・構成員、公共財 (自然資源含む property)、経済状況・経済活動、開発ポテンシャル、既存インフラ、2) VOと外部組織とのネットワーク (MSDSP、県政府、NGO、ドナー等)の現状、3) 必要な支援・事業リスト [①人材配置 (医師、建築士、教師等)、②インフラ整備]と必要理由。

Matrix (PRM) が用いられた。

- 3) サブプロジェクト 44 件の内訳は表 3-4 のとおり。1 件当たりの平均単価は約 US\$44,700、最大はイシュカシム県中等学校改修（ホール含む 16 室）US\$127,363、最小はイシュカシム県小規模灌漑施設改修（3km）US\$10,268 となっている。

表 3-4 サブプロジェクト 44 件の内訳

インフラ種類	件数 (%)	インフラ種類	件数 (%)
飲料水供給施設設置	11 件 (25)	橋梁修復	3 件 (7)
小規模灌漑施設設置	7 件 (16)	小水力発電施設（一部）の改修	3 件 (7)
学校改修・教室拡張	7 件 (16)	スポーツ施設設置	1 件 (2)
保健施設設置・改修	6 件 (14)	公衆トイレ設置	1 件 (2)
道路整備	4 件 (9)	護岸工事	1 件 (2)

- 4) 選定過程では、既に県政府の戦略計画 (Strategic Plan) に掲載され、予算措置のめどがたっているものは、本プロジェクトでの支援対象から除外され、またプロジェクトにより選定されたサブプロジェクトは新たに戦略計画に反映された。村落のニーズがボトムアップで郡、県に共有され、県レベルの政策に生かされるメカニズムがインフラ整備過程で形成された。

(2) 調達・実施管理

- 1) 入札はタジキスタン政府及び JICA のルールに沿って、MSDSP が実施した。行政規則により、公共施設は政府登録設計業者によって詳細設計される必要がある。このため設計業者の入札・設計を経て、セクターごとの工事業者の入札を行い、計 6 回の入札で 93 社の応札があった。公告はホログ及び首都ドシャンベでも行われ、開札は GBAO 政府、MSDSP、JICA の立ち会いのもと、適正な手続き⁶により行われた。
- 2) 地方都市ホログでの工事に GBAO 外に拠点のある業者の関心が集まらず⁷、また小水力発電等の一部セクターでは、施工可能な業者数が限られるなどの理由で、入札成立を満たせないケースがあった。また落札業者が当該工事に必要な経験、技術を有しないため、再入札も生じた⁸。問題発生時における調達ルールの弾力的運用が必要であり、プロジェクトと JICA との間でより密な情報交換が必要だった可能性がある。

(3) 工事完工状況

- 1) 2015 年 2 月までにサブプロジェクト 44 の工事が完工済みである。一方、2014 年 11

⁶ 入札告示は新聞（全国・ローカル）、UNDP ウェブサイトで行い、行政ルールに基づき tendering committee を設置し、入札には州政府を含む JCC メンバーが参加した。選定結果は VO を含む関係者及びすべての参加業者に通知・説明された。入札手続きに不慣れな業者もあったが、入札ルールの説明や、提出書類に不備がないよう助言を行うなど、現地業者への指導、キャパシティ・ビルディングも適宜行われたことが MSDSP 担当者の聞き取りから確認された。

⁷ 大半の工事は、GBAO にある地元業者が請け負ったが、一部ドシャンベの業者が落札したものもある。シュグナン県灌漑水路修復工事では、ドシャンベの落札業者が、仕様の合わない資材を搬入し、資材の再調達・再搬入の手配が遅れている事例があり、MSDSP、郡長等が対応中である。現地調査サイトで各 VO から聞き取った限りでは、総じて地元施工業者のほうが実情にあった適正技術や工事実績があり、また輸送・通信コスト面でも有利であるように観察された。

⁸ 複数インフラサブプロジェクトを受注した業者が、結果的にキャパシティオーバーとなり、一部インフラサブプロジェクトの契約撤回が生じ、再入札となった事例も報告された。

月の専門家の現場踏査において、個別事由により完工後に追加工事や補修作業の必要があるインフラサブプロジェクトについて確認し、最終的に 19 サブプロジェクトについて追加作業を実施した。事由は主に、運用後の不具合発覚、洪水などの自然災害による施設破損、または住民からの追加整備等の要請である。19 サブプロジェクトのうち 12 サブプロジェクトについては追加経費が発生した。これら追加作業についても 2015 年 2 月までに終了している。

- 2) サブプロジェクト実施過程で、工事契約とは別に、建設業者、VO、SUDVO、ASUDVO、郡/県政府、MSDSP 間で、それぞれの役割、責任を明確化した合意文書が結ばれ、各者の密な情報交換のもとに実施管理・工事進捗モニタリングがなされた。
- 3) 技術的な施工管理は、MSDSP のエンジニア（5 名体制）が詳細設計書に照らし合わせ、定期的実施した。サイト踏査には VO 長と SUDVO が同行し、問題がある場合は、書面による改善指導が業者になされ、MSDSP 各県事務所が業者の対応状況をモニタリングし、適切なモニタリング・施工管理体制がとられた⁹。

(4) インフラ整備事業における住民の貢献

- ・ 専門家の現場踏査及び完工調査の結果、住民がインフラ工事のために、送水路/側溝掘削作業の労働力や土地、労働者の食事等、何らかの支援を提供していることが確認された¹⁰。また、飲料水事業など新規整備事業では、全インフラサブプロジェクトにおいて VO レベルでの水利管理組合が設立され¹¹、組合費集金や管理担当者設置など維持管理システム構築を積極的に行っている。これらのほか、資金（VO メンバー会費による VO 基金からの拠出）の提供もなされ、住民の高いイニシアティブやオーナーシップが確認された。

(5) 政府と住民（住民組織）との連携・協働

- 1) 工事中に郡/県政府が資材不足を補填した事例¹²や、道路整備で当初工事区間に加え、近隣村落までの延長区間分の建設工事費用を県政府主導で資金調達を行った事例が報告された。建設業者と住民間のもめ事が生じた事例¹³もあるが、郡/県政府が ASUDVO、MSDSP とともに仲裁に入るなど、インフラ整備に対する住民、行政双方の主体性、オーナーシップの高まりが観察された。

⁹ モニタリングの過程で、詳細設計の変更の必要が生じた事例もあるが、適切な対応がとられた。シュグナン県のスポーツ施設改修工事で、住民の要請に応じ、施設からの隣家への落雪を回避するため、屋根の形状を変更する必要が生じた。建設業者と関係者が協議のうえ、設計会社による設計修正を経て、変更案を VO リーダー、SUDVO、MSDSP が再確認し、工事が再開された。また同県の橋梁補修では、木製橋板仕様の設計がなされたが、車両用の橋梁であることから、住民から鉄板への変更要請があり、住民、MSDSP、ASUDVO を交え協議のうえ、要請が受け入れられた。学校の改修では、学期中の授業への支障が生じないよう工程管理上の配慮がなされていた。

¹⁰ シュグナン県 Spinz 村の全長 2km の山岳道路新設工事では、住民の申し出により、道路建設用地が無償で提供された。また一部 200m の工事は岩場のため建設機械を数台搬入して行ったが、同時並行で住民がボランティアで、落石防止壁を道路谷川に設置し、道路幅を拡張するなどの作業を支援した。作業地より下降の幹線道路にある他村の民家より、工事中の落石への懸念・クレームが寄せられたために講じられた対応である。このほかにも、多くの住民による工事支援の事例が確認された。

¹¹ 以前は郡レベルの水利組合（WUA）は存在し、主に灌漑用水利用管理として機能していたが、VO レベルの組合（WUC）を設立している所は少なかった。

¹² ダルバズ県 Yoged 村の灌漑施設サイトでは、当初想定以上にセメントが必要となることが判明し、協議の結果、県政府が 2t のセメントを提供した。

¹³ イシュカシム県 Andarob 村の給水事業では、村人たちが業者に委託せず、自分たちで工事を行うと主張したが、県政府が仲介し、建設基準を満たすために、業者の必要性を説得し、工事が再開された。

2) 完工調査(「(6)インフラサブプロジェクト完工後の引き渡しと維持管理体制」)の結果、サブプロジェクトの実施という共通の課題を通じ、インフラサブプロジェクト選定、モニタリング、問題解決等の協働作業をもつことによって、それぞれの役割を認識し、関与したことが確認された。ほとんどのサブプロジェクトにおいて、行政のモニタリング、技術/財政支援が行われている。また、保健及び教育施設事業では、住民のニーズが高いうえ、施設が県管轄であったことで、全サブプロジェクトでの完工後の県行政による維持管理体制が整備されているという結果が出ている。

(6) インフラサブプロジェクト完工後の引き渡しと維持管理体制

- 1) 完工検査は MSDSP のエンジニアと各県政府の建築技師が実施し、瑕疵がなければ、MSDSP が引き渡しレターを VO 及び県政府に対して発行した。
- 2) インフラ施設は、完工後、各県行政の所定部局（灌漑・水事業局、コミュニアルサービス局、保健局、教育局、道路維持管理事業局等）の管轄下、あるいは郡行政、VO の管轄下に置かれ、日常的な維持管理は各 VO が担うことが確認された。VO は村内公共施設の維持管理やその他の活動のために VO 基金を設定しており、中間レビュー調査時に訪問した VO のいくつかは、既に 6 万～10 万ソモニの VO 基金を運用していた。通常、世帯ごとの徴収額は 5～10 ソモニ/月だが、世帯の家計状況が配慮されている。また VO 基金には、出稼ぎ労働者からも出資がある。給水、灌漑施設では VO 内に水管理組合が設置され、利用料（1～5 ソモニ程度）を徴収し、維持管理に充てられる。維持管理費から有償で水管理担当者を配置する VO もある¹⁴。
- 3) 中間レビュー調査団より、サブプロジェクトの成果・インパクト、完工後の維持管理システム確認のための完工調査の実施が提言され、第 2 回合同調整委員会（Joint Coordination Committee : JCC）でその実施が決定された。2015 年 2 月に提出された同調査報告書¹⁵によると、ほとんどのサブプロジェクトでは、実施中あるいは完工後に維持管理のシステムが構築されており、実践、運営していた。具体的には水利組合の設立、会費の徴収、有償/無償による管理担当者等の配置である。コミュニティ（裨益者）のサブプロジェクトへのかかわりは、地域によって違いはあるものの、おおむね積極的にかかわりをもっているという結果が出た。また AKF より提出されたエンドライン調査によると、地方行政（郡、県）も計画段階の協議への参加をはじめとして、実施中のモニタリングや完工確認などの一連のプロセスにかかわっているという結果が出た¹⁶。完工調査では、住民のサブプロジェクトへの満足度や事業実施前後のインパクトを測るには期間が短すぎたが、一部のサブプロジェクトではよい効果がみられた¹⁷。

¹⁴ 調査団が訪問したシュグナン県の VO では、世帯ごとの給水施設利用料は 3～5 ソモニ/月が一般的であったが、バンジ県の ASUDVO からは 10 ソモニ/月を徴集し、専従管理者を配置している事例が紹介された。

¹⁵ 2014 年 8 月より開始し、2015 年 2 月に報告書が提出された。サブプロジェクト対象 44 件をセクター（8 分野：飲料水、灌漑、保健、教育、道路橋梁、小水力発電施設、スポーツ、川岸整備）ごとに質問票を作成し、サブプロジェクトごとに選定した関係者に聞き取りを行った。これは加えて ASUDVO の実践的人材育成（On-the-Job Training）も兼ねており、調査開始前には 2 度の説明会を行い、実施後にはフィードバックセッションを行った。質問票は JICA 専門家と MSDSP スタッフで作成し、ASUDVO が聞き取りと情報収集を行い、回答の取りまとめ、報告書作成を JICA 専門家が担当した。

¹⁶ Jamoat（郡）の調査により、全体の 95%が案件を十分認識しており、また計画/調整/実施/最終モニタリングの一連の段階にかかわる割合は全体の 66%という結果であった。

¹⁷ 川岸整備では、住民から「洪水以外の脅威が減少した」という回答や、灌漑では農作物の収穫量が増加したりといった回答が得られた。

(7) インフラへのアクセス率の指標

- 1) 2013年3月のJCCでアクセス率改善の目標値が24%に設定された。その後、2013年5月に提出されたベースライン調査報告書¹⁸では、基礎インフラへの物理的なアクセス率はそれを優に超える高い数値であった。数値だけを見れば、不当に低い目標値が設定されたことになる。一方、これらインフラは旧ソ連時代に設置され、老朽化が著しく、全面改修や大幅な修繕の必要性があり、インフラの質も加味して24%という数値が設定されたことが判明した。その後の中間レビュー調査において、調査団より適切な指標設定の提言を受けた。2014年7月の第2回JCCにおいて、AKFより設定値の変更を行わないとの意向を確認し、変更されなかった。
- 2) 2015年2月に提出されたエンドライン調査報告書¹⁹では、橋梁以外の道路、マーケット、電力、小規模灌漑、飲料水といった主要インフラへのアクセス率が100%に達成したと報告された。本プロジェクトで実施した橋梁インフラサブプロジェクトはシュグナン県(2事業)及びバンジ県(2事業)である。シュグナン県ではアクセス率が減少(-13%)したものの、バンジ県では19%近く改善している。シュグナン県の減少要因は未確認だが、本プロジェクト対象外の橋梁の老朽化や破損によるものと推測されプロジェクト実施とは直接関係ないものと考えられる。
- 3) 学校とメディカルポイントへのアクセス率については、それぞれ100%、92.8%とベースライン時より3~6ポイント増加している。メディカルポイントは各種医療施設のなかでも最も村人にとって身近であり、利用率も高いことが示された。
- 4) 上記のことから、本プロジェクトがめざした「質のあるインフラ施設へのアクセス率向上」は達成されたといえる。

表3-5 (1) 【ベースライン調査】主要インフラへのアクセス率

(%)

県名	道路	エネルギー	橋梁	灌漑施設	飲料水施設
ダルバズ	100	100	56.5	77.9	79.8
バンジ	100	98	76.3	99	32.7
ロシャン	100	98	73.3	81.1	64.2
シュグナン	99	99	73.3	100	73.2
イシュカシム	99	100	72.4	96.2	45.7
平均値	99.6	99	70.4	90.8	59.1

出所：「CBRD ベースライン調査報告書」2013年5月

¹⁸ ベースラインサーベイでは、調査員を採用・訓練のうえ、無為抽出によって選ばれた世帯に対し、質問表を使った聞き取り調査が行われた。サブプロジェクトの内容がまとまる前に、ベースラインサーベイの方法が決まっていたために、サブプロジェクトの効果検証に必要なサブプロジェクトごとのベースラインサーベイができなかったことが、MSDSP Regional officeの monitoring and evaluation officerの聞き取りから判明した。なお、AKF/MSDSP内でモニタリング/サーベイ実施機能が分散しており、MSDSP Central office (ドシャンベ)の monitoring and evaluation 部門がベースライン調査・モニタリングの方法論やツールを開発、データ分析を行い、Regional office (ホログ)の monitoring and evaluation officerが主に情報収集を担当する。また、AKFの monitoring and evaluation 部門が規模の大きなインパクト調査を担う分担体制である。またベースライン、エンドライン調査ともに実施にあたり州政府の事前承認が必要となる。

¹⁹ ベースラインサーベイの調査内容を踏襲しつつ、エンドライン調査はCBRDのサブプロジェクト実施地のみを対象として実施された。

表 3-5 (2) 【エンドライン調査】主要インフラへのアクセス率

(%)

県名	道路	エネルギー	橋梁	灌漑施設	飲料水施設
ダルバズ	100	100	47.5	100	100
バンジ	100	100	95.1	100	100
ロシヤン	100	100	100	100	100
シュグナン	100	100	60.3	100	100
イシュカシム	100	100	59.1	100	100
平均値	100	100	72.4	100	100

出所：「CBRD エンドライン調査報告書」2015年2月

(8) インフラ事業（インフラサブプロジェクト）の効果

完工調査及びエンドラインサーベイの結果から、各セクター（インフラ種類）の運営状況と効果について以下のように確認し、住民の満足度が向上していることが示された²⁰。

- ・ 飲料水事業（11件）では、全サブプロジェクトにおいて、完工後は飲料水が十分に供給されるようになった。また、サブプロジェクト効果としては、飲料水へのアクセス時間が短縮され、また、川や灌漑用水などとは別で安全な水が確保できたことから、感染症の罹患が減ったと報告された。全サブプロジェクトにおいて水管理組合を設置し、組合費の徴収を行い、維持管理を行っている。
- ・ 灌漑事業（7件）では、全サブプロジェクトにおいて、完工後は灌漑用水が十分に供給されるようになった。また約半数のサブプロジェクトでは、灌漑用地が以前より拡大したとの報告もあった。全7事業のうち2事業においては既に農作物の収穫量が増加したという事業効果も出ている²¹。ほとんどのサブプロジェクトで水管理組合を設置し、簡易な修復はコミュニティが担う体制が整っている。
- ・ 教育施設事業（7件）では、実施に施設を利用する教師と生徒に聞き取りを行ったところ、全サブプロジェクトの6割近く（57%）が、施設が改善したとの回答結果である²²。後述の保健施設事業同様、事業効果としては、ほぼすべての裨益住民がサブプロジェクトを認知しており、また行政/住民の双方がサブプロジェクト選定段階から協議に関与していることが確認された。完工調査では、住民からのサブプロジェクトへの肯定的・好意的評価が得られている。教育施設改善による具体的な効果は完工直後には確認できなかったが、中期的に発現すると期待される。
- ・ 保健施設事業（6件）では、全サブプロジェクトの8割（86%）が、施設が改善したとの回答結果である²³。短期的な事業効果としては、ほぼすべての裨益住民がサブプロジェクトを認知しており、また行政/住民の双方がサブプロジェクト選定段階から協議に関与していることが確認された。完工調査では、住民からのサブプロジェクト

²⁰ 完工調査の詳細は、付属資料7を参照のこと。

²¹ ダルバズ県 Yoged 村では、耕作地を 4ha 拡大し、ジャガイモ、タマネギ、家畜飼料等の収量が増加した。

²² 残りの 43% の回答は、「施設は改善したが、備品が古い、または不足している」という、施設の工事とは直接関係ない回答であった。これによれば、全サブプロジェクトにおいて施設改善しているという回答結果になる。

²³ 残りの 14% の回答は、「施設は改善したが、備品が古い、または不足している」という、施設の工事とは直接関係ない回答であった。これによれば、全サブプロジェクトにおいて住民が施設改善しているという回答結果になる。

への肯定的・好意的評価が得られている。保健施設改善による具体的な効果は完工直後には確認できなかったが、中期的に発現すると期待される。

- ・ 道路/橋梁事業（7件）では、特に冬期の交通事情が改善し、これまで危険であった道・橋の安全性が確保され、主要な施設（市場、保健医療施設、学校）への交通時間が大幅に短縮した。加えて、農産物取引などの経済活動が改善したという結果も得ている²⁴。ほとんどのサブプロジェクトで維持管理委員会を設置しており、組合費を徴収し、簡易な修復はコミュニティで担う体制が整っている。
- ・ 小水力発電周辺整備事業（3件）では、州内でも最もアクセスが困難なロシャン県バルタン溪谷で実施し、全サブプロジェクトで施設が改善したとの回答結果が出た²⁵。また全体の7割（67%）が、電力供給が安定したと回答している²⁶。コミュニティの各世帯のみならず、学校やクリニックなど公共施設への電力供給も安定したという効果がある。
- ・ スポーツ施設事業（1件）では、施設が改善したとの回答結果が出た。また、裨益住民がサブプロジェクトを十分に認知しており、行政/住民の双方がサブプロジェクト選定段階から協議に関与していることも確認された。スポーツ施設改善による具体的な効果は完工直後には確認できなかったが、中期的に発現すると期待される。
- ・ 護岸工事事業（1件）においては、完工後に十分な時間をおいての調査でないため、短期的に成果を測るのは難しいが、住民からは、護岸の状態に改善がみられた、これまで頻繁に起こっていた洪水被害への脅威が減少したとの回答結果を得ている。

3-2-2 成果2

成果2：ローカルガバナンス組織が住民の必要に基づいた社会サービスを提供できる能力（ニーズ発掘・計画策定、事業管理）を備える

指標

- (1) 対象地域住民の75%がASUDVOsの提供した事業に満足する。
- (2) 対象地域住民の70%が郡政府（Jamoats）の提供した事業に満足する。
- (3) 対象地域住民の65～70%が郡政府の提供した事業に満足する。
- (4) ASUDVOs、Jamoats、県政府各々の自己評価が上がる（1～5段階評価）。
- (5) ローカルガバナンス組織間の連携が増える（1～5段階評価）。

【達成状況：おおむね良好】

²⁴ 公共施設等へのアクセスは平均して30分から1時間程度短縮している。サブプロジェクト以前は交通が寸断されており州都のホログまで1～2日かかっていたところが、4時間でアクセス可能となった地域もある。シュグナン県Barsem村の橋は、輸送容量が5tから20tに増え、村への物資輸送状況が改善された。ベンジ県Ravgada村の橋は、県都へのアクセスを9kmから3kmに縮めた。

²⁵ Ravmed村では発電量が10kwtから20kwtに増加、Basid村では35kwtから70kwtに増加した。これまで照明のみの利用であったものが、テレビ、ラジオ、コンピュータ等の利用を可能にし、夜間に子どもたちが勉強し、女性が生計向上活動を行うことにも役立っている。

²⁶ 33%にあたる1サブプロジェクト（Pasor村他2村）は、発動機故障による電力供給一時停止が起因しており、CBRDのインフラサブプロジェクトの不備を指すものではない。なお、本サブプロジェクトについてはAKFとPamir Energyで新しい発動機購入、設置の対応が進められている。

(1) ローカルガバナンス組織の定着

- 1) プロジェクト開始前から活動している VO²⁷、SUDVO に加え、本プロジェクトでは、県レベルでコミュニティ開発を統括する ASUDVO を設置²⁸し、地域開発において行政とコミュニティを結ぶフォーカル機関として能力強化を行った。
- 2) また、県レベルの開発計画・事業を協議する場として Technical Working Group (TWG、構成員は県副知事、各行政局長、ASUDVO) が各県に設置され、県政府及び住民代表が協働・協議する開発事業運営のメカニズムが構築された。TWG はサブプロジェクト選定、工事实施管理、運営・管理の各ステージで調整機能を担い、経験を蓄積している。ダルバズ県では隔週に、その他 4 県では毎月、TWG 会合が開催された。
- 3) ボトムアップで吸い上げられた住民のニーズが TWG を通じて県政府の開発戦略計画 (District Strategic Plan) に反映された好例もあり (シュグナン県)、プロジェクト開始前は別個に進められてきた住民主導型開発と行政主導の開発計画策定が、本プロジェクトを通じて、統合される気運が生じている。また行政、住民組織それぞれのステークホルダーの役割・責任の明確化、多様なステークホルダーの巻き込みによる主体性の向上、透明性の確保といった効果がみられた。
- 4) 各県の ASUDVO はサブプロジェクトの実施管理に加え、より広範なコミュニティのニーズに応えるため、主体的にファンドレイジング活動を行い、他ドナーや政府からの支援を得て、食料配布 (シュグナン県、イシュカシム県) や洪水対策 (シュグナン県)、医療保険事業 (ロシャン県、イシュカシム県)、幼児教育事業 (全県) 等が実施された²⁹。また定期的に各村落を巡回し、農業技術や生活・生計向上にかかる情報発信を行うとともに、村落の状況を TWG にフィードバックしてきた。こうした AUSDVO の①プロジェクト実施管理、②プロジェクト形成・ファンドレイジング、③政府・ドナーに対する働きかけ (ロビーイング) といった活動は、政府、住民双方から高い評価を得ていることが確認された。AKF としては、将来的には現在の MSDSP の県事務所機能を ASUDVO に移転することを検討しており、引き続き ASUDVO の能力強化をめざして側面支援していく方針である。

²⁷ 調査団が訪問したシュグナン県内の VO はいずれも、管理・運営部、青年部、婦人部、宗教部、農業部等が組織され、村落活動が行われていた。定期的に全体及び部ごとの会合が開催され、集落内の課題や活動状況が共有されていた。

²⁸ ASUDVO は州法務局に登録された市民組織という位置づけとなる。現在活動中の 5 名の選出経緯は以下のとおり。

<シュグナン>SUDVO、MLO でボランティア活動を行ってきた経緯から、SUDVO により選出。

<イシュカシム>公募により選出。前職は MSDSP のファシリテータで Community-based Saving Group 事業を立ち上げた。

<ダルバズ>前任者が県政府教育局に転職のため、2013 年 8 月に着任。前職は VO リーダーだが、それ以前は県政府教育局勤務経験あり。SUDVO が 4 名の応募者のなかからテストを経て選出。

<ロシャン>旧ソ連時代は郵便局勤務でコミュニティと近い仕事に従事。1998 年に新設された VO で、当初は VO 会計担当、のちに VO リーダーを務めた後、SUDVO メンバーに選出。今回は SUDVO メンバーからの推薦で ASUDVO に。

<バンジ>8 年間、MSDSP 県オフィスで Participatory development officer として勤務後、ASUDVO に選出。

²⁹ 例えばシュグナン県 ASUDVO は、CBRD サブプロジェクト内で実施された住民の無償労働に対し、WFP から Food for Work (給水事業 7 件、灌漑事業 2 件) による支援を引き出したほか、県内僻地に対する Vulnerable Group Feeding Programme で、2013 年に US\$89,500、2014 年に US\$52,000 の食料支援を実施した。またイシュカシム県では、CBRD の対象外の 10 の VO で SDC 支援による給水事業を実施し、このなかで実施される住民の労働に対し、WFP の Food for Work による支援を獲得した。また Aga Khan Health Service の Community-based Health Finance(CBHF)を 8 つの僻地にある VO で実施し、救急医療 (搬送費、治療費、薬代) のための保険システムを導入した。ロシャン県でもイシュカシム県同様に、CBHF を展開。当初 15 の VO から開始したモデルを現在までに 36 の VO に拡大し、今後、全域に展開予定。この他に AKF Education の下で、県内ほぼ全 VO に Early Childhood Development Center を設置済。

(2) 能力強化研修、経験交流の実施状況

- 1) AUDVO を中心とする TWG メンバーは、表 3-6、3-7 のとおり開発計画策定・管理、問題解決などのための研修を受講し、域内での経験共有・交流のほか、キルギス、パキスタンの地域開発事業の視察を行った。GBAO 州経済開発局長、投資局長が、キルギス、パキスタンでの域外研修に参加したことで、カウンターパートとしてのモチベーションに好影響を与え、単に報告を受けるだけの受け身の姿勢から、本プロジェクトに対する自発的オーナーシップが高まり、以後、トラブルシューティングにも協力的になったことが専門家から報告されている。
- 2) 中間評価調査及び第 2 回 JCC にて JICA より経験共有機会や研修への郡政府の参加促進について指摘があった。その後、2014 年 5 月の域内経験交流機会、7 月の研修「Monitoring & Report Writing」には郡政府職員が参加した。また、2014 年 8 月の JICA 短期専門家によるコミュニティファシリテーション研修には、SUDVO も参加した。
- 3) 8 月に招聘した短期専門家（コミュニティファシリテーション）は、AKF、MSDSP、ASUDVO、SUDVO、州/県行政職員を対象に、研修を実施し、1) 事業のオーナーシップ、2) 課題分析、3) 維持管理を含む計画づくりについて、その重要性と具体的手法など実践を交えながら指導した。このコミュニティファシリテーション研修は参加者から大きな反響があり、特にローカルオーガナイザーの役割としての MSDSP、ASUDVO への影響は少なからずあった。研修終了後、ほとんどの参加者からこれまでの自分たちのやってきたこと見直し、改善する機会になったとの意見が出た。MSDSP はこのコミュニティファシリテーション研修を組織全体に広めることを計画している。ASUDVO は、研修で学んだこと（住民との対話法）を生かしてサブプロジェクトの完工調査で実践した。また、同短期専門家が AKF に対して VDP プロセス評価指導を行ったところ、AKF ではこれまでのプロセスを見直し、手法を改善するための作業を進めていくとしている。

表 3-6 ASUDVO 及び TWG 向け能力強化研修（実績と今後の予定）

	Training Title	Conducted by	Period	Target Group	Participants No.
1	Visioning Exercise	MSDSP PG specialist	1 day in April to June 2012	ASUDVOs	5 males
2	District-Level Priority Planning	MSDSP PG specialist	1 day in July to September 2012	ASUDVOs, TWGs & MSDSP Districts	13 males 2 females
3	Project Cycle Management (PCM)	NGO Kalam experienced specialist/trainers	2 days in October - December 2012	ASUDVOs & TWGs	10 males
4	Conflict Resolution	NGO Kalam experienced specialist/trainers	2 days in April - June 2013	ASUDVOs & TWGs	11 males
5	Gender for Development	Two qualified experienced trainers	2 days in April - June 2013	ASUDVOs & TWGs	10 males 1 female
6	Common Property Resource Management	A trainer with PhD in Economic science, Head of Economic, Management and Finance Department of Public Administration Institute under the President of the Republic of Tajikistan	2 days in October - December 2013	ASUDVOs & TWGs	10 males
7	Monitoring and Report Writing	MSDSP PMEU specialists will conduct the training	1 day in July 2014	ASUDVOs & TWGs & Jamoat	12 males 3 females

8	Community Facilitation Skills Training	Mr. Toyokazu Nakata JICA Short-term Expert	3 days * 2 times in August 2014	1 st ASUDVO & SUDVO & MSDSP 2 nd GBAO gov. & District gov. & AKF & MSDSP	1 st 22 males 3 females 2 nd 23 males 3 females
---	--	---	---------------------------------	---	--

出所：プロジェクト作成資料

表 3-7 域内経験交流・海外視察研修（実績）

Activity Title	Place/Location	Host Organization	Date visit	Target Group	Participants No.
In-country experience sharing visit	Shugnan district, GBAO	MSDSP	11 of January 2013	ASUDVOs, TWGs & NGOs	13 males
Experience sharing visit to Kyrgyz	Kyrgyz (Bishkek, Issyk-kul, Osh)	AKF Krg. & MSDSP Krg. JICA OVOP project	5 to 12 February 2013	ASUDVOs, TWGs and JCC	11 males 1 female
Experience sharing visit to Islamabad/Pakistan	Islamabad	Rural Support Programme Network	16 to 25 January 2014	ASUDVOs, TWGs and JCC	10 males
Peer learning events between ASUDVOs and TWGs (In-country)	Vanj district, GBAO	MSDSP	22 to 24 May 2014	ASUDVOs, TWGs	10 males

出所：プロジェクト作成資料

(3) ローカルガバナンス組織に対する住民の満足度

- 1) ベースラインとエンドライン調査で、教育と保健分野の各種施設への住民の満足度を調べたところ、教育分野では初等学校（primary）、中学校（secondary）施設への「とても満足している」という回答が、それぞれ 10 倍近く増加している。保健分野においては、メディカルポイントでは 2 倍、病院施設への満足度は 10 倍増加したという結果が出た。この結果から、これら施設を管轄している県行政への住民の満足度は増加傾向にあり、施設整備をサブプロジェクトにした本プロジェクトの関与が少なからず影響しているといえる。
- 2) JICA 専門家が現場踏査で住民への聞き取りを行ったところ、訪問した 37 サブプロジェクトのほとんどで、住民は行政の関与を認識しており、またサブプロジェクト実施に対し行政からの支援/協力を得たという意見も聞かれた。
- 3) 住民の満足度を直接示すデータは得られていないが、エンドラインサーベイでは、郡行政、県行政、ASUDVO がそれぞれ CBRD サブプロジェクトの計画・実施・モニタリングといったさまざまなプロセスにかかわってきたことが示されており、住民のローカルガバナンス組織に対する認知や満足は向上したと想定される。

(4) ローカルガバナンス組織の能力強化と連携の広がり

- 1) GBAO 政府からは副州知事や局長レベルが域内経験交流・海外視察研修及び能力強化研修に参加した。副州知事より、本プロジェクトはインフラサブプロジェクト実施だけでなく、行政職員への研修などのキャパシティ・デベロップメントにおいても大きく貢献したと評価を受けている。また経済開発局長は、本プロジェクトがこれまでの他事業と大きく違うのは、行政の積極的関与を促したことにあり、事業モニタリングや研修などを通じた行政の人材育成、及びプロジェクトを行政が管理する優良モデル事業と

なると、評価している。また、MSDSP、JICA と行政との連絡頻度が適切であり、常に双方の情報が把握でき、連携も良好であり、プロジェクトの手法/アプローチをモデルケースとして他の（GBAO 政府の）事業へも活用したい意向を伝えられた。

- 2) 県行政からは、主に TWG メンバーに対する各研修、アフガニスタン側との交流イベントなどへの参加があった。JICA 専門家はこれまで 4 県（シュグナン、イシュカシム、ロシャン、ダルバズ）の県知事/副知事と面会しており、そのうちシュグナン県知事からは、本プロジェクトについて、計画、実施段階で県行政を巻き込んだことの意義は大きく、その大きな 1 つに TWG の設置と合同モニタリングにあると評価を受けた。
- 3) エンドライン調査では TWG のプロジェクトへの関与と自己評価を調査したところ、ファシリテーションやプロジェクト実施については全員が参加し、自己のキャパシティが向上したと評価している。その他、プロジェクト・サイクル・マネジメント（PCM）、モニタリング・評価、レポートライティング等に関する研修に参加し、キャパシティの向上がなされた、研修で得た知識が業務に生かせるとの回答も多くみられた。
- 4) 郡政府については、ファシリテーションについては 7 割、プロジェクト実施に係るニーズアセスメント、プロジェクトマネジメント等は 5 割程度が研修に参加し、参加者のうち 9 割程度が自己のキャパシティの向上を評価している。その他、ニーズアセスメントやプロジェクト計画に関するキャパシティの向上がなされた、研修で得た知識が業務に生かせるとの回答も多くみられた。

3-2-3 成果 3

成果 3：タジキスタン側行政組織とアフガニスタン側行政組織の協力体制が強化される指標

- (1) クロスボーダー委員会の構成員によるタジキスタン、アフガニスタン両国の連携に対する満足度が 60%以上となる。
- (2) クロスボーダー会合、経験交流機会がローカルガバナンス組織参加のもと定期的開催される。

【達成状況：おおむね良好】

(1) クロスボーダー経験交流の実施状況

クロスボーダー委員会をシュグナン県・ロシャン県合同で 2013 年 9 月、ダルバズ県・バンジ県合同で 2013 年 11 月、イシュカシム県で 2014 年 11 月に、計 3 回開催された。事前準備会合を含めた交流実績は表 3-8 のとおりである。

表 3-8 クロスボーダー経験交流実施実績

Activity Title	Location of activity	Host Organization	Date visit	Target Group	Participants No. (M/F)	Remarks / Findings
Cross-border experience sharing	Shugnan Afghanistan	AKFA.	11-12 June 2012	MSDSP GBAO & CO	4 males	
Cross-border experience sharing	Shugnan district, GBAO	MSDSP	13-15 June 2012	AKFA	7 males	

Pre-conference experience sharing visit	Shugnan Afghanistan	AKFA.	1 - December 2012	ASUDVOs & TWGs from Shugnan and Rushan districts, JCC, MSDSP	12 males	Meeting with local government, DDAs, CDCs and CLDCs of Afghan Shugnan
Pre-conference experience sharing visit	Ishkashim Afghanistan	AKF-A	March 2013	ASUDVOs & TWGs from Ishkashim, Vanj & Darwaz districts, MSDSP	10 males 2 females	Meeting with local government, DDAs, CDCs and CLDCs of Afghan Ishkashim
Cross-border Conference	Khorog Cross-border Market territory, Tajikistan	MSDSP	17 August 2013	ASUDVOs, TWGs, JCC & MSDSP (Shugnan and Rushan districts)	12 males 3 females	Cross-border Conferences on JICA/CBRD project with DDAs, local governments and CLDCs of Shugnan and Darwaz in Afghanistan
Cross-border Conference	Darwaz Cross-border Market territory, Tajikistan	MSDSP	21 December 2013	ASUDVOs, TWGs, JCC & MSDSP (Darwaz and Vanj districts)	10 males 2 females	Cross-border Conferences on JICA/CBRD project with DDAs, Local Governments and CLDCs of Shugnan and Darwaz in Afghanistan
Cross-border Conference	Ishkashim Cross-border Market territory, Tajikistan	MSDSP	15 November 2014	ASUDVOs/ SUDVOs (Ishkashim and Shughnan) MSDSP, TWGs Jamoat representatives, DDAs (Shughnan, Ishkashim, Vakhn ulusvolies) governmental representatives, AKF-AF	21 males 5 females	The last round of the CB conference. Bothe Tjk and Afg preseted and shared one's project implementation exoerience and agreed to continue such CB opportunity in future

出所：プロジェクト作成資料

- 2) また、タジキスタン・アフガニスタン側双方の地域開発にかかる住民組織、行政がクロスボーダーマーケット近くで一堂に会し、本プロジェクトの経験交流のみならず、双方の地域開発やローカルガバナンスの現状・課題を協議・意見交換しており、エンドラインサーベイによると、参加者の95%が満足を示している。このような場の設定を通じて、国境をまたぐ課題への対応の必要性が認識されている。

(2) 州レベルのイニシアティブ

州レベルでは、2014年2月にタジキスタン側 GBAO 政府とアフガニスタン側バダフシャン県政府が AKF、他ドナーの同席のもと会合を開催し、クロスボーダー協力分野の洗い出し（インフラ整備を含む経済開発、教育・文化、保健、農業・農村開発等）が行われた。今後も定期的な会合や相互訪問が予定されている。なお、同会議には、軍、治安、税務局、

国境警備隊等も含め、多様な関係者が参加しており、従来クロスボーダー協力に距離を置いていた関係者の間でも、協力に向けた理解が促される機会となった。

(3) 県レベルのイニシアティブ

- 1) シュグナン県、イシュカシム県では、VO、SUDVO、ASUDVO が四半期ごとにクロスボーダー事業の優先課題について、意見交換している。シュグナン県の優先分野は農業（種子・果樹の交換）、保健（アフガニスタン人向け救急医療の提供³⁰）、教育（中央アジア大学へのアフガニスタン人留学生の受入れ）等である。またマーケットチャンスとして、シュグナン・クロスボーダーマーケット³¹の活用を地元農民・商人に売り込む活動を ASUDVO が行っている。
- 2) ダルバズ県³²のクロスボーダーマーケットには、アフガニスタン側バダフシャン県のみならず、クンドゥズやタジキスタン・ハトロン州からも売買人が訪れ、タジキスタン側マーケットでイモ価格が高騰した折は、アフガニスタンのイモが重宝されたことがあった。

(4) 国境管理等

- 1) アフガニスタン住民のタジキスタン側への越境の制限がタジキスタン側国境管理警察により課せられるケースが時折生じているが、クロスボーダー交流が妨げられないよう県政府が治安関連部局に協力依頼のレターを発出するなど、支援を行っていることが確認された。
- 2) またこのほかにも、大統領選挙の政治イベントや感染症の発生等の理由で、国境が一時的に封鎖されることがあったが、長期にわたる国境封鎖につながるような重大な事態にはなっておらず、今後も障害となる問題は観察されなかった。

(5) クロスボーダー協力にかかる地域差

クロスボーダー橋やマーケットの有無など地理的条件により、関心度合いに多少のばらつきはあるが、おしなべて行政、住民組織ともにクロスボーダー協力に前向きであり、政府レベル及びコミュニティ代表間で社会的及び経済的交流が促進されることが期待される。

³⁰ 既に保健分野では、妊婦等緊急性の高いアフガニスタン人患者はビザや書類がなくても、タジキスタン側で緊急医療が受けられる体制がシュグナン県、ダルバズ県では整っている。

³¹ 毎週土曜日の午前中に国境橋の両側で開催されており、タジキスタン側マーケットには、アフガニスタン人商人約 200 人、タジキスタン商人約 100 人程度が出店し、ホログ住民のショッピングサイトとして賑わう。視察時の客足 200~300 人程度。出店者は、マーケット運営を委託されている地元 NGO の Melal Inter に登録し、利用料（1 ソモニ/ブース）を支払うが、アフガニスタン女性は出店料不要。以前より、週 2 回に増設の話があるが実現はしていない。扱われる品物は、アフガニスタン商人は、布地、生活用品、アクセサリ、本、ハーブ、楽器、星占い等（アフガニスタン側からの食品持ち込みは禁止）、タジキスタン商人の品物は、食品、衣類、ジュース・ケバブコーナー等で、場内にはアフガニスタン、タジキスタン双方の国境警察が巡回する。

³² この他、ダルバズ県では KfW の支援で、クロスボーダー給水事業が予定されている。水源がタジキスタン側にある 2 地点でタジキスタン→アフガニスタンに送水、逆に水源がアフガニスタン側にある 1 地点でアフガニスタン→タジキスタンに送水し、相互に融通しあう体制の構築に向けて MSDSP とダルバズ県がアフガニスタン側と調整を行っている。

3-3 プロジェクト目標の達成状況

プロジェクト目標：対象地域における住民への社会サービスが向上する。

指標：

- (1) 対象地域の住民の 80%以上が社会サービスやガバナンスの仕組みを理解している。
- (2) ローカルガバナンス組織について、住民の 70%以上が「住民の声を吸い上げている (responsive、inclusive)」と評価している。

【達成状況：各成果の達成状況は良好であり、プロジェクト目標は達成されたといえる。】

(1) 指標 1 については、対象地域のほとんどの住民が社会サービスやガバナンスの仕組みを理解しているといえる。完工調査での住民への聞き取りから、郡/県の役割、行政サービスを理解していることが確認できた。具体的には、保健施設や学校施設の工事実施、完工後の維持管理に対する課題について、相談、支援要請や予算申請先について十分に理解していた。

(2) 指標 2 については、JICA 専門家の現場踏査及び完工調査での聞き取り結果から、対象地域住民の多くが、サブプロジェクトの計画、実施、あるいは完工後の運営の段階において、ローカルガバナンス組織との接触、協力関係が発生していると回答している。また、個別事案の発生にも郡/県がその都度介入し、問題解決にあたったという話を住民から聞き取っている。このことから、ローカルガバナンス組織についての住民の評価はおおむね良好であるといえる。

ボトムアップアプローチで提案・選定された 44 件の全サブプロジェクトが 2015 年 2 月までに完工した。インフラ整備が住民生活に与える直接的・間接的効果は、3-2-1「成果の達成状況（成果 1）」に記述のとおり既に多々発現している。最も件数の多い給水施設では、多くの村落が水路や川の水を飲料水、農業、家畜用に使っており、衛生状態が悪く、チフス、肝炎等が多く発生していた。また冬季は凍結した川で氷を割って水くみしていた子どもが割れ目に落ち、亡くなった事例³³も報告されており、こうした状況が大幅に改善された。小規模灌漑では、野菜（イモ、トマト、キュウリ他）、果樹、家畜飼料の生産量の増加が見込まれるほか、橋梁や道路整備では公共施設やマーケットへのアクセスが改善され、野菜、果樹や、ジャム等の加工品の販売増も見込まれる³⁴。

プロジェクトの選定及び実施プロセスに住民が主体的に参加しており、施設の運営・維持管理に対しても VO のオーナーシップやコミットメントは非常に高い。完工後、インフラ施設は県政府の管理下に置かれるが、VO による維持管理を行政が技術的に支援することが確認されている。なお、行政による保健・教育施設への家具、資材の提供や、道路・橋梁等で、今後 VO では対応できない規模の修繕が必要となる場合の行政による支援について、確認済である。

開発実施体制面では、県レベルで住民側と行政側の調整役として能力強化を行った ASUDVO

³³ 子どもが亡くなった事例はシュグナン県 Bogevev 村での聞き取りによる。

³⁴ シュグナン県 Barsem 村では、CBRD で車両用橋梁を修復するまでは歩道橋（吊り橋）1 本のみがホログ市に続く幹線道のある対岸へのアクセスであった。また同県 Spinz 村では、幹線道路までの近道 2km の新設により、従来の悪路 8km の工程が短縮され、マーケットのみならず、病院など基礎インフラへのアクセスを大幅に改善するとともに、冬季は豪雪のため利用が極めて困難だった旧道に比べ、新設道は冬季も通行可能となった。

は適切に役割を果たしており、他ドナーから資金を獲得し、新たな事業にも着手するなど、住民組織、行政双方からの信頼を得て、その活動・機能は定着している。また、県政府内に設置された TWG は、本プロジェクトの実施管理のみならず、シュグナン県では他ドナーの事業の承認・実施管理まで活動範囲を拡大しており、県政府の制度として定着しつつある。このモデルの他県への拡大が期待される。

また、クロスボーダー委員会の設置や相互視察・交流によって、州や県行政、住民組織の各レベルでタジキスタン、アフガニスタン双方の相互理解が促進され、クロスボーダー協力を展開していくうえでの基盤が形成されつつある。

3-4 実施プロセス

(1) 意思決定メカニズム及びモニタリング体制

プロジェクトの最高意思決定機関として、合同調整委員会（JCC）が設置され、プロジェクトの活動進捗及び成果達成状況と次期活動計画内容の確認・承認の機能を担っている。2013年3月に開催された第1回のJCCでは、サブプロジェクトリストが承認された。第2回は調査団滞在中の2014年5月に実施予定であったが、ホログでの騒擾事案発生のため、開催中止となったものの、7月にドシャンベで開催された（ホログ、東京のJICA本部とテレビ会議システムで接続）。

またJCCの下で、サブプロジェクトの選定、実施、モニタリングを担う州レベルの協議機関としてTVG、県レベルの協議機関としてTWGが設定された。

業務調整専門家の着任が2013年2月の本プロジェクト開始から約半年遅れ、またJICAの行動規制により、当初GBAOへの渡航が制限された。このため初期の活動モニタリングはドシャンベからメール、電話ベースを通じた遠隔作業となった。第2年次以降は現地渡航が可能となり、これまでにサブプロジェクト44件中37件のサイトを訪問し、進捗をモニタリングした。

サブプロジェクトの技術的施工管理、モニタリングはMSDSPエンジニア（5名体制）及びTWG建築技師が担った。またASUDVO、SUDVO、郡長も定期的にサイトを訪問し、連携して進捗確認、問題解決にあたった。

なお、AKFとMSDSPモニタリング上の役割分担は、前者は主に中央政府、州政府との調整が必要な課題につきモニタリング、統括を行い、後者は現場レベルの情報収集、日々の活動管理を担った。本プロジェクトの進捗管理モニタリングのほぼ9割はMSDSPによる。

(2) 住民参加の仕組み

VOは1990年代後半に設立され、以来、住民参加によるコミュニティ活動を実施してきた。ほとんどのVOは、VO基金（VO会費の積み立て）や住民による奉仕活動、また政府、ドナーの援助を得て、地域の生活改善、生計向上に積極的に取り組んでいた。また、給水施設や小規模灌漑施設の管理を目的とする自助水管理組織〔Water Users Association（郡レベル）/Committee（村落レベル）〕等もVOによっては設置済み、あるいは施設の稼働とともに設置予定で、インフラ施設の維持管理についても、高い主体性がみられた。

本プロジェクト開始前までに、VO（村落）からSUDVO（郡）までのボトムアップのコミュニケーションラインがあったが、本プロジェクトがASUDVOを各県に設置し、住民組織

代表として AUSDVO が TWG に参加することを通じ、県までのボトムアップラインがつながった。またシグナン県では、県戦略計画³⁵と VDP の調整がなされており、参加型の開発行政に向けた第一歩となり得る。

また、本プロジェクトの対象 5 県のうち、ダルバズ県、バンジ県は他県に比べ厳格なイスラム教徒も多く居住する地域で女性の行動範囲に一部制限があり、男女合同の会合や研修ができない村落もある。このため、サブプロジェクトの実施にあたり、必要に応じて、男女別にコミュニティでのミーティングを開催するなどの、ジェンダー配慮も行われた。

(3) 行政の巻き込み

本プロジェクトで設置した州レベルの TVG 及び県レベルの TWG は、他のドナーや州政府予算による開発事業等、本プロジェクト以外のプロジェクトの選定、実施にも少しずつ関与し始めている。本プロジェクトを通じて、政府職員が開発事業管理における「参加型」アプローチを理解し、ニーズの優先順位づけの方法を学び、これまでのような住民と距離のある形ではなく、友好的にコミュニティ開発事業の実施管理に携わるようになった変化を MSDSP の幹部も実感しており、また州、県、郡政府ともに参加型開発の重要性を認識し、TWG の設置を高く評価している。行政の最小単位である郡政府は、主に村落の社会、経済、文化にかかわる領域で県政府より権限を委譲されている。郡政府は VO にとっての行政窓口となるが、活動予算の配分を受けていないため、開発行政では村落間の紛争解決や郡への情報伝達等のコミュニケーション、また登録・認証業務が主な機能である。

一方、県には中央政府より、保健、医療等を中心とする社会開発予算が割り当てられている³⁶。本プロジェクトにおいても、インフラ施設の運用・維持管理を主管することになっているが、人件費以外の施設運営にかかる予算配分が十分でない一面がある。

しかし、本プロジェクトでは、3-2-1「成果の達成状況（成果 1）」に記載のとおり、インフラ整備中の資材の不足時に県予算から補助が手当され、また住民・業者間トラブルの発生時に県が仲裁に入るなど、県行政の積極的な関与が確認されている。またクロスボーダー協力についても、州及び県政府のコミットメントは非常に高い。治安、政治、外交的判断、配慮が不可欠となるクロスボーダー協力を推進するにあたり、州、県政府の積極的関与があることは特に重要である。

なお、2013 年秋のタジキスタン大統領選挙後に、州知事を筆頭に GBAO 政府、県政府の職員の人事異動が行われた。これに伴い、TWG メンバーの交代が発生し、MSDSP や ASUDVO は新メンバーへの本プロジェクトの説明、協力依頼等の対応に迫られたが、大きな問題もなく、新体制での活動に切替えられた。

³⁵ Strategic Development Plan は Ministry of Economic Development and Trade 管轄下で作成される県の開発プランで、県政府内では、Economic Development Department が所掌。

³⁶ 複数関係者からの聞き取りよれば、県政府予算の 80～85%は中央政府から配分され、15～20%が県内歳入となっている。

第4章 評価結果

4-1 評価5項目による評価結果

4-1-1 妥当性：高い

(1) タジキスタン政府、GBAO 政府の政策との整合性

2015年を目標としたタジキスタン政府の長期戦略「国家開発戦略 2015」“National Development Strategy : NDS”は、官民連携によるアフガニスタンとの地域協力の推進を打ち出している。また NDS 達成のため中期戦略として本プロジェクトの開始時に言及された「貧困削減戦略 2010～2012」“Poverty Reduction Strategy : PRS 2010-2012”は、開発課題の1つとして「国民に対する基礎的な社会サービスの向上と人材開発」を掲げ、優先活動の1つに地域協力の推進、とりわけアフガニスタンとの協力の拡大を挙げていた。後継戦略となる「生活水準改善戦略」“Living Standard Improvement Strategy : LSIS 2013-2015”では、地域間協力への言及はないものの、GBAO 州知事からは、引き続きクロスボーダー協力の重要性が指摘されている。よってアフガニスタンとのクロスボーダー協力の推進を見据えた本プロジェクトの国境地域開発は、タジキスタン政府及び GBAO 政府の政策と合致する。

(2) 日本の開発援助政策との整合性

2012年12月に発表された「対タジキスタン国別援助方針」には、タジキスタンの政治・経済の安定は、ユーラシア大陸全体の安定化に不可欠であり、隣国アフガニスタンの自立と安定に取り組むうえでも重要な課題であると明記されている。また、地方における貧困削減への対応、特に経済インフラの老朽化・未整備への対応の必要性を指摘しており、これに応える本プロジェクトのインフラ整備支援は、国境地域における長期的な平和と安定への貢献、人間の安全保障の推進を掲げるわが国政府の ODA 政策に整合する。

JICA の対タジキスタン支援は、格差の是正及びインフラ整備を通じた貧困削減と持続的経済成長を目標としており、アフガニスタンに隣接する地域の農村開発及び基礎的社会サービスの改善を重点課題としている。重点地域はハトロン州を中心とするアフガニスタン隣接地域としているが、本プロジェクトはアフガニスタンとのクロスボーダー協力を実施する観点において、JICA の重点課題に沿ったものとなっている。

(3) プロジェクト・デザインの適切性

また GBAO 政府、ドナーの支援が届きにくい山岳地帯のコミュニティに対し、老朽化したインフラの改修・整備を通じて住民への社会サービス向上をめざすプロジェクト・デザインは適切であり、地域に密着した活動基盤・実績をもつ AKF/MSDSP と連携して、JICA 単独ではアクセスが困難な地域に支援を展開したアプローチは妥当である。

4-1-2 有効性：高い

(1) プロジェクト目標及び成果の達成状況

各成果の実績・達成状況は良好であり、第3章「3-3 プロジェクト目標の達成状況」に記載のとおり、サブプロジェクト 44 件は計画どおり完工し、住民への社会サービスの向

上はおおむね達成されたといえる。

(2) プロジェクト目標・成果達成にかかる貢献要因

プロジェクト目標に直接的に貢献するインフラ整備を面的に展開し、サブプロジェクト実施プロセスを通じて、参加型開発実施体制を構築したことが、本プロジェクトの有効性を高めた。プロジェクトが取り組んだボトムアップアプローチ（開発ニーズ発掘→計画策定→優先事業の実施・モニタリング）による参加型コミュニティ開発の体制構築は、住民のオーナーシップ、コミットメントを促し、住民自身による生活向上活動をも促すものであったといえる。また従来は接点のなかった行政による地域開発戦略の策定作業と、住民組織が外部資金を得て直接実施してきた開発事業との間を調整する機能として、政府と住民組織の橋渡し役である ASUDVO を育成し、県行政と ASUDVO が調整・合意形成・協働する場として TWG が十分に稼働していることが有効性を高めたものと、評価される。

一方、本プロジェクトの能力強化の対象は ASUDVO に偏りがちで郡・県行政担当者、また SUDVO への機会提供が限られた、との中間評価での指摘を受け、その後の能力強化研修では郡政府（Jamoat）及び SUDVO へも対象を広げた。前述したエンドライン調査での研修に対する郡政府の自己評価の結果からも、研修機会が事業実施への理解促進につながり、ひいては社会サービスの向上に資する要因となり、より有効性が高まったといえる。

アフガニスタンとのクロスボーダー協力では、県政府、住民組織が各レベルで意見交換、経験交流機会をもっているほか、州、県レベルで具体的な連携活動に向けたイニシアティブがとられている。今後、保健、給水、教育といった個別ニーズに応える協力事業が展開される可能性が高い。具体的には、現在進行中の“Cross-Border Health Program”³⁷、越境送電事業³⁸などがある。

なお、本プロジェクトのインフラ整備事業は、タジキスタン国内のニアボーダーをサイトとするものであり、クロスボーダー・インフラは計画枠外であった。よって当初より、人的交流を中心とするクロスボーダー協力であったことから、直接的な経済的利益を生み出すことは目的としていない。

またプロジェクト目標、成果達成を支える貢献要因として、MSDSP と連携したことがとりわけ大きい。1990年代から GBAO に展開する MSDSP のコミュニティ開発における経験、ネットワーク、また機動力を最大限生かし、また MSDSP によって組織された VO、SUDVO が既に十分に稼働しており、その仕組みを生かしたことが、貢献要因といえる。

(3) プロジェクト目標・成果達成度に係る阻害要因

豪雪などの自然条件及び2012年7～8月にかけてホログ市で発生した騒乱のため、サブプロジェクトの形成準備及びベースライン調査の実施が遅延したことが挙げられる。第3章に既述のとおり、ベースライン調査の遅延により、2013年3月のJCCで設定した指標数値が、後にベースライン調査の結果により、目標値として適当でなかったことが判明した。同ベースライン調査の遅延は、成果の達成度合いに直接の影響はないが、成果発現を適切

³⁷ AKHS が AKF、MSDSP と共同で 2010 年より開始している。主に 1) アフガニスタン側バダフシャン地域に設立した 3 つの In-patients clinic (Ishkashim、Shughnan、Nusai 設置。各クリニックには 10 床のベッドが設置) への技術支援、機材支援、2) 上記クリニックで治療困難、または救急重症患者のタジキスタン側への越境の緊急移送体制支援を行っている。

³⁸ 他ドナー支援による、AKDN 組織 (AKF、Pamir Energy) により、アフガニスタン側に電力を供給する事業。

に測るうえで重要であり、今般のレビューで、適切な指標への変更を提案した。また、2014年5月の中間レビュー調査実施中にホログで騒擾事案が発生したことから、長期専門家及び短期専門家のGBO立ち入りが9月まで制限され、長期専門家によるモニタリングや短期専門家による技術指導の阻害要因となった。

また、クロスボーダー協力では、大統領選挙の政治イベントや感染症の発生等により一時的に国境が封鎖されることがあった。また、アフガニスタン人のタジキスタン側への渡航がタジキスタン側治安当局によって制限され、事前渡航申請が求められるなどの事例も報告された。これらのケースでは、個別に各県政府が治安当局への協力依頼を求めるなどの対応策がとられたため、支障の範囲は最小限にとどめられた。

4-1-3 効率性：高い

GBOでの20年近いコミュニティ開発の実績をもち、幅広いネットワークと強固な実施体制をもつAKF/MSDSPと連携することで、人材、知見、ネットワーク、資材等の現地にある資源を最大限に活用し、オペレーションコスト、間接費を抑さえ、実質的なプログラム活動に委託事業の8割近く、全体予算の6割強を投入している。また山岳地に点在する手の届きにくい貧困集落にまで裨益対象を面的に拡大できたことから、費用対効果は高いと判断される。

一方、JICA、AKF/MSDSP双方にとって、連携事業は初めての経験であり、経理、調達手続き面で、共通認識の形成に時間を要した。特に入札・調達手続きに関し、課題の共有・相談が適時に行われていれば、サブプロジェクトのタイムマネジメントが適切に行われ、より効率性が向上したと思われるケースが一部観察された。

4-1-4 インパクト：高い

中間レビュー調査時点では、高い正のインパクトが観察され、負のインパクトは発現していない。

(1) 上位目標の達成見込み

サブプロジェクトの完工により、エンドライン調査では基礎インフラへのアクセス率が改善したとの結果が出ており、また、それによって住民の生活や経済活動への正のインパクトがみられたという結果が完工調査で確認された(3-2-1「成果の達成状況(成果1)」に記述のとおり)。これらから導き出す結論として、上位目標「対象地域ゴルノ・バダフシャーン自治州5県において住民の生活が向上する」の達成見込みは高いといえる。

サブプロジェクト実施過程におけるVOの貢献度や施設の維持管理に対するオーナーシップは総じて高いことが確認されている。サブプロジェクト完工後はコミュニティが主体となって維持管理を行い、必要に応じてSUDVO、郡/県政府、ASUDVOと調整を通じて修繕などに対応していくことが確認されており、設置した施設が効果的に運用されることで、生活の改善が図られると考えられる。加えて、更新されたVDPを活用し、ASUDVOの仲立ちにより、新たな外部資金を得て事業を行うVOも多く、サブプロジェクトの対象外だったVOも含め、より広範なニーズが徐々に手当てされ始めている。VOが今後も活発にコミュニティ活動に取り組む可能性は極めて高く、上位目標の達成に貢献する要因である。

なお ASUDVO や TWG が現在の形態で継続するかは、AKF/MSDSP 及び州/県政府の今後の対応・判断による。ASUDVO や TWG の機能の有効性は AKF/MSDSP 及び州/県政府に認められ、また ASUDVO 自身も活動の継続に意欲的であることから、ASUDVO 及び TWG の機能が何らかの形で継承されれば、ボトムアップによる参加型開発の継続・定着に資するであろう。政府の開発計画に住民のニーズが反映され、長期的には政府予算の確保、外部資金の確保の実現に資するものとなり、持続的な社会サービスの向上、生活の質の向上が期待できる。

(2) プロジェクトがもたらした正のインパクト・波及効果

ASUDVO 及び TWG メンバーである県政府職員の合同能力強化研修は、住民への社会サービスの向上に向けた官民連携・協働を促すモメンタムとなった。また連携・協働の実践の場として、サブプロジェクトの実施管理に TWG が携わったことにより、連携・協働が一過性のものから、機能・仕組みとして定着する動きが出ている。シュグナン県では、TWG の活動範囲を本プロジェクトから拡大し、ドイツ国際協力公社（GIZ）の起業支援プロジェクトの実施管理も担うことになっており、波及効果が認められる。なお、シュグナン県知事は、農村開発における官民連携の joint planning/implementation の実践について、2014 年 4 月に大統領にも報告している。

中間レビュー調査団が訪問した VO の 1 つは、本プロジェクト開始前から VDP に沿って順次、灌漑水路、学校屋根修復、メディカルポイントを整備し、CBRD サブプロジェクトで道路整備を行っている。同時に次期事業として、給水施設整備を VO 基金による自己資金 4 割負担、残り 6 割のマッチングファンドのファンドレイズ中であった。このような好事例を ASUDVO が把握しつつあり、優良事例の共有化を促すことで、更なる波及効果が期待できる。

また、GBAO では地域経済の約 4～5 割が出稼ぎ労働者からの外貨送金に依存している状況下、インフラ整備過程で、期限付雇用ではあるが一定の雇用が創出されたことは正のインパクトであったと考えられる³⁹。

4-1-5 持続性：おおむね高い

(1) ASUDVO の機能としての持続性

ASUDVO の機能とその活動実績は、郡/県行政、住民組織（VO/SUDVO）からも高く評価され、その活動の継続が望まれている一方で、プロジェクト終了後の活動費のめどは、具体化されていない⁴⁰。今後の展開とその持続発展性については、これまで JICA 及び専門家と AKF/MSDSP の間でも協議されてきた。AKF としては、今後 MSDSP の県事務所機能移転先として考えられており、将来的には現在の MSDSP の District Manager の役割を ASUDVO が担う計画でいる。現時点では、まだ機能移転の段階には至っていないので、そのために MSDSP は、更なる ASUDVO の能力向上をめざして、側面支援していく方針であ

³⁹ シュグナン県 Gharibsho Shohbozov 郡では、人口 2,800 人中、現在 500 名が季節労働で国外に出ており、このなかには約 1 割弱の女性が含まれる。また同県 Barsem 村でも村人口の 4 割、各世帯平均 1～2 名がロシア、カザフスタン、キルギス等に出稼ぎに出ており、両親が不在のため祖父母が子どもを養育している世帯も多い。同様の状態が州内広範でみられるため、GBAO では Early childhood development center が広く普及しているとの話も聞かれた。

⁴⁰ 執務環境としては、MSDSP 各県事務所にデスクが与えられ、車両も活用可能となっている。

る。ASUDVO はそれぞれに、本プロジェクト終了後を見据えて財政基盤の確立に向けた活動を開始し、他ドナーのプロジェクト予算からの費用捻出、SUDVO の出資金や小規模融資機関 (Micro Lending Organization : MLO)⁴¹の配当金による経費負担、ASUDVO 自身が公共性の高いサービス事業を副業として起業し、活動に充てるなどが検討されている。

(2) インフラ施設の運営・維持管理

サブプロジェクトで整備されたインフラ施設は、第3章 3-2-1「成果の達成状況(成果1)」で記載のとおり、制度的には各県行政等に引き渡され、所管部局の管理下に置かれるが、実質的な維持管理は各 VO が担い、必要に応じ県行政が技術的な支援を行う。県財政の現状を踏まえると、県行政が充当できる維持管理費は限られており、教育施設、保健施設の人件費は担保されているが、引き渡し時の備品、資材・教材等が工面できない事例もみられている⁴²。このため各施設に、これら資機材が手当されるよう AKF/MSDSP による調整が不可欠である。JICA 専門家が現場踏査時に、州部局(保健、教育、経済開発)及び各県行政(知事等)をたびたび訪問し、この点についての行政の協力を要請した。県行政は一部備品の支援が実施されており、州保健局長からは 2015 年度の予算獲得の努力をするとの回答を得ている。また、将来的に大がかりな修繕が必要となる可能性の高い橋、道路等も、あらかじめ MSDSP と州・県政府が対策を合意し、関係者に周知しておく必要がある。なお、施設完工後 5 カ月間の瑕疵担保責任が建設業者に課せられている。

(3) クロスボーダー協力の持続性

タジキスタン側 GBAO 政府とアフガニスタン側バダフシャン県政府の間で、クロスボーダー協力を推進すべく合意書が署名されており、定期的な会合や相互訪問が予定されている。今後も政府レベル及びコミュニティ代表間で社会的及び経済的交流が促進されることが期待される。

4-2 結論

天候や治安による多少の活動の遅延はあったものの、対象コミュニティ、県/州政府から高い評価を得る活動が行われ、予定どおり 44 件のインフラサブプロジェクトは完工した。これまでに存在した村落から郡までのボトムアップアプローチによる参加型開発の仕組みが、ASUDVO の設置により県レベルにまで引き上げられた。また参加型で吸い上げられた住民のニーズが、各県の TWG で、県政府、住民代表である ASUDVO によって議論され、県主導の開発計画と住民主導の開発計画のすり合わせが可能となり、調整・協働メカニズムとして機能していることが確認された。

⁴¹ Micro Lending Organization は公的なコミュニティ活動を目的として GBAO 内の SUDVO が共同出資して設立したマイクロファイナンス機関で、現在、州内に 3 つの MLO がある。その回転資金から ASUDVO の活動費を手当することが一案として検討されている。

⁴² BogeV 村(給水施設設置サイト)で村落内既存インフラの維持管理上の問題が発生した場合の一般的対応を聞き取りしたところ、学校施設の場合は、VO リーダーと学校長が県政府に掛け合い、メディカルポイントの場合は VO 基金で対応しきれない場合は、VO リーダーとメディカルポイント医師が郡政府(jamoat)に相談してきたとのこと。また、メディカルポイント建設中の Vozm 村での聞き取りでは、村医者(助産師)736 ソモニ/月及び清掃婦 240 ソモニ/月の人件費以外に県政府から得ている予算は薬剤用に 50 ソモニ/年のみで家具などの支給もない。現在、治療費は無料、薬代は有料だが薬局よりは安価で提供し、5 歳以下の子どもの場合には薬も無料のため、AKF Health Service(HS)からの薬剤供与が不可欠となっている。また光熱費も政府から支給されないため、1 世帯 1 ソモニを徴収して光熱費に充てている。

各成果レベルで既に目に見えるインパクトが発現しており、中間レビュー調査での提言及び指導等を受け、活動が予定どおり実施され、プロジェクト目標が達成された。また上位目標の達成に向けた良好な兆しも見えている。

第5章 提言

(1) サブプロジェクトの維持管理のモニタリング

サブプロジェクトの維持管理については、「4-1-5 持続性 (2)」に記載のとおり、コミュニティレベルの維持管理を中心としつつ、県・州政府の技術的・財政的支援が必要となることが想定される。県・州政府による維持管理費の予算化を含めて、運用・維持管理の状況につき、MSDSP が引き続きモニタリングを行うことが求められる。

(2) ASUDVO の持続性

「4-1-5 持続性 (1)」に記載のとおり、ASUDVO が県行政と住民組織をつなぐ機能を今後も維持できるよう、プロジェクト終了後も ASUDVO を継続して配置することが望ましい。

(3) サブプロジェクト完工調査のフォローアップ

本プロジェクトでは、中間評価での提言を受け、完工調査を実施した。本調査ではおおむねの維持管理状況、一部の事業効果は確認されたが、事業完工後わずかな期間内での実施だったため、中長期的な視点での事業効果の調査ができなかった。AKF/MSDSP で調整し、ASUDVO 主体で、再度フォローアップし、状況の変化や事業効果に関する情報収集することが望ましい。

(4) ローカルガバナンス機関の能力強化

本プロジェクトでは、各種研修、スタディツアー、クロスボーダー交流等を通じて、ローカルガバナンス機関の能力強化を行ってきた。中間レビュー調査での提言を受け、プロジェクト終盤では、郡政府及び SUDVO に研修、交流事業への参加機会を提供した。今後もこうした機会や能力強化研修を継続することを、州政府及び AKF/MSDSP に提案する。

第6章 教訓

(1) AKF/MSDSP とのパートナーシップの意義

AKF/MSDSP とのパートナーシップは、現地に根ざした実力のある NGO と連携すれば、アクセスが困難な難易度の高い地域のニーズに応え、効率的、効果的な事業展開が可能となることを実証する好例となった。JICA 単独ではアクセスできない GBAO のなかでも、より支援の行き届いていない山岳村落への裨益が可能となったのは、同地域で長年にわたるコミュニティへのサービスデリバリーの実績があり、行政を含む各方面からの信頼も厚い AKF/MSDSP の存在によるところが大きい。MSDSP は各県に事務所を構え、ASUDVO/SUDVO や郡/県政府との現場レベルの協働が可能な実施体制を備え、コミュニティに対するきめ細かい事業実施を効果的に行ってきた。また、その機動力や実施体制は、2012 年 7 月の騒乱や中間レビュー調査中の 2014 年 5 月の住民と政府の衝突などにおける危機管理や事業管理にも発揮され、事業への影響が最小限にとどめられていることが確認されている。

一方で、JICA、AKF/MSDSP 双方にとって初めての共同プロジェクトであったため、経理、調達等の手続きの理解や合意形成に時間を要した。また、調達面で柔軟な対応を行うべき局面で、問題の共有や改善の提案がタイムリーに伝達されず、ルールの見直しが行われない事案があった。前広に JICA 側と情報共有を行い、対応を検討することが望ましい。

(2) AKF/MSDSP にとっての行政を巻き込んだアプローチの意義

従来の AKF/MSDSP のコミュニティ開発事業では、事業として政府の承認は得るも、住民の要望に応える事業を MSDSP が直営する形で進められていた。本プロジェクトでは、ニーズの把握や案件形成をボトムアップで行い、事業の優先順位づけや実施管理の過程に TWG や TVG の設置を通じて政府（県・州）を巻き込み、政府と住民の協働メカニズムを確立しており、また、そのプロセスが各ステークホルダーにとって学びと経験蓄積の場になった。行政を巻き込み、能力強化の対象とした事業は AKF/MSDSP にとっても新しい試みであり、効果発現及び持続担保の観点からも、有効であることが確認された。

(3) 村落開発計画の上位計画への反映

本プロジェクトにおけるボトムアップアプローチの実践を通じて、村落開発計画（VDP）が郡開発計画（JDP）、県開発計画（DDP）へと上位計画に反映されていく仕組みが構築されたことは、行政のガバナンスやアカウンタビリティの強化につながると考えられる。一方で、これら住民主導で策定した開発計画は、VO 基金以外に予算配分がないことから、行政による事業実施につなげるためには県戦略計画（District Strategic Plan）に反映される必要がある。シュグナン県ではそのような取り組みが既に始まっているが、他県でもシュグナン県をモデルとして活用・普及されることが期待される。

(4) コミュニティ開発における事業規模、裨益範囲の設定

本プロジェクトでは、44 件の村落レベルの小規模インフラを広範囲に実施した。ドナーや政府の目の届きにくい村落のニーズを拾い上げ、生活環境に目の見える変化をもたらすとともに、住民組織と行政との協働機会の提供により、両者の信頼関係の構築に貢献した意義がある。

一方で、選定、調達、実施の手続きが煩雑となり、想定以上の時間・手間を要した点は否めない。このため、一部関係者からは、県レベルで事業規模を設定すべきだったとの声も聞かれた。

事業規模の拡大により手続きは効率化するが、住民のニーズへのきめ細かい対応が不十分となる可能性もある。よって事業規模はあくまで目的や状況に応じ、柔軟に考えることが重要との考察にいたった。また将来的には、経済開発を牽引する大型インフラへの投資と、公平な社会開発に資する生活インフラ整備とのバランスをどうとるか、GBAO全体の開発ニーズを俯瞰し、検討すべき課題と推察される。

付 属 資 料

1. 実施体制図
2. CBRD サブプロジェクトリスト
3. Project Logical Framework
4. Plan of Operation
5. List of Counterparts
6. List of Capacity Building Trainings and Experience Sharing Visit
7. Completion Inspection Report (完工調査報告書)

1. 実施体制図

プロジェクト実施体制

プロジェクト対象範囲：

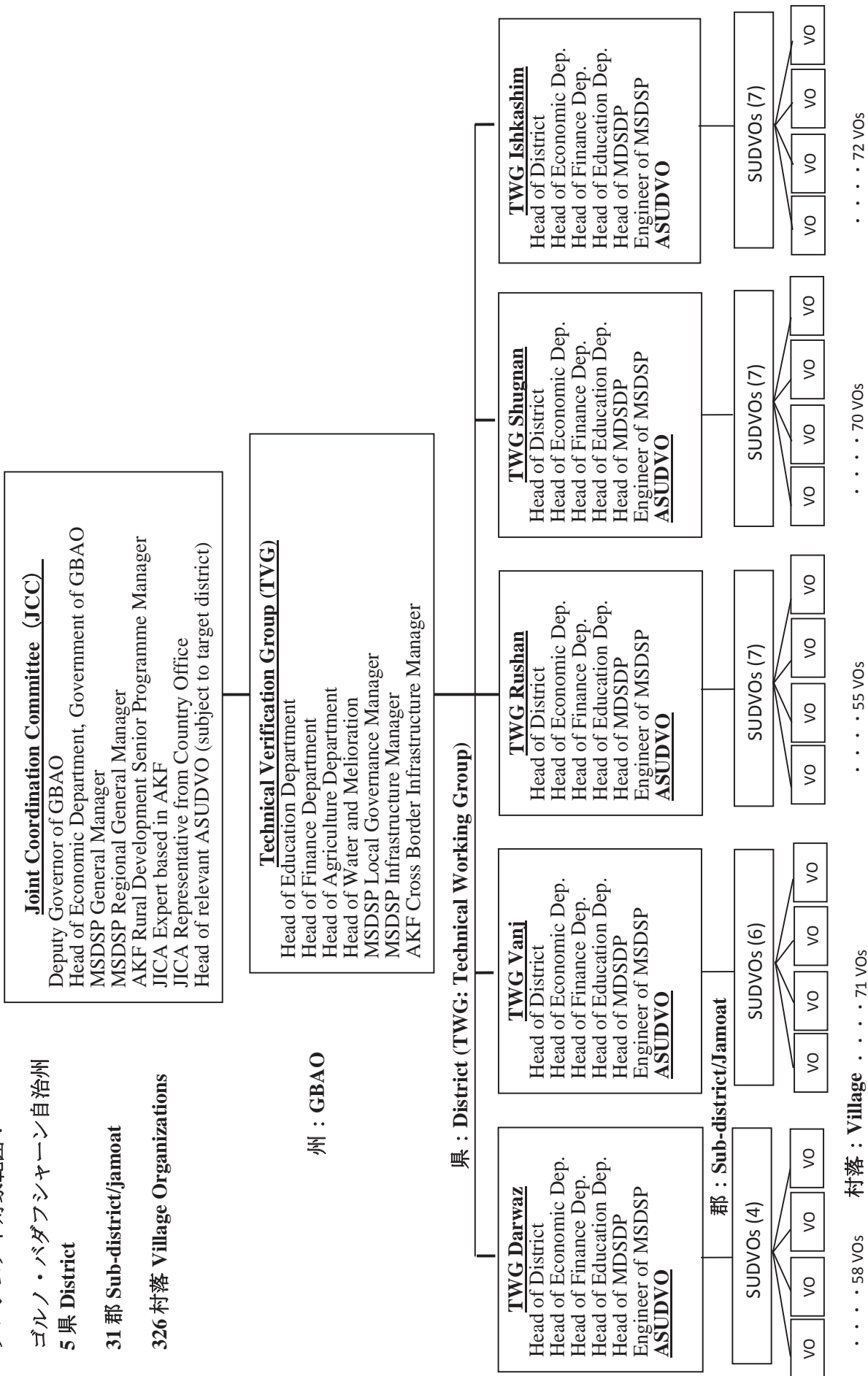
ゴルノ・バダフシャーン自治州

5 県 District

31 郡 Sub-district/jamoat

326 村落 Village Organizations

州：GBAO



2. CBRD サブプロジェクトリスト

The list of CBRD infrastructure construction projects

District	Sub - District	Village	Project Name	Name of Construction companies
Shughnan	Sokhcharv	Chokhkandez / Dasht	Renovation of the irrigation canal	Fund for Development of Badakhshan
		Sokhcharv -1	Construction of drinking water supply system	Boziqala
	Porshinev	Vozm	Construction of Medical Point	Khudoyorbek
		Kushk/Vozm/ Buved	Repairs of sport hall	Khudoyorbek
	Darmorakht	Nishusp - Dashtak - Barchadev	Construction of drinking water supply system	Narzan
		Ghojak /Pish	Partial rehabilitation of irrigation canal	Boziqala
	Suchon	Bogev	Construction of drinking water supply system	Narzan
		Barsem	Reconstruction of the car bridge	Dorojnik
		Sipinz	Construction of internal road connecting Bidurth - Sipinz - Roj and Khedevshal villages	Dorojnik
	Navobod	Debasta	Construction of drinking water supply system	Sharif Sh S
		Navobod	Construction of drinking water supply system	Mamadfozil
	Ver	Ver/Zuvor	Construction of drinking water supply system	Shohnavruz
	Vankala	Bachor	Renovation of road and construction of small car bridge	Dorojnik
		Sardem	Construction of drinking water supply system	Amirhamza
Total Shughnan: 14				
Ishkoshim	Ishkoshim	Skundeh /Rin	Renovation of selected classrooms in the secondary school # 20	Saknon
	Vrang	Drij	Construction of four additional classrooms for secondary school # 7	Narzan
		Vnukut	Construction of Medical Point	Narzan
	Zong	Zugvand	Renovation of the secondary school #5	Narzan
	Shitkharv	Darshai	Dam construction for irrigation canal	Panj

	Pitup	Vichkut	Renovation of the irrigation canal	Asl
		Pitup Chiltok	Renovation of the irrigation canal	Obodkor
	Kozideh	Shanbedeh	Construction of drinking water supply system	Obodkor
	A. Zamirov /Andarob	Andarob	Construction of drinking water supply system	Narzan
Total Ishkashim: 9				
Rushon	Dodkhudoev	Derrushon	Construction of Medical Point	Sanobod
	Pastkhuf	Pastkhuf	Roofing of the secondary school # 12	Akmal
		Khuf	Completion of construction of the road connecting Pastkhuf and Khuf villages	OOO Panj
	Savnob	Pasor/Bopasor /Ghudara	Rehabilitation of the building and supply canal of small HPS	AHU Rushan-Sarez
	M. Abdulvosiev	Deh	Construction of new classrooms for secondary school # 2 in Deh village	Akmal
	Bartang	Ravmed	Reconstruction of tank of Ravmed small hydro power station	Shark
		Ravivd	Construction of inverted siphon for irrigation canal	Obi Zulol
	Basid	Basid	Construction of building and reconstruction of canal for hydro power station	AHU Rushan-Sarez
	Rushan	Vomar	Renovation of the therapeutics department at the district hospital	Sanobod
Total Rushan: 9				
Vanj	Vodkhud	Buniga	Construction of drinking water supply system	Mullo Safar
	Mahmadullo Abdulloev/ Vanj	Gishkhon	Construction of the Medical Point	Kvazar
		B.Gafurov	Construction of public toilet	Sadbarg
	Jovidon	Rav	Construction of drinking water supply system	Mullo Safar
	Rovand	Poimazor-Van-Van	Construction of car bridge and renovation of road Van- Van to Poi Mazor	Badakhshonroh
	Yazgulom	Jamag	Rehabilitation of domestic road of Jamag and Andarbag villagers	Badakhshonroh
	Tekharv	Chikhokh	River bank stabilization	Ganj
Ravgada		Construction of footbridge	Safari 2	

	Total Vanj: 8			
Darvaz	Nulvand	Yoged	Construction of siphon irrigation system	MG Kompaniya (Dushanbe)
	Saghirdasht	Langaro	Construction of four additional classroom at primary school # 44	Investstroy
	Vishkharv	Jorf and Vishkharv	Construction of sub-district level Medical Ambulatory	SU-4 (Construction Department)
	Kalai-Khumb	Sangevni daroz	Construction of additional classroom at main school # 45	Darvoz Sokhtmon
	Total Darvaz: 4			
	Total:	44		

3. Project Logical Framework

Project Logical Framework

Ver2 Approved at JCC on March 2013

Project Name: Rural Development Project in Tajik-Afghan Border Area of Badakhshan
 Target Group: Population of Gorno-Badakhshan Autonomous Oblast (GBO), Tajikistan
 Target Area: Districts of Darwaz, Vanj, Rushan, Shugnan and Ishkashim in GBAO

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
OVERALL GOAL			
Improved quality of life of the population in the project target area as a result of improved infrastructure and socio-economic services	Improved quality of life of people residing in the project area (qualitative indicators)	Quality of Life Assessment Study (AKF Tjk); Project Baseline and Impact Assessments	Political stability
PROJECT PURPOSE			
Improved service delivery to the population through sub-national good governance and improved Tajik-Afghan collaboration	1. % of population in the target area is aware of institutional arrangements for service delivery and governance (Target Value: 80%); 2. % of population rating the performance of local governance institutions as <i>responsive</i> and <i>inclusive</i> (Target Value: 70%);	Project monitoring reports; Project Baseline and Impact Assessments	Political stability; Favorable government policies; Environmental stability
OUTPUT			
1. Basic development infrastructure to cover basic services and increase livelihood opportunities is improved	1. # of infrastructure development projects implemented (Target Value: min. 42); 2. % population with increased access to basic infrastructure (Target Value: 24%); 3. Level of satisfaction of target beneficiaries/users from basic infrastructure; (Scale: 1-5)	Project monitoring reports; Project Baseline and Impact Assessments	The security situation permits local construction companies for contracting and delivering services; Currency fluctuations do not impact the funds available; Seasonal weather patterns are favorable for construction
2. The capacity of local governance institutions to identify, plan and implement demand driven services is enhanced	1. % of beneficiaries in the target area satisfied with the services provided by local governance institutions (ASUDVOs) Target Value (75%); 2. % of beneficiaries in the target area satisfied with the services provided by local governance institutions (jamoat) Target Value (70%); 3. % of beneficiaries in the target area satisfied with the services provided by local governance institutions (district government) Target Value (65-70%); 4. Increased self-assessment rate of local governance institutions (ASUDVOs, jamoat and district government) (Scale: 1-5) 5. Increased collaboration between and among local governance institutions (Scale: 1-5);	Project Monitoring Reports; Project Baseline and Impact Assessments	Political stability; Favorable government policies
3. The collaboration between Tajik and Afghan governance institutions is strengthened	1. % of CBC members satisfied with the level of cross-border collaboration (Target Value: 60%) Baseline: 2. Cycles of experience sharing visits/conferences participated by local governance institutions in the pre-project, during and post-project periods (Target value: 3).	Project Monitoring Reports; Project Baseline and Impact Assessments	Both governments agreed on favorable terms for collaboration; Political stability in the region
ACTIVITIES		MEANS	VERIFICATION OF PROGRESS
1. Install infrastructure based on priorities identified by local institutions	AKF/MSDSP will facilitate the bottom-up and participatory planning process for prioritization of infrastructure projects , design and implementation	Construction tenders and contracts, monitoring and project reports	There are no unforeseen natural disasters, logistical complications, or security restrictions that impede the ability to construct infrastructure in target areas;
2. Train local institutions in how to identify, prioritize, implement and manage development (infrastructure) projects	AKF/MSDSP will sub-contract professional training institutions to train representatives of local institutions, including jamoats, ASUDVOs, and district government departments on project management	Agreements with trainings institutions; reports on the trainings' results; project monitoring reports	Political stability; local trainings institutions are available to provide quality trainings;
3. Train local institutions to facilitate discussions and collaboration among local stakeholders for identifying and addressing priority needs	AKF/MSDSP will build the capacity of ASUDVOs and support them to facilitate discussions and collaboration between civil society organisations, jamoats, and district government	Project monitoring reports	Local governance institutions have the means to participate in trainings; Security enables trainers to reach participants.
4. Establish and promote collaborative relationships between Tajik and Afghan institutions in the border area	AKF/MSDSP will facilitate oblast government of GBAO, Tajikistan and the Badakhshan province of Afghanistan through cross-border commission meetings to foster collaborative relationships	Quarterly training reports	Tajik and Afghan policies are favorable for cross-border collaboration

4. Plan of Operation

Plan of Operations (as of April 2013)

Activity by Objective	Year 1: March 2012 – Feb 2013												Year 2: March 2013 – Feb 2014												Year 3: March 2014 – Feb 2015											
	M1	M2	M3	M4	M5	M6	M7	M8	M9	M10	M11	M12	M1	M2	M3	M4	M5	M6	M7	M8	M9	M10	M11	M12	M1	M2	M3	M4	M5	M6	M7	M8	M9	M10	M11	M12
1.1 Community mobilization & meeting with focus on cross border development issues																																				
1.2 Establishment of ASUDVOs																																				
1.3 Capacity development of ASUDVOs & institutional development trainings																																				
2.1 Joint consultations & experience sharing visit to the cross border territories between ASUDVOs																																				
2.2 Village & sub district level meeting & planning process with focus on infrastructure sub projects																																				
2.3 District level planning meetings & process with focus on infrastructure sub-projects (including JCC & CBC meetings in first, second & third year)																																				
2.4 Implementation of infrastructure sub-projects																																				
3.1 Monitoring & Evaluation																																				
3.1.1 Joint MSDSP & ASUDVO monitoring visits																																				
3.1.2 Baseline Assessment																																				
3.1.3 Final Assessment																																				

5. List of Counterparts

ANNEX 4. List of the Project Team Members and Counterpart Personnel

CBRD Project Team

#	Position	Location	Name of Staff	Description
1	Cross-boarder programme officer	GBAO	Mr Saidaziz Sholamov	Operational management, technical support to MSDSP GBAO with detailed planning, budgeting and overall coordination
2	Cross-boarder engineer	GBAO	Mr Navruz Akdodov	Technical verification of proposed infrastructure projects, technical monitoring and evaluation of approved infrastructure projects
3	Institutional development programme officer	GBAO	Mr Mamadsaid Mamadsaidov	Institutional development expert, facilitation of meetings, training and capacity building of ASUDVOs
4	Monitoring and Evaluation officer	GBAO	Mr Rivoyat Shodibekov	M&E, progress reporting to MSDSP management
5	MSDSP Procurement officer	GBAO	Mr Sheroz Sheramardov	Logistics, procurement and other administration tasks
6	Accountant	GBAO	Ms Tuti Mirzoeva	regular accounting records, accounting reports
7	Driver	GBAO	Mr Zafar Oshurbekov	regular driving service
8	Driver (budgeted from 2013)	GBAO	Mr Davron Mavlonazarov	regular driving service
9	ASUDVO manager	Shugnan District	Mr Gulomnabi Bakhtibekov	Facilitation of community mobilisation, community based planning and institutional strengthening of VOs. Secretary service to Technical Working Group of Shugnan district (TWGs)
10	Accountant	Shugnan District	Ms. Narziya Oshurmamadova	Accountant, responsible for overall financial function
11	ASUDVO manager	Ishkoshim District	Mr Nekusho Saodatseitov	Facilitation of community mobilisation, community based planning and institutional strengthening of VOs. Secretary service to Technical Working Groups of Ishkashim district (TWGs)
12	Accountant	Ishkoshim District	Mr. Assadulloev Rahmatullo	Accountant, responsible for overall financial function
13	ASUDVO manager	Vanj District	Mr Qurbon Bekov	Facilitation of community mobilisation, community based planning and institutional strengthening of VOs. Secretary service to Technical Working Group of Vanj district (TWGs)
14	Accountant	Vanj District	Ms. Mahbuba Shorahmatilloeva	Accountant, responsible for overall financial function
15	ASUDVO manager	Darvaz District	Mr. Saidali Qalandarov	Facilitation of community mobilisation, community based planning and institutional strengthening of VOs. Secretary service to Technical Working Groups of Darvaz district (TWGs)
16	Accountant	Darvaz District	Mr. Madad Nazriev	Accountant, responsible for overall financial function
17	ASUDVO manager	Rushan District	Mr Raimbekov Yormamad	Facilitation of community mobilisation, community based planning and institutional strengthening of VOs. Secretary service to Technical Working Groups of Rushan district (TWGs)
18	Accountant	Rushan District	Oyatbegim Shujandijova	Accountant, responsible for overall financial function

Senior staff of MSDSP involved in CBRD Project

1	General manager of MSDSP Central Office (CO)	GBAO	Mr Kishwar Abdulalishoev	Overall strategic supervision of the project, member of JCC
2	Deputy general manager Programme, MSDSP CO	GBAO	Mr Shodmon Hojibekov	Overall operational supervision of the project
3	Deputy general manager HR, Finance and Admin MSDSP CO	GBAO	Ms Ramziya Jamatshoeva	Overall financial/HR/Admin supervision of the project
4	Chief finance officer MSDSP CO	GBAO	Mr Alidod Mirulloev	Overall supervision and quality assurance of finance reports
5	Programme Coordinator, Participatory Governance	GBAO	Mr Ghulomsho Lutfulloev	Overall supervision and quality control of institutional development trainings
6	Programme Coordinator, Planning, Monitoring and Evaluation	GBAO	Mr. Muhammad Bodurbekov	Overall supervision and quality control of M&E activities
7	Grants officer (reporting)	GBAO	Ms Rayhona Johnbekova	Consolidation of narrative reports for the project
8	Programme officer, Participatory governance MSDSP CO	GBAO	Mr. Parvona Khujairifov	Technical support to MSDSP GBAO and ASUDVOs in conducting trainings
9	Programme officer Cross-border infrastructure, MSDSP CO	Dushanbe	Mr Mirzo Ghulomov	Overall quality assurance of infrastructure projects design work and liaison with design institutes in Dushanbe, Member of JCC
10	Regional manager MSDSP GBAO	GBAO	Mr Bakhtiyor Azizamamadov	Overall operational management, member of JCC
11	Finance manager MSDSP GBAO	GBAO	Mr Osim Gulamadshoev	financial reporting and control
12	Senior programme officer, Infrastructure MSDSP GBAO	GBAO	Mr Khujamiyor Khumorikov	technical assessment of infrastructure projects, member of JCC
13	MSDP district manager, Darvaz district	Darvaz	Ms Mohijahon Namakova	district level project management, member of TWG
14	MSDP district engineer, Darvaz district	Darvaz	Mr. Mamadnazar Kabirov	district level project engineer, member of TWG
15	MSDP district manager, Vanj district	Vanj	Mr Saidbek Kosimov	district level project management, member of TWG
16	MSDP district engineer, Vanj district	Vanj	Mr. Imommamad Dodov	district level project engineer, member of TWG
17	MSDP district manager, Rushan district	Rushon	Mr. Imomdod Qimatshoev	district level project management, member of TWG
18	MSDP district engineer, Rushan district	Rushon	Mr. Umed Rahimbekov	district level project engineer, member of TWG
19	MSDP district manager, Shughan district	Shughan	Mr. Peruz Fidoev	district level project management, member of TWG
20	MSDP district manager, Ishkashim district	Ishkashim	Ms Aqlibegim Khonjonova	district level project management, member of TWG
21	MSDP district engineer, Ishkashim district	Ishkashim	Mr. Nabi Zanjirbekov	district level project engineer, member of TWG
22	MSDSP Dushanbe Admin officer	Dushanbe	Mr Safarbek Nazarshoev	CBRD related tenders/ procurement/logistics support
23	MSDSP Dushanbe Accountant	Dushanbe	Mr Olucha Mamadnuyozov	CBRD related accounting reports / liaison with AKF

AKF Tajikistan

1	Chief Executive Officer	Dushanbe	Mr. Yodgor Faizov	Overall supervision of the project
2	Senior Rural Development Programme Officer	Dushanbe	Ms Beate Schoreit	Overall technical supervision of the project

Senior Representative of GBAO Government Involved in the Project

1	Governor of GBAO	GBAO	Mr. Shodikhon Jamshed	member of JCC, head of JCC
2	Deputy Governor of GBAO	GBAO	Mr. Isrorov	member of JCC, Executive head of JCC
3	Head of Economic development Department GBAO	GBAO	Mr Latif Shozodaev	member of JCC
4	Head of Investment committee GBAO	GBAO	Mr. Ulfatsho Abdolbekov	Assistant to head of JCC/representative of TVG

Drivers of senior staff

1	MSDSP Central office driver	GBAO	Mr Husaidod Panjshanbiev	Travel of MSDSP senior staff and government officials to TWG meeting and cross-border meetings
2	MSDSP Central office driver	GBAO	Mr Okhonjon Majnunov	Travel of MSDSP senior staff and government officials to TWG meeting and cross-border meetings
3	MSDSP Central office driver	GBAO	Mr Fakhridin Konunov	Travel of MSDSP senior staff and government officials to TWG meeting and cross-border meetings
4	MSDSP GBAO drivers	GBAO	Mr Shaturov Qodirov	Travel of MSDSP senior staff and government officials to TWG meeting and cross-border meetings

6. List of Capacity Building Trainings and Experience Sharing Visit

Record of Cross-border Activities, In-country Trainings and Third Country Trainings

Basic and Advanced Capacity building modules/trainings for ASUDVOs

#	Training Title	Module developed by	Training was conducted by	Y1 March 2012 – March 2013		Duration (days)	Place of conducted training	Target Group	Participants No. (Male/Female)	Remarks / Findings
				Conducted training period	Conducted training period					
1	Visioning Exercise	MSDSP Participatory Governance experienced specialist	MSDSP PG specialist	April to June 2012		1	Khorog, MSDSP Office	ASUDVOs	5 males	
2	District-Level Priority Planning	MSDSP Participatory Governance experienced specialist	MSDSP PG specialist	July to September 2012		1	Khorog, MSDSP Office	ASUDVOs, TWGs & MSDSP Districts	13 males 2 females	
3	Project Cycle Management (PCM)	Civil Society Support Center – NGO "Kalam"	NGO Kalam experienced specialist/trainers	October – December 2012		2	Khorog, MSDSP Office	ASUDVOs & TWGs	10 males	
Y2 March 2013 – March 2014										
4	Conflict Resolution	Civil Society Support Center – NGO Kalam	NGO Kalam experienced specialist/trainers	April – June 2013		2	Khorog, MSDSP Office	ASUDVOs & TWGs	11 males	
5	Gender for Development	Two individual experienced trainers	Two qualified experienced trainers	April – June 2013		2	Khorog, MSDSP Office	ASUDVOs & TWGs	10 males 1 female	
6	Common Property Resource Management	An individual experienced trainer	A trainer with PhD in Economic science, Head of Economic, Management and Finance Department of Public Administration Institute under the President	October - December 2013		2	Khorog, MSDSP Office	ASUDVOs & TWGs	10 males	
Y3 March 2014 – February 2015										
7	Monitoring and Report Writing	MSDSP Participatory Governance & Planning Monitoring Evaluation Unit specialist will develop the module	MSDSP PMEU specialists will conduct the training	July, 2014		1	Khorog, MSDSP Office	ASUDVOs & TWGs	12 males 3 females	
8	Community Facilitation Skills Training	Mr. Toyokazu Nakata JICA Short-term Expert	Mr. Toyokazu Nakata JICA Short-term Expert	3days * 2times in August 2014		6	Ismaili Center, Dushanbe	1st: ASUDVO & SUDVO & MSDSP 2nd: GBAO gov. & District gov. & AKF & MSDSP	1st 22 males 3 females 2nd 23 males 3 females	

In - Country /Abroad/ Cross-Border Experience-Sharing Activities

#	Activity Title	Place/Location conducted activity	Host Organisation	Period	Date visit	Target Group	Participants No. (Male/Female)	Remarks / Findings		
1	In country experience sharing visit	Shughnan district, GBAO		January - March 2013	11 of January 2013	ASUDVOs, TWGs & NGOs	13 males			
2	Cross-Border experience sharing	Shughnan Afghanistan	AKF Afg.	April - June 2012	11-12 June 2012	MSDSP GBAO & CO	4 males			
3	Cross-Border experience sharing	Shughnan district, GBAO	MSDSP	April - June 2012	13-15 June 2012	AKF Afg.	7 males			
4	Pre-conference experience sharing visit	Shughnan Afghanistan	AKF Afg.	October - December 2012	01 - December 2012	ASUDVOs & TWGs from Shughnan and Rushan districts	11 males 1 female	Meeting wit Local Government, DDAs, CDCs and CLDCs of Shughnan		
5	Pre-conference experience sharing visit	Ishkashim Afghanistan	AKF Afg.	January - March 2013	March 2013	ASUDVOs & TWGs from Ishkashim, Vanj & Darwaz districts, MSDSP	12 males	Meeting wit Local Government, DDAs, CDCs and CLDCs of Ishkashim Afg.		
6	Cross-Border Conference	Khorog Cross Border Market territory, Tajikistan	MSDSP	July to September 2013	17 August 2013	ASUDVOs, TWGs, JCC & MSDSP from Tajik	12 males 3 females	Cross Border Conferences on JICA/CBRD project with DDAs, Local		
7	Cross-Border Conference	Darwaz Cross Border Market territory, Tajikistan	MSDSP	October to December 2013	21 December 2013	ASUDVOs, TWGs, JCC & MSDSP	10 males 2 females	Cross Border Conferences on JICA/CBRD project with DDAs, Local		
Experience Sharing Abroad										
8	Experience sharing visit to Kyrgyzstan	Kyrgyzstan (Bishkek, Issyk-kul, Osh)	AKF Krg. & MSDSP Krg. JICA OVOB project	January - March 2013	5 to 12 February 2013	ASUDVOs, TWGs and JCC	11 males 1 female	(Umeno's findings of JICA OVOB Project visit) Learn about how to		
9	Experience sharing visit to Islamabad/Pakistan	Islamabad	RSPN - Rural Support Programme Network	January - March 2014	16 to 25 January 2014	ASUDVOs, TWGs and JCC	10 males			
Y3 March 2014 – February 2015										
10	Peer learning events between ASUDVOs and TWGs (In-country)	Vanj district, GBAO	MSDSP	May, 2014	22 to 24 May 2014	ASUDVOs, TWGs	10 males			
11	Cross Border Conference	Ishkashim Cross Border Market territory, Tajikistan	MSDSP jointly with AKF Afg. will conduct the CB Conf.	October - December 2014	15 November, 2014	ASUDVOs and TWG of Ishkashim & JCC members	21 males 5 females			

Summary Report
On
Completion Inspection for
Sub-project of CBRD

Reported by
Akie Umeno

The Project for Rural Development Project in Tajik – Afghan Border
Area of Gorno – Badakhshan Autonomous Oblast (CBRD)

Japan International Cooperation Agency
Feb 2015

Acronyms and Abbreviations

AKF	Aga Khan Foundation (Tajikistan)
ASUDVO	Association of SUDVOs
CBRD	Cross-border Rural Development (The Project For Rural Development Project in Tajik – Afghan Border Area of Gorno – Badakhshan Autonomous Oblast)
DRR	Disaster Risk Reduction
FOCUS	Focus Humanitarian Assistance
GBAO	Gorno-Badakhshan Autonomous Oblast
JICA	Japan International Cooperation Agency
JCC	Joint Coordination Committee
MSDSP	Mountain Societies Development Support Programme
SUDVO	Social Unions for the Development of Village
SHP	Small Hydro Power
TVG	Technical Verification Group (at the oblast level)
TWG	Technical Working Group (at the district level)
VO	Village Organization
WUC	Water Users Committee (at village level)

TABLE OF CONTENTS

Acronyms and Abbreviations

1. Introduction	1
1-1 Objectives of the Completion Inspection for sub-project	1
1-2 Members of the Completion Inspection	1
1-3 Schedule of Activities of the Completion Inspection	1
2. Methodology	1
3. Review Results by sector	2
3-1 Drinking Water Supply System	2
3-2 Irrigation Water Supply System	3
3-3 Health Infrastructure	4
3-4 Education Infrastructure	5
3-5 Road/Bridge Construction	6
3-6 Small Hydro Power (SHP) Station Facility	7
3-7 Sport Hall Repair	7
3-8 River Bank Stabilization	8
4. Conclusion	8
5. Recommendations	8

ANNEXES

1. Proposed indicators and items to be checked for completion inspection
2. Completion Inspection Data Sheet (Questionnaire result by the sector)
3. Questionnaire form (English/Tajik)

1. Introduction

1-1 Objectives of the Completion Inspection

Main objectives of the completion inspection are as follows:

- (1) To confirm the completion of construction of 44 sub-projects in proper manner and timely schedule.
- (2) To review the operation and maintenance (OM) mechanism that is facilitated for the project and to evaluate the project with three indicators: OM mechanism/responsible entity, operation, and direct/indirect effect.
- (3) To draw out recommendations based on the result of the review.

1-2 Members of the Completion Inspection

Ms. Akie Umeno	JICA/CBRD Project Coordinator/ Community Development
Mr. Saidaziz Sholamov	CBRD Cross-boarder programme officer
Mr. Rivoyat Shodibekov	Monitoring and Evaluation officer
Mr. Gulomnabi Bakhtibekov	ASUDVO Shugnan
Mr. Nekusho Saodatsairov	ASUDVO Ishkashim
Mr. Raimbekov Yormamad	ASUDVO Rushan
Mr. Qurbon Bekov	ASUDVO Vanj
Mr. Saidali Qalandarov	ASUDVO Darvaz

1-3 Schedule of the Completion Inspection

The completion inspection was initially agreed at 2nd JCC meeting on 16 July 2014, as a way to confirm the completion status and direct/indirect effect. The first orientation was held in August 2014 in order to explain to ASUDVOs in five districts about a purpose, a methodology and a schedule. After having developed a questionnaire between JICA and MSDSP, 2nd meeting with ASUDVOs was held in September 2014, and the questionnaires were distributed to them.

The data collection for the completion inspection was conducted from September to December by ASUDVOs, depending on each project completion period or seasonal accessibility to the interviewees and villages.

2. Methodology

The completion inspection was conducted through series of interviews with responsible/related individuals, groups, heads of community organizations and local governments who had been involved in the sub-projects. The inspection was consisted of quantitative and qualitative aspects based on the following indicators and check items attached as ANNEX 1:

<<General Item to be checked>>

- 1) Date of Completion and Handover
- 2) Agreement with jamoat and district governments
- 3) Community contribution/participation in the process of construction

<<Indicators>>

- 1) OM mechanism/Responsible Entity
- 2) Operation
- 3) Effect

Based on the items and the indicators, the questionnaires were developed separately by sectors: drinking water supply system, irrigation, health, education, road/bridge, small hydro power station, sport hall, and river bank stabilization.

The fieldwork (interview/data collection) was carried out in between September and December 2014, by ASUDVOs in five districts with technical assistance of JICA/CBRD Project Coordinator and MSDSP.

The filled questionnaires were sorted into eight sectors as above, and the data were compiled into each indicator.

3. Review Results by sector

The Team confirm the project completion of 44 sub projects of CBRD and reviewed the project performance in OM mechanize, community participation, local governance institutions' involvement, change before/after the project and an effect. The results of the review are presented in the following attached as ANNEX 2:

3-1 Drinking Water Supply System (DWSS)

Table 3-1: DWSS sector questionnaire result

Indicator I: OM mechanism/ Responsible entity	WUC availability	100%
	User fee collection	90%
	Monitoring frequency	100%
	Maintenance frequency	90%
	Budget availability for major	27%
	Budget availability for minor	90%
	Gov's technical inspection & monitoring	100%
	Technical concern	9%
Indicator II: Operation	Water Sufficiency [before]	0%
	Water Sufficiency [after]	100%
Indicator III: Effect	Reduce time spent for water collection (average)	-47min
	100% Decrease of Water borne disease [after]	64%

The sub-projects of DWSS were eleven (11) in total: seven in Shugnán, two in Ishkashim, and two in Vanj.

As the result of the indicator I, it was confirmed that all community established WUC (Water Users Committee) and most of them collected user fees. Both community and local governance institution were fully involved in its monitoring and technical inspection. All projects have financial availability for minor repairs, however many of them (approx.70%) have no budget for major repairs.

According to the indicator II, it was found that the water sufficiency of all projects has improved after project.

Moreover, it was described that the time spent for water collection was shortened in all community as well as the rate of water borne diseases were decreased in comparison with that of prior to the project. It was shown that the sub-project definitely had a positive impact on community's life improvement.

3-2 Irrigation Water Supply System

Table 3-2: Irrigation sector questionnaire result

Indicator I: OM mechanism/ Responsible entity	WUC availability	86%
	User fee collection	86%
	Monitoring frequency	100%
	Maintenance frequency	100%
	Budget availability for major	43%
	Budget availability for minor	100%
	Gov's technical inspection & monitoring	71%
	Technical concern=	0%
Indicator II: Operation	Water Sufficiency [before]	0%
	Water Sufficiency [after]	100%
Indicator III: Effect	n/a	n/a ¹

The sub-projects of Irrigation were seven (7) in total: two in Shugnan, three in Ishkashim, one in Rushan and one in Darvaz.

For the indicator I, it was confirmed that most communities established WUC and most of them collected user fees. Both community and local governance institutions were involved in monitoring and technical inspection in high rate. In this sector, it was shown that over 40% of the communities have available financial base for major repairs, while 100% for minor repairs.

Same as the DWSS sector result, it was found that the water sufficiency of all projects has improved after completion of projects, as shown in the indicator II. Apart from the above table 3-2, the data shows that three out of seven projects have widened their irrigation/cultivated land areas after the project completion.

Due to a short period after the project completion, there was no appropriate data to examine its effect, such as agricultural production increase/decrease. However, it was informed that two projects had a positive effect on an agriculture production. One of them, the project in Yoged, Darvaz district had a large increase their production in comparison with prior to the project.

3-3 Health Infrastructure

Table 3-3: Health sector questionnaire result

Indicator I: OM mechanism/ Responsible entity	Gov's maintenance availability	57%
	District department involvement in OM	100%
	Financial availability in department budget (monthly)	86%
Indicator II: Operation	Facility condition [before] Poor: Good	100%: 0%
	Facility condition [after] Poor: Good	14%: 86%
Indicator III: Effect	Recognition of the project	100%

¹ The indicator III is no numerical data but narrative information on satisfaction.

The sub-projects of Health infrastructure were seven (7) in total: one in Shugnan, one in Ishkashim, two in Rushan, two in Vanj and one in Darvaz.

All the projects were handed-over to district departments (health or communal service) and managed by them. However, only half of the projects (57%) had/established the government's maintenance mechanism². On the other hand, district departments were fully involved in OM, and the departments allocated monthly budget to most projects (86%).

Apart from the figures of the indicator I, the data describes that basic equipments were provided even the conditions were too old and insufficient in numbers. It is expected to affect the users number/caseloads after completion, however there were no appropriate data yet.

According to the result of the indicator II, it was responded that the most facilities improved its condition (86%). The negative answer on facility condition from projects in Ishkashim (14%) is related to existing old equipment/materials, not to the project facility itself (medical point).

For the aspect of effect, it is considered that community members expressed positive feedback on the project. 100% of the projects were well known by the beneficiaries and the most community members contributed to their projects by labor work. Furthermore, it was evaluated in most projects that both the local government and the community participated in decision making and planning stages.

² The answers of “no gov’s maintenance mechanism” were three. The public toilet is practically maintained by the community even though its mandate is under the district communal service. The maintenance mechanism of medical ambulatory in Darvaz was under the preparation by the government.

3-4 Education Infrastructure

Table 3-4: Education sector questionnaire result

Indicator I: OM mechanism/ Responsible entity	Gov's maintenance availability	86%
	District department involvement in OM	100%
	Financial availability in department budget (monthly)	86%
Indicator II: Operation	Facility condition [before] Poor: Good	71%: 29%
	Facility condition [after] Poor: Good	43%: 57%
	Teaching condition by student [before] Poor: Good	71%: 29%
	Teaching condition by student [after] Poor: Good	0%: 100%
	Teaching condition by school head [before] Poor: Good	86%: 14%
	Teaching condition by school head [after] Poor: Good	0%: 100%
Indicator III: Effect	Recognition of the project	100%

The sub-projects of Education infrastructure were seven (7) in total: three in Ishkashim, two in Rushan, two in Darvaz. All the projects were handed-over to district education departments and are managed by them.

Most projects (86%) had/established the maintenance mechanisms and district departments were fully involved in OM, and the department allocated monthly budget to most projects (86%).

Apart from the figures of the indicator I, the data describes that basic equipments were provided even the conditions are too old and insufficient in numbers.

According to the indicator II, it was evaluated from both students and school heads that an education environment has improved. Although it was found that 43% of the project was still in poor condition after project, their answers are related to existing old facility and equipment/materials, not to the project facility itself.

For the aspect of effect, it is considered that community members expressed positive feedback on the project. 100% of the projects were well known by the beneficiaries and most community members contributed to their projects by labor work. Furthermore, it was evaluated in most projects that both the local government and the community participated in decision making/planning stages. The result of the indicator III (effect) was the same as health infrastructure sector's one.

3-5 Road/Bridge Construction

Table 3-5: Road/Bridge sector questionnaire result

Indicator I: OM mechanism/ Responsible entity	Maintenance committee availability	86%
	User fee collection	86%
	Maintenance frequency	86%
	Budget availability for major	43%
	Budget availability for minor	86%
	Gov's technical inspection & monitoring	71%
	Technical concern=	14%
Indicator II: Operation	Facility condition [before] Poor: Good	100%: 0%
	Facility condition [after] Poor: Good	0%: 100%
	Accessibility in winter [before]	43%
	Accessibility in winter [after]	86%
Indicator III: Effect	Reduce time spent to market (average) ³	-38min
	Reduce time spent to clinic (average) ⁴	-38min
	Reduce time spent to school (average)	-6min
	Increase of Agricultural trade [after]	100%

The sub-projects of Road/Bridge were seven (7) in total: Three in Shugnan, one in Rushan, three in Vanj. The road/bridge sector projects were handed over to district road departments mostly; meanwhile a car bridge in Shugnan was handed over to VO level committee and a footbridge in Vanj to sub-district.

As the result of the indicator I, most of the communities (86%) established maintenance committees, and collect user fees about TJS 2 on an average. Although the financial availability for minor repairs was high (86%), the budget availability for major repairs was under 50%.

According to the indicators II and III, it can be considered that the project contributed to people's livelihood improvement and economic activity; accessibility in winter has improved and it reduced time spent to major places, and an agriculture trade after the project has increased. Especially in Bachor, Shugnan, this road and a car bridge contributed to dramatically change their transportation condition (Annex 2).⁵

³ This average was calculated except the project in Bachor, Shugnan.

⁴ This average was calculated except the project in Bachor, Shugnan.

⁵ It took about two days to market in Khorog before the project, but it reduced the time to only four hours after the project. It took one day to clinic before and it reduced the time to two hours after the project.

3-6 Small Hydro Power (SHP) Station Facility

Table 3-6: SHP sector questionnaire result

Indicator I: OM mechanism/ Responsible entity	Maintenance committee availability	100%
	User fee collection	100%
	Maintenance frequency	100%
	Budget availability for major	0%
	Budget availability for minor	33%
	Gov's technical inspection & monitoring	67%
	Collaboration with AKDN agencies	100%
Indicator II: Operation	Facility condition [before] Poor: Good	100%: 0%
	Facility condition [after] Poor: Good	0%: 100%
Indicator III: Effect	Electricity supply stability [after] Poor: Good	33%: 67%
	Water sufficiency in winter [after]	100%

The sub-projects of SHP station facility were three (3) in total: All three are located in Bartang valley in Rushan which is one of the most remote areas. These projects were to rehabilitate a tank and a canal of SHP. All projects were handed over to VOs. SHP in these communities was not only for households, but it also provided electricity to public places, such as schools, clinics/hospitals.

The result of the indicator I describes that the projects were prepared maintenance mechanisms and have a necessary collaboration with relevant agencies, such as local authority, MSDSP, Pamir Energy and Focus. On the other hand, it showed its weak aspect for financial availability.

In the indicator II and III, the project contributed to improve SHP condition further, and stabilize electricity supply. It was described that 33% (one project) responded "poor" as to the electricity supply stability after project. This was due to unexpected breakage of an aggregate of SHP and not attributed to sub-project implementation itself.

3-7 Sport Hall Repair

This sector has one project; sport hall repair in Shugnan.

This facility is totally managed by government institution (SYT=Sport, Youth and Tourism Committee) and maintained inspection mechanisms. Even under government management, it was assessed that there was concern that SYT had limited budget for the project maintenance; no availability for major repairs and allocated TJS 2,500 for minor repairs.

It was informed that the facility condition was improved and it contributed to improve training environment.

For the effect aspect, there were no any negative evaluations from the community. The community recognized and committed to the project by labor work. Both local government and community were involved from decision making and planning stages.

3-8 River Bank Stabilization (DRR)

This DRR sector has one project in Vanj and it was handed over to sub-district (jamoat).

Both VO and Jamoat recognize the importance of OM and they conducted joint monitoring during the project period. It prepared budget for both major and minor repairs; TJS800 for major and TJS150 for minor repairs. Besides monitoring by VO and jamoat, it was reported that district level (deputy governor) has visited the project site for technical inspection and monitoring.

For the operation aspect, there wasn't any change found yet because of a short period after project completion except improving the condition of riverside.

There wasn't any effect found yet because of a short period after project completion.

It was informed that people in the community feel a threat of flood was reduced.

4. Conclusion

As the result of collected information, it has confirmed that the sub-projects have been implemented and completed without any critical problems despite some delays of infrastructure construction.

In terms of OM mechanisms, most of the projects established maintenance committee and facilitated funding system. Since the project started, monitoring was conducted periodically or irregularly by stakeholders and/or responsible parties. On the other hand, it was found that many projects were weak with financial base especially for major repairs. Furthermore, it was assumed that the beneficiaries/users of especially health and education facilities felt unsatisfactory for the project due to lack of equipments, such as medical equipment, education material, and other necessary facilities in good condition.

In terms of participation, both the community and the local government were involved in the project and they contributed by in-kind and/or technical assistance. Meanwhile, it was implied that jamoat entity was weak in OM system except some projects (e.g. DWSS). It can be considered that jamoat have limited resources (personnel, budget, roles) and limited authority in local governance system of Tajikistan.

Additionally, because of a short period after the project completion, the survey had limitation to assess the effectiveness of the project. For appropriate assessment, it is necessary to conduct this kind of inspection in mid-term or long term period in the future.

5. Recommendation

(1) Drinking Water Supply System

- It is still weak with financial factor, especially for major repairs. Thus the projects need to be monitored periodically and raise the awareness of maintenance preparation in the community.

(2) Irrigation Water Supply System

- The inspection could not measure the effectiveness due to a short period after the project. It is recommended that both AKF/MSDSP and local government shall monitor the changes of agriculture production in the next harvest season.

(3) Health Infrastructure

- District government manages the projects but it is still weak with financial factor especially for equipment. Thus it is recommended that VO/SUDVO/ASUDVO and AKF/MSDSP shall monitor the projects and confirm with government in mid/long term period.
- Apart from the inspection, as the discussion between JICA project coordinator and the director of health department of the state executive body of GBAO (hereafter, GBAO government), the department expressed intention to secure budget for the sub projects' maintenance, at least, by the next fiscal year. Hence, it is expected they cope with it, and besides they supervise the district department both financially and technically. In addition to above, the health department of GBAO government keeps good collaboration with related organizations/institutions, such as AKHS.
- For the expectation to the district department, it is recommended to continue TWG function after CBRD and give technical services/assistance to the facility.
- The inspection could not measure the effectiveness due to a short period after the project. The mid/long term assessment of satisfaction is recommended.

(4) Education Infrastructure

- District government manages the projects but it is still weak with financial factor especially for equipment. Thus it is recommended that VO/SUDVO/ASUDVO and AKF/MSDSP shall monitor the projects and confirm with government in mid/long term period.
- Apart from the inspection, as the discussion between JICA project coordinator and the education department of GBAO government, the department expressed intention to maintain the facility (school) in collaboration with the district government. Hence, it is expected they cope with it, and besides they supervise the district department both financially and technically.
- For the expectation to the district department, it is recommended to continue TWG function after CBRD and give technical services/assistance to the facility.
- PTA (parents and teaches association) is significant. Thus it is recommended to involved PTA in school management.
- The inspection could not measure the effectiveness due to a short period after the project. The mid/long term assessment for satisfaction is recommended.

(5) Road/Bridge Construction

- It is recommended to strengthen finance especially for major repairs. Thus AKF/MSDSP are expected to encourage VO and local government to prepare funding.
- It is recommended that AKF/MSDSP and government follow-up OM mechanism issue of the project in Bachor, Shugnan district.

(6) SHP Station Facility

- Although the communities don't have any concern with facility, it is recommended that the communities to better prepare for long-term maintenance issues, such as budget for minor repairs.
- It is assumed that SHP's OM is difficult for only VO further governmental support would be less. It is expected that AKDN agencies (AKF, MSDSP, Pamir Energy and Focus) will support comprehensively and continuously.

(7) Sport Hall

- District government manages the projects but it is still weak with financial factor for maintenance. AKF/MSDSP are expected to encourage SYT to funding.
- The inspection could not measure the effectiveness due to a short period after the project. The mid/long term assessment for satisfaction is recommended.

(8) River Bank Stabilization

- The inspection could not measure the effectiveness due to a short period after the project. It is recommended that VO/SUDVO/ASUDVO, AKF/MSDSP and local government shall monitor the flood frequency and its damage reduction.

END

Proposed indicators and items to be checked for completion inspection

1. General items to be checked

- 1) Date of Completion and Handover
- 2) Agreement with jamoat and district governments
- 3) Community contribution/participation in the process of construction

2. Sector-based indicators for direct benefit

Drinking water supply system	Irrigation Water Supply system	Health Infrastructure	Education Infrastructure
<p>【OM mechanism/Responsible Entity】</p> <ul style="list-style-type: none"> * Maintenance Mechanism (Users' Committee, user fee, monitoring and maintenance frequency) * Budgetary arrangement for major/minor repair * Technical concern for maintenance * Technical inspection and monitoring mechanism by government 	<p>【OM mechanism/Responsible Entity】</p> <ul style="list-style-type: none"> * Maintenance Mechanism (Users' Committee, user fee, monitoring and maintenance frequency) * Budgetary arrangement for major/minor repair * Technical concern for maintenance * Technical inspection and monitoring mechanism by government 	<p>【OM mechanism/Responsible Entity】</p> <ul style="list-style-type: none"> * Maintenance Mechanism * Involvement of District health department * Budgetary arrangement for equipment and medicines * Number of Medics, and availability of salary * Availability of medical supply * Charges collected from patients 	<p>【OM mechanism/Responsible Entity】</p> <ul style="list-style-type: none"> * Maintenance Mechanism * Involvement of District education department * Budgetary arrangement for equipment and textbooks/teaching materials * Number of teachers, availability of salary * Availability of educational materials
<p>【Operation indicator】</p> <ul style="list-style-type: none"> * Number of beneficiaries (population/households) * Water supply volume (before/after) * Water supply level during dry summer and freezing winter (before/after) 	<p>【Operation indicator】</p> <ul style="list-style-type: none"> * Number of benefitted farmers * Length of canals and no. of distribution points (before/after) * Irrigated area and total cultivated area (before/after) * Cultivable months and crops (before/after) * Water supply level during dry summer and freezing winter (before/after) 	<p>【Operation indicator】</p> <ul style="list-style-type: none"> * Extended space (before/after) * Facility condition (before/after) 	<p>【Operation indicator】</p> <ul style="list-style-type: none"> * Extended Classroom (before/after) * Facility condition (study environment) (before/after) * Schooling hours/shifts (before/after)
<p>【Effect indicator】</p> <ul style="list-style-type: none"> * Labor for water collection (Time spent for collecting water) (before/after) * Water borne diseases (before/after) 	<p>【Effect indicator】</p> <ul style="list-style-type: none"> * Agricultural production (varieties of crops, increase of t/year, t/ha.) (before/after) 	<p>【Effect indicator】</p> <ul style="list-style-type: none"> * Caseloads and Patients/users number * Satisfaction of patients/users * Satisfaction of medics 	<p>【Effect indicator】</p> <ul style="list-style-type: none"> * Satisfaction of students * Satisfaction of teachers
Road Construction /Bridge Construction	Small Hydro power station building/tank <renovation>	Sport Hall <repair>	Disaster Risk Reduction (River bank Stabilization)
<p>【OM mechanism/Responsible Entity】</p> <ul style="list-style-type: none"> * Maintenance Mechanism (Users' Committee, monitoring and maintenance frequency) * Technical concern for maintenance * Technical inspection and monitoring mechanism by government 	<p>【OM mechanism/Responsible Entity】</p> <ul style="list-style-type: none"> * Maintenance Mechanism (Users' Committee, user fee, monitoring and maintenance frequency) * Technical concern for maintenance * Technical inspection and monitoring mechanism by government * Collaboration with AKDN (Aga Khan Development Network) 	<p>【OM mechanism/Responsible Entity】</p> <ul style="list-style-type: none"> * Maintenance Mechanism (Users' Committee, user fee, monitoring and maintenance frequency) * Technical concern for maintenance * Technical inspection and monitoring mechanism by government 	<p>【OM mechanism/Responsible Entity】</p> <ul style="list-style-type: none"> * Maintenance Mechanism * Involvement of District department * Budgetary arrangement for major/minor repair * Technical concern for maintenance * Technical inspection and monitoring mechanism by government
<p>【Operation indicator】</p> <ul style="list-style-type: none"> * Renovated length * Road/Bridge condition (before/after) * Number of users/volume of traffic (vehicle/day) (before/after) * Accessibility during winter (before/after) 	<p>【Operation indicator】</p> <ul style="list-style-type: none"> * Benefitted population/households * Facility condition (before/after) 	<p>【Operation indicator】</p> <ul style="list-style-type: none"> * Extended space (before/after) * Facility condition (before/after) 	<p>【Operation indicator】</p> <ul style="list-style-type: none"> * Benefitted population/households * River bank condition (before/after) * Water supply level during dry summer and freezing winter (before/after)
<p>【Effect indicator】</p> <ul style="list-style-type: none"> * Time for transportation/accessibility to major places as market, clinic, schools etc. (before/after) * Increase of agricultural trade 	<p>【Effect indicator】</p> <ul style="list-style-type: none"> * Stability of Electricity supply (before/after) * Water flow: seasonal fluctuation (sufficiency in winter) 	<p>【Effect indicator】</p> <ul style="list-style-type: none"> * Satisfaction of users 	<p>【Effect indicator】</p> <ul style="list-style-type: none"> * Frequency and season of flood (annual) * Damages caused by disaster (before/after)

NOTE

* Apart from indicators where qualitative measurement is applicable (e.g. number of beneficiaries), most of the indicators would rely on qualitative/narrative information collected at the target villages.
 * Since baseline data from target villages are not available, (before/after) indicators would rely on narrative information given by interviewees from target villages.
 * Impact/positive effect are yet to be confirmed, as most of the infrastructures are newly installed. Therefore, Effect indicators would rely on narrative information given by interviewees from target villages.

Annex 2

Drinking Water Supply System																																							
General Information										Indicator I) OM mechanism										Indicator II) Operation					Indicator III) Effect														
Project	Village	Sub-District	District	Answered by	Date of Completion dd/mm/yyyy	Hand over to	Agreement with Jamoat (1=Yes, 0=No)	Community Contribution (TJS)	Community participation (No of hh)	WUC Available (1=have, 2=none)	Add info	User fee (1=Yes, 0=No)	User fee (TJS/hh/month)	Monitoring Frequency (1=Monthly, 2=Quarterly)	Add info	Maintenance Frequency (1=Yes, 0=No)	Maintenance done after completed (1=Yes, 0=No)	Add info	Budget availability for major repair (1=Yes, 0=No)	Amount (TJS)	Add info	Budget availability for minor repair (1=Yes, 0=No)	Amount (TJS)	Gov's Technical inspection & monitoring (1=Yes, 0=No)	Add info	Technical concern (1=Yes, 0=No)	Add info on technical concern	No. of beneficiary	Water sufficiency (1=Yes, 0=No)		Water supply level in Summer (1=High, 2=Low)		Water supply level in Winter (1=High, 2=Low)		Time spent for water collection (hr/mm)		Water borne diseases		
1	Construction Drinking Water Supply	Sokhcharv-1	Sokhcharv	Shughnan	VO head WUC head	30/06/2014	WUC (VO level)	1	in kind (labor)	57	1	Total 150hhs and 816 people are users	1	0.3	1	Conducted by VO, SUDVO, Jamoat head and MSDSP	1	1	Some taps were replaced with new better quality one	0	n/a		1	2,120	1	Head of Jamoat conducted monitoring. Technical inspection is planned in future	0	n/a	816 p	0	1	High	High	Low	Low	00'30	00'05	Diarrhea Dysentery	none
2	Construction Drinking Water Supply	Nishup/Dashtak/Barchadev	Darmorakht	Shughnan	VO head TWG head	10/12/2014	WUC (VO level)	1	in kind (labor)	140	1	Although WUC isn't established yet. VO plans to establish by the end of year	1	3.0	1	conducted by district gov. MSDSP and SUDVO	1	0		0	n/a		1	1,000	1	TWG conducted	1	Community think that 20 sm diameter pipes are not enough at three points.	160 hh	0	1	High	High	Low	Low	00'30	00'05	Diarrhea Dysentery	none
3	Construction Drinking Water Supply	Bogev	Suchon	Shughnan	VO head Sub-district head TWG head	15/12/2014	WUC (VO level)	1	in kind (labor)	205	1	A total of 250 hhs are the member of WUC	1	5.0	1	Conducted by VO, SUDVO, Jamoat head and MSDSP	1	0		0	n/a		1	500	1	Technical inspection wasn't hand-over officially yet	0	n/a	205 hh	0	1	High	High	Low	Low	00'30	00'05	Diarrhea Dysentery	none
4	Construction Drinking Water Supply	Devasta	Navobod	Shughnan	VO head TWG head	25/11/2014	WUC (VO level)	1	in kind (labor)	86	1	All 86 hhs are the member of WUC	1	5.0	1	Conducted by VO, SUDVO, Jamoat head and MSDSP	1	0		0	n/a		1	12,000	1	Technical inspection wasn't hand-over officially yet	0	n/a	86 hh	0	1	High	High	Low	Low	01'00	00'10	Diarrhea Dysentery	none
5	Construction Drinking Water Supply	Navobod	Navobod	Shughnan	VO head TWG head	10/08/2014	WUC (VO level)	1	in kind (labor)	70	1	A total of 70 hhs are the member	1	3.0	1	Conducted by district head, jamoat head, ASUDVO, VO, SUDVO and TWG	1	0		0	n/a		1	6,000	1	Joint technical inspection was done by regional sanitation experts, district gov and VO members	0	n/a	70 hh	0	1	High	High	Low	Low	00'30	00'03	Diarrhea	none
6	Construction Drinking Water Supply	Ver/Zuvor	Ver	Shughnan	VO head Sub-district head TWG head	14/12/2014	WUC (VO level)	1	11,400	97	1	WUC establishment is ongoing and will be completed by the end of this month (Nov/Dec)	1	n/a	1	Conducted by VO, SUDVO, Jamoat head and MSDSP	1	0		0	n/a		1	12,000	1	Gov representatives and MSDSP are conducting monitoring monthly bas. The land committee inspector conducted technical inspection	0	n/a	97 hh	0	1	High	High	Low	Low	02'00	00'10	Diarrhea Dysentery Hepatitis	Diarrhea
7	Construction Drinking Water Supply	Sardem	Vankala	Shughnan	VO head TWG head	25/09/2014	WUC (VO level)	1	in kind (labor)	66	1	The 66 hhs agreed and established water committee	1	5.0	1	Conducted by VO, SUDVO, Jamoat head and MSDSP	1	1	The taps were replaced	0	n/a		1	3,000	1	Technical inspection was done by TWG after the project was officially opened	0	n/a	66 hh	0	1	High	High	Low	Low	01'30	00'02	Dysentery Flue	Flue
8	Construction Drinking Water Supply	Shanbedeh	Kozideh	Ishkashim	VO head Sub-district	15/06/2014	Sub-district	1	n/a	56	1	-WUC was established and management was selected by VO meeting. -All the users become members of WUC	1	3	1	Conducted by community members and local authorities	1	0	n/a	0	n/a		0	n/a	1	The regional sanitation dept was responsible to periodically visit and assess the water quality	0	n/a	467 hh	0	1	High	High	Low	Low	01'00	00'10	Diarrhea Dysentery Typhoid	Flue
9	Construction Drinking Water Supply	Andarob	A. Zamirov/ Andarob	Ishkashim	VO head	20/10/2014	Sub-district	1	22,000	64	1	-WUC was established and management was selected by VO meeting. -All the users become members of WUC	1	3	1	VO always monitored and one person was assigned as responsible for control	1	1	Minor reparments have been done after project: replace taps around TJS 100	1	7,050	All members agreed to collect TJS 150/hh and it was already collected from 47 out of 60 hhs	1	180	1	Based on the agreement with Jamoat, the project will be controlled by gov	0	n/a	456 hh	0	1	High	High	Low	Low	00'35	00'10	Dysentery Flue	Flue
10	Construction Drinking Water Supply	Buniga	Vodkhud	Varj	Sub-district Head	26/04/2014	Sub-district	1	5,900	27	1	All community members agreed to follow the WUC structure	1	10	1	Conducted by VO, SUDVO, and MSDSP	0	1	It was maintained due to damaging the pipe by mudflow. Community spent TJS 250 for this replacement	1	3,000		1	800	1	Sub-district is responsible	0	n/a	206 hh	0	1	High	High	Low	Low	01'00	00'15	Diarrhea Hepatitis	none
11	Construction Drinking Water Supply	Rav	Jovidon	Varj	Sub-district Head	28/08/2014	WUC (VO level)	1	7,000	62	1	All community members agreed to follow the WUC structure	1	5	1	Conducted by VO head	1	1	n/a	1	1,500		1	600	1	Sub-district is responsible	0	n/a	206 hh	0	1	High	High	Low	Low	01'00	00'15	Diarrhea Hepatitis	none

*WUC=Water Users' Committee

OM mechanism
 -All communities have/establish WUC and collect user fee.
 -Monitoring was conducted by Monthly.
 -Most projects involve gov institution in project by technical monitoring/inspection.
 -All projects has financial availability for minor repairs but weak with major ones.

維持管理のしくみ
 -全補給対象村で水利管理組合が設置されており、組合費も徴収されている。
 -モニタリング頻度は毎月である。
 -全事業では行政の維持管理への関わりを有している。
 -全事業の小規模な補修予算の確保はされているが、大規模の補修に対してはまだまだ不十分とみられる。

Operation
 -All projects inform that water sufficiency has improved after project.

効果
 -全事業より飲料水供給に事業前後で変化があり、十分な飲料水が確保できたと見られる。

Effect
 -In all project sites, it is found that the time spent for water collection was shortened.
 -In most project communities, the water borne diseases are decreased after project.

事業効果
 -全事業の対象地で、飲料水確保にかかる時間が短縮できた。
 -ほとんどの事業対象地で、飲料水が起因する病気が減少している。

Irrigation		General Information										Indicator I) OM mechanism/Responsibility Status										Indicator II) Operation										Indicator III) Effect														
Project	Village	Sub-District	District	Answered by	Date of Completion &/mm/yyyy	Hand over to	Agreement with Jaoat (1=Yes, 0=No)	Community Contribution (TJS)	Community participation (No of hb)	WUC Available (1=have, 2=none)	No of members	User fee (1=Yes, 0=No)	User fee (TJS/hh/month)	Monitoring Frequency (1=Monthly, 2=Quart, 3=Annul)	Add info	Maintenance Frequency (1=Yes, 0=No)	Maintenance done after completed (1=Yes, 0=No)	Add info	Budget availability for major repair (1=Yes, 0=No)	Amount (TJS)	Budget availability for minor repair (1=Yes, 0=No)	Amount (TJS)	Gov's Technical inspection & monitoring (1=Yes, 0=No)	Add info	Technical concern (1=Yes, 0=No)	Add info on technical concern	No. of benefited farmer (individual)	Length of the canal restored (m)	No. of distribution point		Total irrigated land (ha)		Total cultivated land (ha)		Water sufficiency (1=Yes, 0=No)		Cultivated period (month)		Crops		Water supply level in Summer (Hot, Legal)		Water supply level in Winter (Hot, Low)		Total Agri-production (Kg)	
1	Renovation of the irrigation canal	Chokhandez/Dastik	Sokhcharv	Shughnan	VO head TWG head	30/10/2014	VO	1	in kind (labor)	30	1	35	1	1	1	0		1	0	1	3,500	1		0			35	387	5	5	25	25	25	25	0	1	Apr	Oct	potato/wheat/alfalfa/ra	High	High	Low	Low	potato 13,000 wheat 1,000 alfalfa 20,000	n/a (no data after request yet)	
2	Partial rehabilitation of irrigation canal	Ghojak/Pish	Darmorakht	Shughnan	VO head TWG head	16/05/2014	VO	1	in kind (labor)	39	1	71hh	1	2.4	1	0		0	0	1	3,600	1		0			49	1,600	0	4	15	26	15	26	0	1	Apr	Nov	potato/wheat/barley/beans/alfalfa/sainfoin/grass	High	High	Low	Low	n/a	n/a	
3	Dam construction for irrigation canal	Darshai	Shikhcharv	Iskashim	VO head	16/05/2014	VO water committee	1	11,000	60	1	All community (85-74)	1	5	1	1		1	500	1	500	1		0			69	4,000	5	6	68	68	68	68	0	1	Apr	Sep	potato/wheat/barley/beans/alfalfa/grass	High	High	Low	Low	potato 14,000 wheat 1,200 barley 1,800 beans 1,600 alfalfa 2,000 grass 2,000	potato 18,000 wheat 1,800 barley 2,000 beans 1,800 alfalfa 2,500 grass 2,500	
4	Renovation of the irrigation canal	Vichkut	Pitup	Iskashim	VO head	25/04/2014	VO water committee	1	8,000	112	1	70	1	3	1	1		0	0	1	300	1		0			70	6,000	3	7	50	50	50	50	0	1	Apr	Sep	potato/wheat/barley/alfalfa/grass	High	High	Low	Low	n/a	n/a	
5	Partial renovation of the irrigation canal	Pitup/Chitok	Pitup	Iskashim	VO head	10/10/2014	VO	1	13,000	28	0	n/a	0	n/a	1	0	n/a	0	n/a	1	250	1		0			176	1,600	26	20	60	60	60	60	0	1	Apr	Sep	potato/wheat/barley/alfalfa/grass	High	High	Low	Low	potato 1,800 wheat 200 barley 250 alfalfa 400 grass 300	no change yet	
6	Construction of inverted siphon for irrigation canal	Ravidd	Bartang	Rushan	VO head	25/04/2014	VO water committee	1	6,485	34	1	34	1	8	1	0	n/a	0	n/a	1	200	0		0			34	900	0	3	5	7	3	6	0	1	Apr	Sep	potato/barley/beans/alfalfa/grass	High	High	Low	Low	n/a	n/a	
7	Construction of siphon irrigation system	Yoged	Nuvand	Darvaz	Head of District Water dept	02/02/2014	District Water dept	1	37,000	96	1	96 (All hb)	1	0.6/sq/m	2	1	0	n/a	1	1,400	1	500	0		0		36	1,700	4	8	5	7.5	5	7.5	0	1	Apr	May	potato/wheat/corn/beans/alfalfa/tomato/cabbage/onion/carrot/cucumber	High	High	Low	Low	potato 4.5t wheat 0.5m corn 2m beans 0.3 alfalfa 7.3m tomato 1.8t cabbage 4t onion 3.1t onion 9m carrot 0.6m cucumber 0.87m		

*WUC=Water Users' Committee

OM mechanism

- Most communities have/establish WUC and collect user fee.
- Monitoring was conducted by Monthly or Quarterly.
- Most projects involve gov institution in project by technical monitoring/inspection.
- All projects has financial availability for minor repairs but weak with major ones.

維持管理のしくみ

- ほとんどの灌漑対象村で水利管理組合が設置されており、組合費も徴収されている。
- モニタリング頻度はほぼ毎月である(事業は毎四半期)。
- ほとんどの事業では行政の維持管理への関わりが希薄である。
- 全事業の小規模な補修予算の確保はされているが、大規模の補修に対してはまだまだ不十分とみられる。

Operation

- All projects inform that water sufficiency has improved after project.
- Half of projects (three) has changed their irrigated/cultivated land area and remains are no change.

効果

- 全事業より灌漑用水供給に事業前後で変化があり、十分な灌漑用水が確保できたと見受けられる。
- 約半数の事業(3事業)は、事業によって灌漑・耕作地が拡大したが、残り半数の事業では変化はない。

Effect

- Most projects have no data of changes because of a short period.
- Two of them have positive effect on agri-production slightly.

事業効果

- 視察点ではほとんどの事業で比較対象データ(事業後の収穫量)がないので、評価できない。
- 2事業においては、うるやかな増加がみられたので、事業効果があつたと見受けられる。

Health Infrastructure

General Information										Indicator I OM mechanism/Responsible Entity										Indicator II Operation										Indicator III Effect				
Project	Village	Sub-District	District	Answer by	Date of Completion dd/mm/yyyy	Hand over to	Agreement with Jamoat (1=Yes, 0=No)	Community Contribution (TJS)	Community participation (No of hh)	Gov Maintenance mechanism (1=available, 0=none)	Add info	District Health dept involvement in O&M (1=Yes, 0=No)	Monthly expenses include in Health dept bdt (1=Yes, 0=No)	Equipment Availability	Medicine Availability	No of staff		No of caseloads		User fee TJS	Area (sq/m)		No of room		Facility condition (2=Excellent, 1=Good, 0=Poor)		Add Info	Satisfaction						
																Before	After	Before	After**		Before	After	Before	After	Before	After		Project recognition (1=Yes, 0=No)	Add Info	Contribution/Commitment to Implementation	Usage of facility	Evaution/others recognition		
1	Construction of Medical Point	Vozm	Porshinev	Shughnan	Health Center and Head VTG head	20/08/2014	District Health Department	1	in kind (labor)	140	1	Gov allocated TJS4,200 for 2 tables, 8 chairs, 1 shelve, 1 couch and 1 fridge	1	1	3 shelves 3 tables 10 chairs 1 couch 1 fridge 1 first-aid kit	dimedrol/paracetamol/vitamins/anlagen/bandage/iodine/calcium/gluconate	3	3	2/day	3/day	1	n/a (wagon)	264	2	3	0	1	[Before] All equipments was from soviet period and a wagon was used as med-point [After] It become modern health center with all needed equipment that was provided by gov.	1	People were involved in meetings and they know all process	labor work (voluntarily)	conducted vaccination for children	150 people at VO level, 80 at Jamoat level and 50 District/Oblast people were involved in discussions.	
2	Construction of Medical Point	Vrukut	Vrang	Ishkashim	VO leader (head) SUDVO leader	05/11/2014	District Health Department	1	3,000	14	0	Health dept included all expenses in its annual budget	1	1	1 shelf 4 tables chairs 1 couch 1 first-aid kit	Set of medical drugs are available only for emergency	4	4	1,300	850	0	0.2	0.2	2	3	0	0	[Before] Some equipments were provided in 1980 and 2 chairs were provided in 2005. The condition is bad [After] Still the equipments is out of use and no plan to replace yet	1	Interviewee knew about project period (start/complete)	labor work	Community use it after handover	*Had discussion with all community people and medical staffs *Interviewee heard from 20 people and they are very happy to use it	
3	Construction of Medical Point	Derrushon	Dodkhudoev	Rushan	Health Center Head	Ongoing (on interview date)	District Health Department	1	9,265	250	1	Gov allocated TJS 4,200 for 2 tables, 8 chairs, 1 shelve, 1 couch and 1 fridge	1	1	n/a	n/a	5	5	890	n/a	0	n/a	0.12	1	2	0	1	[Before] All equipments was from soviet period and a wagon was used as med-point [After] Gov will provide new equipment after completion	1	Interviewee knew about project period (start/complete)	labor work (voluntarily)	n/a (still ongoing on the date)	*Had different meetings and discussion among all partners to contribute to the project	
4	Renvation of therapeutics department at the district hospital	Vamor	Rushan	Rushan	Chief Doctor Head of the hospital	20/08/2014	District Health Department	1	n/a	n/a	1	n/a	Gov plans budget TJS 20,000	All important medicines are provided regularly	11	12	2/day	10/day	0	n/a	n/a	2	3	0	1	[Before] The hospital was built in 1976 and never rehabilitated since then. Only reconstructed roofing in 2006 [After] Now is better. The rooms are bright and clean	1	Interviewee knew about project period (start/complete)	n/a	People now use	* Stakeholders were involved in planning and implementation period. *Interviewee talked with many people (40 of partners, 16 doctors, 8 nurses and 20 patients)			
5	Construction of Medical Point	Gishkhon	Mahmadullo Abdulloev/Varj	Varj	Health Center head	27/08/2014	District Health Department	1	in kind (labor)	203	1	Gov promised to provide facilities	1	1	table chair couch	Adrenaline arlagen dibazole	3	3	133	120	0	0.02	0.005	2	3	0	1	[Before] The equipment were procured in 1970 and now out of use [After] The center is now modern but the equipment too old to meet standards	1	Interviewee knew about project period (start/complete)	labor work	People now use	Talked with all community members, medical staff and local authorities	
6	Construction of public toilet	B.Gafurov	Mahmadullo Abdulloev/Varj	Varj	Head of District Communal services	01/06/2014	District Communal Services*	1	3,300	60	0*	n/a	1*	0*	water tank	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	0.01	n/a	n/a	n/a	1	[Before] No toilet before [After] there are toilet with sanitation and hygiene standards	1	Interviewee knew about project period (start/complete)	labor work	People now use	The community member had discussion and around 30 people were involved in the project		
7	Construction of sub-district level Medical Ambulatory	Jorf and Vishkharv	Vishkharv	Darvaz	Medical Poit staff	28/07/2014	District Health Department	1	15,161	78	0	It is now under gov and maintenance goes under gov rule. Gov contribute materials	1	1	shelves tables chairs couch fridge first-aid kit	paracetamol/vitamins/alginate/bandage/iodine/calcium/gluconate	5	6	703	385	0	10	2.25	1	4	0	1	[Before] The space was small and the facilities were not enough. There was no couch before [After] It is now enough for both staff and patients. Health dept promised to allocate furniture	1	Interviewee knew about project period (start/complete)	labor work	Patients now use. Two times of vaccination for children were conducted.	*Mainly 11 people (incl. patient, doctor) were involved. *People were deep gratitude to OBRD (MSDSP&JICA)	

*however community are responsible for its maintenance and keeping clean, one women appointed to daily clean it, 200 tjs montly salary)

OM mechanism
 *Most projects are handled by district gov with proper OM mechanism/responsible entity.
 *It must be considered that standard equipments are provided even though the condition are too old and insufficient numbers.
 *It has increased the number of users (caseloads).
 *Public toilet is handled by district communal services, however it shall actually maintained by community.
 **No. of caseload data of before/after of some projects, are not fair to compare because these are for annual numbers.

【維持管理のしくみ】
 *県庁級の予算で、ほとんどの事業が良好な維持管理の仕組みで実行している。
 *設置以降、あるいは運搬時以降に施設維持が管轄だったことから、施設内備品は、古く数量不足も推測されるが、基本的な備品は供給されていた。
 *利用者数は増加しているとみられる。
 *共同トイレ(Vanj県)は、県保健局ではなく県交通局の管轄であり、また実際の運営や管理は利益対象村が主に行っているため上記の回答が出たと推測される。
 *利用者数を年間分として回答している施設分に関しては、完工後1年未満のため比較対象として不十分であるが、平均値から推量するに増加している。

Operation
 *Due to project implementation, it has improved for health service delivery.
 *The answer on facility condition from projects in Ishkashim, is related to exist equipment/material, not to OBRD implementation.
 *Projects are handled by district gov but still weak with finance for especially equipments, and VO/SUDVO/ASUDVO and AKF/MSDSP need to confirm with gov in mid/long term period.

【運営】
 *事業実施によって、保健サービス環境は大きく改善した。
 *Ishkashimの施設状況についての回答は、OBRDで建設した建物ではなく、施設内の備品についてで、事業対象外の部分についてである。
 *事業は全て県行政の管轄下であるが、備品整備などの予算面が弱く、今後中長期的に関係者が確認しFUする必要がある。

Effect
 *No found any negative evaluation from community.
 *All communities recognized and commit to the project.
 *All communities' commitment are in kind (labor work).
 *Both local gov and community were involved to decision making/planning stage facilitated by OBRD.

【事業効果】
 *利益対象村からの否定的な意見/評価は確認できなかった。
 *利益対象村は事業について正確に認識し、また計画段階から行政とともに協議に参加してきた。
 *全事業、対象村の住民は、役務提供での事業参加をしている。

Education Infrastructure																																						
(General Information)					(Indicator I) OM mechanism/Responsible Entity												(Indicator II) Operation							(Indicator III) Effect														
Project	Village	Sub-District	District	Answered by	Date of Completion dd/mm/yyyy	Hand over to	Agreement with Jamoat (1=Yes, 0=No)	Community Contribution (TJS)	Community participation (No of hh)	Gov Maintenance mechanism (1=available, 0=None)	Add info	District Edu dept involvement in OIM (1=Yes, 0=No)	Monthly expenses include in Edu dept bidgt (1=Yes, 0=No)	Equipment Availability	Teaching material Availability	No of teacher		Current salary for teaching staff (1=Yes, 0=No)	Amount (TJS)	No of classroom increased	School hrs./shift		Facility condition (2=Excellent, 1=Good, 0=Poor)		Add Info	Teaching condition (by Students) (2=Excellent)		Teaching condition (by head of sch) (2=Excellent)		Project recognition (1=Yes, 0=No)	Add Info	Satisfaction						
																Before	After				Before	After	Before	After		Before	After	Before	After			Before	After	Usage of facility	Evaston/others recognition			
1	Renovation of selected classrooms in the secondary school #20	Skunde/Rin	Ishkashim	Ishkashim	Head of School VO leader (head)	24/09/2014	District Education Department	1	22,000	157	1		Budget per children is available in District Edu Dept	1	1	Table Chairs Whiteboards Shelves	Course books Notebooks maps	27	27	1	300 for each	1	1	1	0	0	[Before] Most facilities were provided in 1974 and now is out of use. Only one computer class has new tables and computers provided in 2009 [After] (Althou complete building) There are no new equipments or facilities in the school	0	1	[Before] The school was in bad condition and wasn't reconstructed in many years. The rooms are dark and cold in winter [After] Now it is warm and in good condition for study. The rooms are bright and wide.	0	1	[Before] Students and teaches got sick because of cold winter. The rooms weren't meet the standards for study condition [After] It is now better and meets standards of study facility	1	Interviewee knew about project period (start/complete)	Contribution/Commitment to Implementation	Usage of facility	Evaston/others recognition
2	Construction of four classrooms in the secondary school #7	Drij	Vrang	Ishkashim	Head of School VO leader (head)	15/10/2014	District Education Department	1	28,000	69	1		Budget per children is available in District Edu Dept	1	1	60 tables 100 chairs 8 whiteboard 15 shelves, etc	Course books Notebooks maps PCs	18	20	1	350 for each	4	2	2	0	1	[Before] The school was facilitated in 1990 and 10 tables were provided by edu dept in 2008 and 10 chairs were provided in 2012 [After] Old facilities is used for work purpose and there is a plan to buy new tables and chairs by the end of year	0	1	[Before] The condition wasn't good and didn't meet requirements [After] Now in better condition	0	1	[Before] The condition was bad and requested MSDSP for financial support [After] The school is reconstructed and meets standards	1	Interviewee knew about project period (start/complete) and also additional work schedule	Fully contributed by labor by VO members	n/a	n/a
3	Renovation of the secondary school #5	Zugvand	Zong	Ishkashim	Head of School VO leader (head)	10/10/2014	District Education Department	1	15,000	96	1		Budget per children is available in District Edu Dept	1	1	120 tables 240 chairs 11 whiteboard 15 shelves etc	Course books Notebooks maps PCs	25	29	1	300	0	2	2	0	1	[Before] The tables and chairs were provided in 1998 and 20 tables and 40 chairs were provided in 2012 [After] There are some new tables	0	1	[Before] Students got together to make warm and it was dark and no hygiene [After] Now each grade have their own comfortable room	0	1	[Before] It was in dangerous situation and the walls fell down. Cold in winter and it may cause diseases for student and teachers [After] It is now better and safe environment	1	Interviewee knew about project period (start/complete)	It was agreed in VO meeting that one person will contribute during project period.	n/a	n/a
4	Roofing of the secondary school #12	Past khuf	Pastkhuf	Rushan	Head of School VO leader (head)	15/12/2014	District Education Department	1	4,266	210	1		TJS 3,000 from Edu dept in 2013 and TJS 16,000 in 2014	1	0	130 tables 200 chairs 20 whiteboards 10 shelves 8 PCs 8 printers 40 stoves	Course books Notebooks maps PCs	32	27	1	500 for each	0	2	2	1	1	[Before] n/a [After] n/a	1	1	[Before] n/a [After] n/a	1	1	[Before] n/a [After] n/a	1	Interviewee knew about project period (start/complete)	Interviewee manage to involve community members in labor contribution with good communication with relevant stakeholders	Since September	Had meeting with all relevant partners and gave explanation to students
5	Construction of classrooms for secondary school #2	Deh	M. Abdulvosiev	Rushan	Deputy head of school	10/12/2014	District Education Department	1	25,492	157	1		Budget per children is available in District Edu Dept	1	1	Table Chairs Whiteboards Shelves PCs	Course books Notebooks maps	15	16	1	400 for each	5	2	2	1	1	[Before] n/a [After] n/a	1	1	[Before] It was an old and most classrooms were in accident condotion [After] The rooms are modern and warm	0	1	[Before] It was built many years ago and now wasn't applicable for student to study [After] The condition is in good and rooms are warm and bright	1	Interviewee knew about project period (start/complete)	labor work	It is handed-over and used Gov supported equipments	Had various meeting among all relevant partners (community, local authorities, teachers and students)
6	Construction of four additional classrooms at primary school #44	Langaro	Sagirdasht	Darvaz	Head of District Education dept	15/11/2014	District Education Department	1	14,000	24	0		Budget per children is available in District Edu Dept	1	1	8 tables 12 chairs 3 whiteboard	Course books Notebooks	3	3	1	1468 for all teachers	2	5	5	0	0	[Before] It was built in 1982 and now everything were broken and teachers have no any facility [After] New building is good. Still old facility are used. TJS4,000 is allocated for equipments	0	1	[Before] It was dark in the rooms and the ceiling was broken and dangerous to fall down [After] The rooms are now clean and wide and the ceiling and floor are safe and nice. Electricity is se in each classrooms	0	1	[Before] No standard for school and no hygiene [After] The classrooms are clean and it has lights	1	Interviewee knew about project period (start/complete)	labor work	-Started to used -Parents committee was established and monthly fee is collecting	Almost all villagers was involved discussion -Had meetings with all relevant parties -The community is gratitude to CBDP (MSDSP& JICA) for giving comfortable study environment
7	Construction of four additional classrooms at main school #45	Sangevridoz	Kala-Khumb	Darvaz	Head of District Education dept	15/11/2014	District Education Department	1	22,639	50	1		Budget per children is available in District Edu Dept	1	1	6 PCs tables 28 chairs 2 book shelves 1 whiteboard	Course books Notebooks	12	15	1	1400 for all teachers	1	5	5	0	0	[Before] There was no good teaching facilities and things were broken and out of use [After] There is still lack of teaching facilities	0	1	[Before] There was no separate teaching facilities and things were broken and out of use [After] The classrooms are wide, bright and comfortable for teaching and learning	0	1	[Before] There was no separate room for computer club. The room were dark and in bad condition [After] The classrooms are bright and comfortable	1	Interviewee knew about project period (start/complete) and also additional work schedule	labor work	-It was started t use since 1 September -The parents committee was established and will be responsible for the sustainability of the school	Had discussion among village -Had discussion between village and gov -The community is gratitude to CBDP (MSDSP& JICA)

OM mechanism
 *Most projects are handled by district gov with proper OM mechanism/responsible entity.
 *It must be considered that standard equipments are provided even though the condition are too old and insufficient numbers.

【維持管理のしくみ】
 ・県行政の管轄下で、ほとんどの事業が良好な維持管理の仕組みを有している。
 ・学校立立以降、あるいは工事現場以降に施設維持が滞ったことから、施設内の備品は、古く数量不足も推測されるが、基本的な備品は供給されていた。

Operation
 *Due to project implementation, it has improved for education environment (both teaching and studying).
 *The answers on facility condition from projects in Darvaz, are related to exist facility and equipment/material, not to CBDP implementation.
 Education projects are handled by district gov but still weak with finance for especially education equipments, and VO/SUDVO/ASUDVO and AKF/MSDSP need to confirm with gov in mid-/long term period.

【運営】
 ・事業実施によって、教育環境は大きく改善した。
 ・Darvazの施設状況についての回答は、CBDPで建設した建物ではなく、既存の旧校舎や備品(机、椅子など)についてで、事業対象外の部分についてである。
 ・教育関連事業は全て県行政の管轄下であるが、備品整備などの予算面が弱く、今後中長期的に関係者が確認しFUする必要がある。

Effect
 *No found any negative evaluation from community.
 *All communities recognized and commit to the project, and they were informed the construction schedule change in case.
 *All communities' commitment are in kind (labor work).
 *Both local gov and community were involved to decision making/planning stage facilitated by CBDP.

【事業効果】
 ・利益対象者からの否定的な意見/評価は確認できなかった。
 ・利益対象者は事業について定期的に説明し、家計目録等から行政とともに協議に参加してきた。
 ・全事業、対象者の住民は、役務提供での事業参加している。

Road/Bridge onstruction																																							
[General Information]										[Indicator I] OM mechanism/Responsible Entity										[Indicator II] Operation							[Indicator III] Effect												
Project	Village	Sub-District	District	Answered by	Date of Completion dd/mm/yyyy	Hand over to	Agreement with Jamoat (1=Yes, 0=No)	Community Contribution (TJS)	Community participation (No of hh)	Maintenance committee (1=have, 2=none)	User fee (1=Yes, 0=No)	User fee (TJS/hh/month)	Maintenance Frequency (1=Yes, 0=No)	Maintenance done after completed (1=Yes, 0=No)	Budget availability for major repair (1=Yes, 0=No)	Amount (TJS)	Budget availability for minor repair (1=Yes, 0=No)	Amount (TJS)	Gov's technical inspection & monitoring (1=Yes, 0=No)	Add info	Technical concern (1=Yes, 0=No)	Add info on technical concern	Length of the road/bridge restored (km)	Condition (1=Good, 0=Poor)		Add info	No of users/vehicles per day		Accessibility in winter (1=Yes, 0=No)		Distance from Market (hrs:min)		Distance from Clinic (hrs:min)		Distance from School (hrs:min)		Increase Agri-trade (1=Yes, 0=No)	Add info	
																								Before	After		Before	After	Before	After	Before	After	Before	After	Before	After			
1	Reconstruction of the car bridge	Barsem	Suchon	Shughnan	VO head TWG head	10/12/2014	Bridge maintenance committee at VO level	1	in kind (labor)	204	1	1	5	1	0	0	N/A	1	300	1	Monthly base monitoring was conducted by all partners including local authorities	0	n/a	0.042	0	1	[Before] It was in bad condition and all materials were broken [After] The cables were fastened and almeterials were replaced with new	3	10	1	1	01'00	01'00	00'30	00'30	00'25	00'25	1	Community is now easily taking their agri-products to local and central markets
2	Construction of road connecting Bidurth-Spinz and Khedevshal	Spinz	Suchon	Shughnan	VO head TWG head	30/09/2014	District Road department	0	in kind (labor)	68	1	1	1	0	0	N/A	1	2,500	1	Monthly base monitoring was conducted by all partners including local authorities	0	n/a	2	0	1	[Before] There was no road at all in the village [After] All type of vehicles are passing this road easily	0	15	0	1	01'00	00'15	01'00	00'15	00'20	00'20	1	Community is now easily taking their agri-products to local and central markets	
3	Renovation of road and construction of small car bridge	Bachor	Vankala	Shughnan	VO head TWG head	30/08/2014	District Road department	0	in kind (labor)	30	0	0	0	1	0	1	9,000	0	N/A	1	Monthly monitoring by the road department	1	The smal center pipes do not fit the bridge. It may happen that the star freezes and the pipes blocked.	0.6	0	1	[Before] The water streams flowed to different directions and freeze the road for about 800m. It made people difficult to pass over the icy places of the road. Only some lorries/trucks can pass over the ice [After] Now waer freezing place is only one with 4m. Both small cars and lorries can pass easily. People has access to central services in winter.	1	5	1	1	48'00 (took two days to Khorog)	04'00 (hours to get to Khorog)	24'00 (took one day to get to Vankala)	02'00 (takes two hours)	00'20	00'20	1	Community is now easily taking their agri-products to local and central markets
4	Construction of road connecting Pastkhuf and Khuf villages	Khuf	Pastkhuf	Rushan	VO head	20/04/2014	District Road department	0	in kind (labor)	186	1	1	5	1	0	0	N/A	1	500	1	Gov monitored during implementation proces	0	n/a	2	0	1	[Before] It was dangerous to drive car to the village [After] It was widened and dangerouse places were removed	15	22	0	1	02'00	01'30	02'00	01'30	00'00	00'00	1	Thre project created better condition fro the community to take their agri-products to local and central markets
5	Construction of car bridge and renovation of road Van-Van to Poimazor	Poimazor /Van-Van	Rovand	Varj	Road maintenance department	20/11/2014	District Road department	1	4,000	54	1	1	1	0	0	N/A	1	200	0	n/a	0	n/a	0.14	0	1	[Before] n/a [After] The small bridge was destroyed in 2013 because of flood. It was reconstructed.	n/a	n/a	0	0	02'30	01'00	02'30	01'00	00'20	00'20	1	n/a	
6	Rehabilitation of domestic road of Jamag and Andarbag villages	Jamag	Yazgulom	Varj	Road maintenance department	13/06/2014	District Road department	1	4,000	160	1	1	2	1	1	7,000	1	800	1	n/a	0	n/a	0.5	0	1	[Before] The road was narrow and truck could not pass the road [After] The road is now wide and the pass was lowered	20	35	1	1	02'00	02'00	01'00	01'00	00'00	00'00	1	n/a	
7	Construction of footbridge	Ravgada	Tekharv	Varj	Head of Sub-District	26/06/2014	Tekharv Sub district	1	3,000	25	1	1	2	1	0	1	600	1	200	0	n/a	0	n/a	0.64	0	1	[Before] There was no bridge and the school children could not attend he school for two month in winter [After] The project was completed with high quality and people now have access to all services	n/a	n/a	0	1	02'00	01'00	02'00	01'00	01'00	00'15	1	Community people now spend less time to deliver their productions to central markets

[OM mechanism]
 *Most communities established maintenance committee and collect fee about TJS 2 on an average.
 *These projects are handling by district and most projects are facilitated OM system.
 *These need to be more strengthens finance especially for major repairs.
 *It is recommended that AKF/MSDSP and gov need to follow-up OM mechanism issue of the project in Bachor.

【維持管理のしくみ】
 ・ほほの補益対象村で利用組合が結成され、組合費も徴収(平均TJS 2)されている。
 ・道路橋梁案件は全件県行政の管理下なので、ほほの対象案件の維持管理の仕組みづくりはされている。
 ・現時点では問題は確認されないが、長期的な視点での維持のための予算確保など強化されるべき。
 ・Bachorの案件は維持管理のしくみが確立していない、経緯も含めて今後のFUが必要と思考される。

[Operation]
 *The condition has improved and it contributes to increase users (vehicle) number.
 *No found any big influence on seasonal accessibility.

【運営】
 ・道路/橋梁の状況が改善(建設)され、利用者(車両)が増加した。
 ・コレラの案件では冬の交通アクセスについては、一部向上したが、継続して特段の変化(事業前後)は見られない。

[Effect]
 *It has decreased the time of access to major places around 30min to 1hr on an average(except Bachor).
 *All communities got good access to market and it contribute to their agri-trade.

【事業効果】
 ・公共施設等へのアクセスは平均30分~1時間程度短縮しており、農産物の販売において貢献し事業効果があった。
 ・Bachorに関しては、交通手段のきわめて悪い地域で、事業以前(橋梁がない)は、ほほ交通遮断の状況であった。

SHP station facility

General Information										Indicator I) OM mechanism/Responsible Entity										Indicator II) Operation			Indicator III) Effect								
Project	Village	Sub-District	District	Answered by	Date of Completion dd/mm/yyyy	Hand over to	Agreement with Jameat (1=Yes, 0=No)	Community Contribution (TJS)	Community participation (No of hh)	Maintenance committee (1=have, 2=none)	User fee (1=Yes, 0=No)	User fee (TJS/hh/month)	Maintenance Frequency (1=Yes, 0=No)	Maintenance done after completed (1=Yes, 0=No)	Budget availability for major repair (1=Yes, 0=No)	Amount (TJS)	Amount (TJS)	Gov's technical inspection & monitoring (1=Yes, 0=No)	Add info	Technical concern (1=Yes, 0=No)	Collaoration with AKDN (1=Yes, 0=No)	Add Info	Benefited population/hhs	Facility condition (1=Good, 0=Poor)	Before	After	Add Info	Stability of Electricity supply (1=Good, 0=Poor)	Water sufficiency in Winter (1=Yes, 0=No)		
1	Rehabilitation of thre building and supply canal of small HPS	Pasor/Bopasor/Ghudara	Savnob	Rushan	VO leader	15/12/2014	VO	1	16,305	77 (Pasor) 25 (Bopasor) 34 (Ghudara)	1	1	5	1	0	0	0	0	0	0	0	N/A	0	1	MSDSP, Pamir Energy and Focus	3 schools, 2 health centres, 128hhs	0	1	[Before] The canal of the reservation was destroyed in many places and the building was in accidental condition. Rock fall is threaten the blding. [After] Water infiltration was reduced the building was relocated in safe place. The equipment (aggregate) will be procured soon	0	1
2	Reconstruction of tank of Ravmed small HPS	Ravmed	Bartang	Rushan	VO leader	30/09/2014	VO	1	6,485	50	1	1	10	1	0	0	0	0	1	Gov conducted periodic monitoring and took on technical responsibility	0	1	MSDSP, Pamir Energy and Focus	1 school, 1 health centre, 50hhs, 1 TV station, 1 culture centre	0	1	[Before] The tank was damaged and needed full reconstruction [After] Reconstructed and water sufficiency was improved	1	1		
3	Construction of building and reconstruction of canal for HPS	Basid	Basid	Rushan	VO leader	15/10/2014	VO	1	13,012	105	1	1	16	1	0	0	0	1	3,000	1	The technical inspection and monitoring was discussed with local authorities and they will visit based on the plan	0	1	MSDSP, Pamir Energy and Focus	1 school, 1 health centre, 93hhs, 1 hospital, 1 library, 1 culture centre, 1 carpentry workshop, 1 electric mill and iron and metal processing workshop	0	1	[Before] The tank was in accidental condition and the canal also needed partial reconstruction [After] No water infiltration in canal.	1	1	

【OM mechanism】
 *It is found that the communities' efforts to create OM mechanism such as establishing committee, collecting fee and conducting monitoring, however it would be weak if they still don't pool budget for repairs.
 *The communities don't have any concern with facility. It is assessed that the communities better to cope with long-term maintenance issues, such as aggregate damage.
 *It is assumed that SHP's OM is difficult for only VO further gov's support would be less. It is expected that AKDN agencies (AKF, MSDS, Pamir Energy and Focus) will support comprehensively and continuously.

【維持管理のしくみ】
 *維持管理のための予算確保はできていないが、維持管理組合の設立、組合員費徴収(平均TJS10)、定期モニタリングを実施するなど仕組み作りはある程度できている。
 *現時点での維持管理の懸念は受益者自身は持っていないが、大きな問題発生(発電機故障)した場合の対応など、長期的な視点で取り組む必要があると見られる。
 *小水力発電の維持管理を受益者だけで行うのは困難と考えられ、また行政支援にも期待が大きく持てないため、AKFとPamir Energy、Focusの継続的な協力支援に期待される。

【Operation】
 *The facility were improved and it contribute to both public places and most population in these communities.
 *The SHP is the vital one for communities' life and culture.

【効果】
 *No found any effect yet because it is not direct related to the construction parts.
 *Only Paosor has problem of electricity supply because the aggregate which is out of plan, is broken.

【運営】
 *施設は整備され、各世帯とコミュニティの公共施設へ貢献している。
 *この地域にとって小水力発電はライフラインであるとともに、教育、医療、文化においてもきわめて重要な施設であることがわかる。

【事業効果】
 *電力供給および水量については以前から問題はみられないため、コレラに関する効果は特段見られない。
 *Paosorの案件は、事業途中で発電機が故障したため電力供給が一時停止したため結果である。

Sport hall

【General Information】										【Indicator I】OM mechanism/Responsible Entity										【Indicator II】Operation			【Indicator III】Effect					
Project	Village	Sub-District	District	Answered by	Date of Completion dd/mm/yyyy	Hand over to	Agreement with Jamaot (1=Yes, 0=No)	Community Contribution (TJS)	Community participation (No of hh)	Maintenance committee (1=have, 2=none)	User fee (1=Yes, 0=No)	Maintenance Frequency (1=Yes, 0=No)	Maintenance done after completed (1=Yes, 0=No)	Budget availability for major repair (1=Yes, 0=No)	Amount (TJS)	Budget availability for minor repair (1=Yes, 0=No)	Amount (TJS)	Gov's Technical inspection & monitoring (1=Yes, 0=No)	Add info	Technical concern (1=Yes, 0=No)	Facility condition (2=Excellent, 1=Good, 0=Poor)		Add Info	Satisfaction				
																					Before	After		Project recognition (1=Yes, 0=No)	Add Info	Contribution/Commitment to Implementation	Evaution/others recognition	
1	Repair of Sport Hall	Kushk/Vozm/ Buved	Porshinev	Shughnan	VO head, District TWG head, Head of Sport, Youth and Tourism Committee	31/12/2014	Sport, Youth and Tourism Committee	1	in kind (labor)	35	1	0	0	0	0	0	1	2,500	1	Head of SYT Committee of Shughnan monitored several times	0	0	1	[Before] The roof leaked during raining and there weren't toilet and bathroom. [After] Totally repaired and new toilet and bath were constructed and the space for the trainers was improved	1	•Knew about project start period and completion date. •Found its schedule delay and planned completion period.	labor work	•Done various meetings with all partners including district gov, MSDSP, contractor and head of STY committee •Had discussions with about 35 people from various backgrounds.

*SYT, Sport, Youth and Tourism Committee

【OM mechanism】

•This facility is totally managed by gov institution (SYT) and maintain both inspection mechanism and small budget.
• It is assessed that there is concern that SYT has limited budget for the project maintenance, especially for major repairs.

【維持管理のしくみ】

本施設は公共施設のため行政の管理下にあるため、維持管理の仕組みはすでにできているが、大きな補修のための予算不足などの懸念が考えられる。

【Operation】

•The facility condition was improved and it contributes to training environment.

【運営】

施設は問題箇所が改善され、指導者のトレーニング環境が整備された。

【Effect】

•No found any negative evaluation from community.
•Community recognized and commit to the project, and they were informed the construction schedule change.
•Both local gov and community were involved to decision making/planning stage facilitated by CBRD.

【事業効果】

裨益コミュニティは事業について正確に認識し、また計画段階から行政とともに協議に参加してきた。

Disaster Risk Reduction																																			
General Information										Indicator I) OM mechanism/Responsible Entity										Indicator II) Operation						Indicator III) Effect									
Project	Village	Sub-District	District	Answerd by	Date of Completion dd/mm/yyyy	Hand over to	Agreement with Jamoat (1=Yes, 0=No)	Community Contribution (TJS)	Community participation (No of hh)	Ownership	District gov involvement in implementation (1=Yes, 0=No)	Monitoring Frequency (Month/Quart/ Annual=1/2/3)	Add info on monitoring	Maitence Frequency (1=Yes, 0=No)	Maintenance done after completed (1=Yes, 0=No)	Budget availability for major repair (1=Yes, 0=No)	Amount (TJS)	Budget availability for minor repair (1=Yes, 0=No)	Amount (TJS)	Gov's Technical inspection & monitoring (1=Yes, 0=No)	Add info	Technical concern (1=Yes, 0=No)	Benefitted population/hhs	Length of stabilized river bank (sq/km)	River side condition (1=Good, 0=Poor)		Wate level in summer (High/Low)		Wate level in winter (High/Low)		Flood frequency (time/year)	Main damage by flood		Damage reduction by CBRD	
																									Before	After	Before	After	Before	After		Before	After		Before
1	River Bank Stabilization	Chikhokh	Tekharv	Vanj	Sub-District	17/06/2014	Sub-District	1	500	70	Sub-District	0	1	VO leader and Sub-District head constantly monitored during implementation	0	0	1	800	1	150	1	Deputy District Governor monitored in Aug	0	70 hh	50	0	1	High	High	Low	Low	2	The riverside forest & agri land washed	N/A	Threats of floods was reduced

OM mechanism
 -Jamoat (Sub-district) has ownership and handle this project in OM.
 -Both VO and Jamoat recognize the importance of OM and they pool the budget for maintenance
 -District level has visited the project site.

【維持管理のしくみ】
 ・Jmoat (Sub-district)が中心となり、本案泉の維持管理する取り組みがなされている様子がうかがえる。
 ・維持管理への認識がされ、そのための予算確保もされている。
 ・県レベル(副知事)の訪問があったことが確認された。

Operation
 -No found any change yet because of a short period except improving the condition of riverside

【運営】
 現時点では、川岸整備による洪水対策が完成したこと以外の特段の変化はなし。

Effect
 -No found any effect yet because of a short period.
 -People feel that a threat is reduced.

【事業効果】
 現時点では、洪水被害の減少を図ることが出来ないが、裨益者からは洪水の脅威が減ったとの意見。

CHECKLIST FOR PROJECT COMPLETION INSPECTION

DRAFT VERSION

I. GENERAL INFORMATION

Information provided:

VO/MC _____ **Jamoat:** _____ **District** _____

Information provided:

District (TWG) _____

1.1 Date of Completion _____ Handed over to: _____

1.2 Agreement with Jamoat: Available Yes; No

1.3 Community contribution:(if available specify the amount): _____

1.4 Community participation: number ofhh _____

II. INDICATORS BY AREAS

2.1 Drinking Water Supply

2.1.1 Ownership of the project after completion: _____

2.1.2 Water Users' Committee (WUC) available: Yes No

If yes, number of member:

2.1.3 Water user fee determined: (if yes, specify amount) Yes _____ No

2.1.4 Frequency of monitoring done by whom? (add comment) Monthly; Quarterly,
Annually

2.1.5 Frequency of maintenance work done Yes No

2.1.6 Have you done maintenance work after project completion? Yes No

If yes, when did you do it last time?

2.1.7 Budget available for major repairs (if yes, specify amount) Yes _____ No

2.1.8 Budget available for minor repairs (if yes, specify amount) Yes _____ No

2.1.9 Technical inspection and monitoring mechanism by government Yes(if yes, specify)No

2.1.10 What kind of technical concerns people have?Yes (if yes, specify) No

2.1.11 Number of beneficiaries [PUT NUMBERS]_____

2.1.12 Sufficient water available (use YES/NO) [BEFORE____][AFTER____]

2.1.13 Water level during summer (use HIGH/LOW)[BEFORE____][AFTER____]

If possible, numerical information provided (cm/m)

2.1.14 Water level during winter (use HIGH/LOW) [BEFORE____][AFTER____]

If possible, numerical information provided (cm/m)

2.1.15 Time spent to collect water (use Hr/Min) [BEFORE____][AFTER____]

2.1.16 Types of water borne diseases recorded before the project:

1) Diarrhea; 2) Dysentery; 3) Hepatitis; 4) Typhoid; 5) Other _____ 6) None

2.1.17 Type of water borne diseases reduced after project;

1) Diarrhea; 2) Dysentery; 3) Hepatitis; 4) Typhoid; 5) Other _____ 6) None

2.2 Irrigation Water Supply System

2.2.1 Ownership of the project after completion _____

2.2.2 Water Users' Committee (WUC) available: Yes No

If yes, number of member:

2.2.3 Water user fee determined: (if yes, specify amount) Yes _____ No

2.2.4 Frequency of monitoring done by whom? Monthly; Quarterly, Annually

If any, add comment

2.2.5 Frequency of maintenance work done Yes No

2.2.6 Have you done maintenance work after project completion? Yes No

2.2.7 Budget available for major repairs (if yes, specify amount) Yes _____ No

2.2.8 Budget available for minor repairs (if yes, specify amount) Yes _____ No

2.2.9 Technical inspection and monitoring mechanism by government Yes (if yes, specify) No

If any, add comment

2.2.10 What kind of technical concerns people have? Yes (if yes, specify) No

If any, add comment

2.2.11 Number of farmers benefited from the water supply system [PUT NUMBERS] _____

2.2.12 Length of the canal restored [PUT NUMBERS] _____

2.2.13 Number of distribution points installed [BEFORE _____] [AFTER _____]

2.2.14 Total irrigated land area (ha) [BEFORE _____] [AFTER _____]

2.2.15 Total land area cultivated [BEFORE _____] [AFTER _____]

2.2.16 Water sufficiency (use Yes/No) [BEFORE _____] [AFTER _____]

2.2.17 Cultivable months [From _____ To _____]

2.2.18 Cultivable crops:

1) potatoes; 2) wheat; 3) barley; 4) corn; 5) beans; 6) safflower; 7) sunflower; 8) alfalfa;

9) sainfoin; 10) grass; 11) other _____

2.2.19 Water supply level during summer [High/Low] [BEFORE _____][AFTER _____]

2.2.20 Water supply level during winter [High/Low] [BEFORE _____][AFTER _____]

2.2.21 Total agriculture production per year (see table below)

Type of agriculture produce	Total production/per year (kg)	
	(before project)	(after project)
Potatoes		
Wheat		
Barley		
Corn		
Beans		
Safflower		
Sunflower		
Alfalfa		
Grass		
Other _____		

2.3 Health infrastructure

- 2.3.1 Health facility handed over to health department Yes No
- 2.3.2 Maintenance mechanism by government (if yes, specify) Yes No
- 2.3.3 District health department involved in O&M issues: Yes No
- 2.3.4 Monthly expenses included in health department budget Yes _____ No
- 2.3.5 Equipment is available: _____ specify
- 2.3.6 Medical drugs are available _____ specify
- 2.3.7 Number of medical staff [BEFORE _____][AFTER _____]
- 2.3.8 Number of caseloads and patients that have used services:[BEFORE _____][AFTER _____]
- 2.3.9 Charges collected from patients: Yes _____ TJS No _____
- 2.3.10 Total area under the health infrastructure [BEFORE _____][AFTER _____]
- 2.3.11 Number of rooms increased: [BEFORE _____][AFTER _____]
- 2.3.12 Facility condition before the project: poor good excellent

If any, add comment

- 2.3.13 Facility condition after the project; poor good excellent

If any, add comment

- 2.3.14 Do you know when the project started/completed? Yes (if yes, specify) No

If any, add comment

- 2.3.15 Did you contribute/commit to the project implementation? Yes (if yes, specify) No

If any, add comment

- 2.3.16 Have you used the facility? Yes (if yes, specify) No

If any, add comment

2.3.17 Have you talked with someone about the facility? Or, have you heard anyone talked about the facility? Yes (if yes, specify) No

If any, add comment;

2.3.18 Whom you talked with? And how many people you have talked with? If any, add comment; (Medics/Patients)

If any, add comment;

2.4 Education Infrastructure

- 2.4.1 Handover to government education department Yes No
- 2.4.2 Maintenance mechanism by government available Yes No
- 2.4.3 District education department involved in O&M Yes No
- 2.4.4 Monthly expenses included in education department budget Yes _____ No
- 2.4.5 Equipment is available: _____ specify
- 2.4.6 Teaching material available: _____ specify
- 2.4.7 Number of teachers [BEFORE _____] [AFTER _____]
- 2.4.8 Current salary paid teaching staff Yes _____ (specify) No
- 2.4.9 Number of classrooms increased Yes _____ (specify) No
- 2.4.10 Education facility condition before the project; poor good excellent

If any, add comment

- 2.4.11 Education facility condition after the project; poor good excellent

If any, add comment

- 2.4.12 Schooling hours/shifts [BEFORE _____] [AFTER _____]

- 2.4.13 Teaching conditions (*five students from one group*): (before) poor good excellent

If any, add comment

- 2.4.14 Teaching conditions (*five students from one group*): (after) poor good excellent

Add comment

- 2.4.15 Teaching conditions (head of school): (before) poor good excellent

If any, add comment

- 2.4.16 Teaching conditions (head of school): (after) poor good excellent

If any, add comment

2.4.17 Do you know when the project started/completed? Yes (specify) No

If any, add comment

2.4.18 What was your contribution/commit to the project? Yes (specify) No

2.4.19 Have you used the facility? Yes (specify) No

2.4.20 Have you talked with someone about the facility? Or , Have you heard anyone talked about the facility? (students/teachers/parents) Yes

(if yes, specify)No

If any, add comment;

Whom you talked with? And how many people you have talked with?

If any, add comment;

2.4.21 How villagers think about the project?

If any, add comment;

2.5 Road Construction / Bridge Construction

2.5.1 Project handed over to _____

2.5.2 Maintenance Committee available: Yes No

2.5.3 User fee determined: Yes No

If "Yes", how much per household/head per month (TJS): _____

2.5.4 Frequency of maintenance work done Yes No

2.5.5 Have you done maintenance work after project completion? Yes No

If yes, when did you do it last time?

2.5.6 Budget available for major repairs (if yes, specify amount) Yes _____ No

2.5.7 Budget available for minor repairs (if yes, specify amount) Yes _____ No

2.5.8 Technical inspection and monitoring mechanism by government Yes (if yes, specify) No

If any, add comment

2.5.9 What kind of technical concerns people have? Yes (if yes, specify) No

Add comment

2.5.10 Length of the road/bridge restored [put numbers] _____ sq/m

2.5.11 Condition of the project (before) poor good excellent

If any, add comment

2.5.12 Condition of the project (after) poor good excellent

If any, add comment

2.5.13 Number of users/vehicles per day [put numbers][BEFORE _____][AFTER _____]

2.5.14 Accessibility during winter (before project) Yes No

2.5.15 Accessibility during winter (after project) Yes No

2.5.16 Time /distancespenton: (before project)

- Market: hr _____ min _____
- Clinic: hr _____ min _____
- School: hr _____ min _____

2.5.17 Time spent/distance on: (after project)

- Market: hr _____ min _____
- Clinic: hr _____ min _____
- School: hr _____ min _____

2.5.18 Increase agriculture trade from local to central market Yes (if yes, specify) No

2.6 Small hydro Power Station building/Tank Renovation

2.6.1 Maintenance Committee available: Yes No

2.6.2 User fee determined: Yes No

If "Yes", how much per household/head per month (TJS): _____

2.6.3 Frequency of maintenance work done Yes No

2.6.4 Have you done maintenance work after project completion? Yes No

If yes, when did you do it last time?

2.6.5 Budget available for major repairs (if yes, specify amount) Yes _____ No

2.6.6 Budget available for minor repairs (if yes, specify amount) Yes _____ No

2.6.7 Technical inspection and monitoring mechanism by government Yes (if yes, specify) No

If any, add comment

2.6.8 What kind of technical concerns people have? Yes (if yes, specify) No

If any, add comment

2.6.9 Collaboration with AKDN agencies (specify) Yes No

If any, add comment

2.6.10 Number of household/ schools/med points/other benefit from project Yes (specify) No

If any, add comment

2.6.11 Facility condition before poor good excellent

If any, add comment

2.6.12 Facility condition after project poor good excellent

If any, add comment

2.6.13 Stability of electricity supply poor good excellent

2.6.14 Is water sufficient in winter? Yes No

2.7 Sport hall repair

2.7.1 Maintenance Committee available: Yes No

2.7.2 User fee determined: Yes No

If "Yes", how much per household/head per month (TJS): _____

2.7.3 Frequency of maintenance work done Yes No

2.7.4 Have you done maintenance work after project completion? Yes No

If yes, when did you do it last time?

2.7.5 Budget available for major repairs (if yes, specify amount) Yes_____No

2.7.6 Budget available for minor repairs (if yes, specify amount) Yes_____No

2.7.7 Technical inspection and monitoring mechanism by government Yes (if yes, specify) No

If any, add comment

2.7.8 What kind of technical concerns people have?Yes (if yes, specify) No

2.7.9 Facility condition before poor good excellent

If any, add comment

2.7.10 Facility condition after project poor good excellent

If any, add comment

2.7.11 Do you know when the project started/competed? Yes (if yes, specify) No

If any, add comment

2.7.12 What was your contribution/commit to the project implementation?Yes (if yes, specify) No

If any, add comment

2.7.13 Have you talked with someone about the facility? Or, have you heard anyone talked about the facility? Yes (if yes, specify)No

If any, add comment;

2.7.14 Whom you talked with? And how many people you have talked with?

If any, add comment;

2.8 Disaster Risk Reduction (River bank Stabilization)

2.8.1 Ownership of the project after completion _____

2.8.2 District government involved in project implementation Yes No

2.8.3 Frequency of monitoring done by whom? Monthly; Quarterly, Annually

If any, add comment

2.8.4 Frequency of maintenance work done Yes No

2.8.5 Have you done maintenance work after project completion? Yes No

2.8.6 Budget available for major repairs (if yes, specify amount) Yes _____ No

2.8.7 Budget available for minor repairs (if yes, specify amount) Yes _____ No

2.8.8 Technical inspection and monitoring mechanism by government Yes (if yes, specify) No

If any, add comment

2.8.9 What kind of technical concerns people have? Yes (if yes, specify) No

If any, add comment

2.8.10 Number of community members benefited from the project [PUT NUMBERS]_____

2.8.11 Length of the river bank stabilized [PUT NUMBERS]_____

2.8.12 Condition of the river side [BEFORE____][AFTER____]

2.8.13 Water level during summer [High/Low] [BEFORE____][AFTER____]

2.8.14 Water level during winter [High/Low] [BEFORE____][AFTER____]

2.8.15 Frequency of floods per year [PUT NUMBERS]_____

2.8.16 Season of floods occurrence winter; spring; summer; autumn

2.8.17 Main damages to the community by floods (before): *(please, list all available)*

2.8.18 Main damages to the community by floods (after): *(please, list all available)*

2.8.19 Number of damages reduced by the project?

If any, add comment

Номгуи саволхо барои гузаронидани Баҳодихии Амаликуни

I. Маълумоти умуми

Маълумот пешниҳод шуд:

МХЧ/КМ _____ Чамоат: _____ Нохия _____

Маълумот пешниҳод шуд:

Нохия (ГТД) _____

Таърихи амалишави _____ супорида шуд ба: _____

Оё созишномаи хамкори бо чамоат мавҷуд аст? Ха Не

Саҳми чомаа: (агар *ХА* ҳаҷми онро муаян кунед): _____

Ширкати чомаа дар амаликунии лоихаҳо: шумораи хоҷагиҳо _____

II. НИШОНДИХАНДАХО АЗ РУИ ХУСУСИЯТИ БАРНОМА

2.1 Хати Оби Нушоки

2.1.1 Идоракунии барнома баъди амалишави бар зиммаи ки мемонад?

2.1.2 Оё кумитаи истифодабарандагони об мавҷуд хаст? Бале Не

Агар Ха бошад шумораи аъзоёниро гуед:

2.1.3 Оё пардохти ҳаққи об муаян шудааст? (агар *Ха*, чи қадар бо сомони) Ха _____ Не

2.1.4 Оё мониторинги мунтазам гузаронида мешавад ва аз тарафи ки?

Хармоха; Семоха, Солона

2.1.5 Оё таъмини таъмири мунтазами барнома ба роҳ монда шудааст? Ха Не

2.1.6 Оё баъди амаликунии барнома онро ягон бор таъмир намудаед? Ха Не

Агар Ха бошад, қай ва чиро таъмир намудед?

2.1.7 Оё маблаг барои тамири калон мавчуд хаст? (агар *Ха муаян кунед*) Ха _____ Не

2.1.8 Оё маблаг барои тамири хурд мавчуд хаст? (агар *Ха муаян кунед*) Ха _____ Не

2.1.9 Оё назорати техники ва мониторинг аз тарафи макомот Ха _____ Не

ба рох мона шудааст

Агар лозим шарх диҳед

2.1.10 Оё чома нисбати барнома ягон нофахмиҳои техники дорад? Ха(агар *Ха, муаян кунед*) Не

2.1.11 Шумораи истифодабарандагон [чи кадар] _____

2.1.12 Таъминоти пурраи об дар қадом ҳолат аст? (аз «*Ха/Не*» қор баред) [ПЕШ _____][БАЪД _____]

2.1.13 Сатҳи об дар фасли тобистон шарх диҳед? (аз «*Боло/Поён*») [ПЕШ _____][БАЪД _____]

Агар маълумоти адаи бошад, нависед

2.1.14 Сатҳи об дар фасли зимистон шарх диҳед? (аз «*Боло/Поён*») [ПЕШ _____][БАЪД _____]

Агар маълумоти адади бошад, нависед

2.1.15 Сарфи вақт барои кашондани об? (соат/дақ) [ПЕШ _____][БАЪД _____]

2.1.16 Намудаҳои касалиҳои обгузаранда пеш аз амалишавии барнома:

1) Диария; 2) Дизентерия; 3) Зукум; 4) Тиф; 5) Дигар _____ 6) Ҳеч

2.1.17 Намудҳои касалиҳои обгузаранда кам шудаанд?

1) Диария; 2) Дизентерия; 3) Зукум; 4) Тиф; 5) Дигар _____ 6) Ҳеч

III. Маълумоти умуми

Маълумот пешниҳод шуд:

МХЧ/КМ _____ Чамоат: _____ Нохия _____

Маълумот пешниҳод шуд:

Нохия (ГТД) _____

Таърихи амалишави _____ супорида шуд ба: _____

Оё созишномаи хамкори бо чамоат мавҷуд аст? Ха Не

Саҳми чомеа: (агар *ХА* ҳаҷми онро муаян кунед): _____

Ширкати чомеа дар амаликуни: шумораи хочагиҳо _____

3.1 Таъмини Системаи Обёрикуни

3.1.1 Идоракуни барнома баъди амалишави бар зиммаи ки мемонад?

3.1.2 Оё кумитаи истифодабарандагони об мавҷуд хаст? Ха Не

Агар Ха бошад шумораи аъзоёнро гуед:

3.1.3 Оё пардохти ҳаққи об муаян шудааст? (агар *Ха*, чи кадар бо сомони) Ха _____ Не

3.1.4 Оё мониторинги мунтазам гузаронида мешавад ва аз тарафи ки?

Хармоҳа; Семоҳа, Солона

3.1.5 Оё таъмини таъмири мунтазами барнома ба роҳ монда шудааст? Ха Не

3.1.6 Оё баъди амаликунии барнома онро ягон бор таъмир намудаед? Ха Не

Агар Ха бошад, қай ва чиро таъмир намудед?

3.1.7 Оё маблаг барои тамири калон мавчуд хаст? (агар Ха муаян кунед) Ха _____ Не

3.1.8 Оё маблаг барои тамири хурд мавчуд хаст? (агар Ха муаян кунед) Ха _____ Не

3.1.9 Оё назорати техники ва мониторинг аз тарафи макомот Ха _____ Не

ба рох мона шудааст

Агар лозим шарх диҳед

3.1.10 Оё чомеа нисбати барнома ягон нофахмиҳои техники дорад? Ха (агар Ха, муаян кунед) Не

Агар лозим шарх диҳед

3.1.11 Шумораи деҳқонон аз барнома истифода мубаранд? [микдор] _____

3.1.12 Дарозии канал барқарор қада шуд [масоҳат] _____

3.1.13 Шумораи нуқтаҳои обтаксимкуни? [ТО _____][БАЪД _____]

3.1.14 Масоҳати умумии заминҳои обёришаванда (ха) [ТО _____][БАЪД _____]

3.1.15 Масоҳати умумии заминҳои кишт шуд [ТО _____][БАЪД _____]

3.1.16 Оё таъминоти об басанда аст? (аз Ха/Не кор баред) [ТО _____][БАЪД _____]

3.1.17 Мохҳои кишт [Аз _____ То _____]

3.1.18 Намудҳои зироатҳо:

1) картошка; 2) гандум; 3) чав; 4) чувори; 5) нахӯд; 6) сафлор; 7) офтобпараст; 8)

юнучка; 9) саинфон; 10) алаф; 11) дигар _____

3.1.19 Сатҳи об дар фасли тобистон шарх диҳед? (аз Боло/Поён кор баред) ПЕШ _____][БАЪД _____]

Агар маълумоти адади бошад, нависед

Агар лозим шарх дихед

3.1.21 Тавлиди махсулот дар давоми сол (чадвалро пурра намоед)

Навъ масулот	Истехсоли умуми	
	(пеш аз барнома)	(баъди барнома)
картошка гандум чав чувори нахуд сафлор офтобпараст юнучка саинфон алаф дигар_____		

IV. Маълумоти умуми

Маълумот пешниҳод шуд:

МХЧ/КМ _____ Чамоат: _____ Нохия _____

Маълумот пешниҳод шуд:

Нохия (ГТД) _____

Таърихи амалишави _____ супорида шуд ба: _____

Оё созишномаи хамкори бо чамоат мавҷуд аст?: Ха Не

Саҳми чомаа: (агар *ХА* ҳаҷми онро муаян кунед): _____

Ширкати чомаа дар амаликуни: шумораи хоҷагиҳо _____

4.1 Барномаҳои хифзулсихат

4.1.1 Пружаи хифзулсихат ба тавозуни шуъбаи тандурусти супорида шуд Ха Не

4.1.2 Таъмини таъмири мунтазами аз тарафи мақомот? (агар *Ха*, шарҳ диҳед) Ха Не

Агар лозим шарҳ диҳед

4.1.3 Шуъбаи тандурусти ноҳия таъминот ва таъмиро бар душ гирифт: Ха Не

4.1.4 Харочотҳои хармоҳа ба бучаи шуъбаи тандурусти дароварда шуданд Ха _____ Не

4.1.5 Мавҷдиати таҳизот: *номгӯй* _____

4.1.6 Мавҷдиати дорувори *номгӯй* _____

4.1.7 Шумораи кормандони тибби [ПЕШ _____][БАЪД _____]

4.1.8 Шумораи нафарон аз хизматрасони истифода намуданд: [ПЕШ _____][БАЪД _____]

4.1.9 Ҳаҷми даромад аз хизматрасони : Ха _____ (бо сомони) Не _____

4.1.10 Масохати замин барои сохтмони барнома чудо шудааст: [ПЕШ____][БАЪД____]

4.1.11 Шумораи утокхо зиёд шудаанд: [ПЕШ____][БАЪД____]

4.1.12 Холати тахчизот пеш аз амаликунии барнома: бад хуб аъло

Агар лозим шарх диҳед

4.1.13 Холати тахчизот баъд аз амаликунии барнома; бад хуб аъло

Агар лозим шарх диҳед

4.1.14 Оё шумо вақти саршави/ба итмомрасии барномаро медонед? Ха (агар Ха, шарх диҳед) Не

Агар лозим шарх диҳед

4.1.15 Оё шумо дар амаликунии барнома сахм гузоштед? Ха (агар Ха, шарх диҳед) Не

Агар лозим шарх диҳед

4.1.16 Аз барнома алақай истифода кардед? Ха (агар Ха, шарх диҳед) Не

Агар лозим шарх диҳед

4.1.17 Оё шумо бо ягон кас дар бораи барнома хамсухбат шудед ё баръакс ягон кас дар бораи барнома сухбат кард? Ха (агар Ха, шарх диҳед) Не

Агар лозим шарх диҳед

4.1.18 Бо ки хамсухбат шудед? Бо чанд нафар хамсухбат шудед? *(табибон/беморон)*

Агар лозим шарх диҳед

V. Маълумоти умуми

Маълумот пешниҳод шуд:

МХЧ/КМ _____ Чамоат: _____ Нохия _____

Маълумот пешниҳод шуд:

Нохия (ГТД) _____

Таърихи амалишави _____ супорида шуд ба: _____

Оё созишномаи хамкори бо чамоат мавҷуд аст? Ха Не

Саҳми чомаа: (агар *ХА* ҳаҷми онро муаян кунед): _____

Ширкати чомаа дар амаликуни: шумораи хочагиҳо _____

5.1 Барномаҳои маориф

5.1.1 Пружаи маориф ба тавозуни шуъбаи маорифи ноҳия супорида шуд Ха Не

5.1.2 Таъмини таъмири мунтазами аз тарафи мақомот? (агар *Ха*, шарҳ диҳед) Ха Не

5.1.3 Шуъбаи маъорифи ноҳия таъминот ва таъмиро бар душ гирифт: Ха Не

5.1.4 Харочотҳои хармоҳа ба бучаи шуъбаи маориф дароварда шуданд Ха _____ Не

5.1.5 Таҳизот мавҷуд ҳаст: номгӯй _____

5.1.6 Лавозимҳои дарси: номгӯй _____

5.1.7 Теъдоди муаллимон [ПЕШ _____][БАЪД _____]

5.1.8 Музди меҳнати ҳозира Ха _____ (бо сомони) Не

5.1.9 Шумораи утокҳои дарси зиёд гардид Ха _____ (чи қадар) Не

5.1.10 Ҳолати таҳизоти дарси пеш аз амаликунии барнома: бад хуб аъло

Агар лозим шарҳ диҳед

5.1.11 Холати тахчизотдарси баъд аз амаликунии барнома; бад хуб аъло

Агар лозим шарх диҳед

5.1.12 Соатҳои дарси [ПЕШ____][БАЪД____]

5.1.13 Шароити дарсхони (панҷ талаба аз як синф): (пеш) бад хуб аъло

Агар лозим шарх диҳед

5.1.14 Шароити дарсхони (панҷ талаба аз як синф): (пеш) бад хуб аъло

Агар лозим шарх диҳед

5.1.15 Шароити дарсдиҳи (сарвари мактаб): (баъд) бад хуб аъло

Агар лозим шарх диҳед

5.1.16 Шароити дарсдиҳи (сарвари мактаб): (баъд) бад хуб аъло

Агар лозим шарх диҳед

5.1.17 Оё шумо вақти саршави/ба итмомрасии барнома ро медонед? *Ха (агар Ха, шарх диҳед) Не*

Агар лозим шарх диҳед

5.1.18 Оё шумо дар амаликунии барнома сахм гузоштед? *Ха (агар Ха, шарх диҳед) Не*

Агар лозим шарх диҳед

5.1.19 Аз барнома алақай истифода кардед? *Ха (агар Ха, шарх диҳед) Не*

Агар лозим шарх диҳед

5.1.20 Оё шумо бо ягон кас дар бораи барнома хамсӯхбат шудед ё баръакс ягон кас дар бораи ин

Агар лозим шарх диҳед

5.1.21 Бо ки хамсӯхбат шудед? Бо чанд нафар хамсӯхбат шудед? *(муаллимон, талабагон, волидон)*

5.1.22 Мардуми деҳа дар бораи ин барнома чи назар доранд?

Агар лозим шарх диҳед

Маълумот пешниход шуд:

МХЧ/КМ _____ Чамоат: _____ Нохия _____

Маълумот пешниход шуд:

Нохия (ГТД) _____

Таърихи амалишави _____ супорида шуд ба: _____

Оё созишномаи хамкори бо чамоат мавчуд аст?: Ха Не

Саҳми чомаа: (агар *ХА* ҳаҷми онро муаян кунед): _____

Ширкати чомаа дар амаликуни: шумораи хочагиҳо _____

2.5 Сохтмони рох ва купрук

2.5.1 Барнома ба тавозуни ки супорида шуд _____

2.5.2 Кумитаи нигоҳдошт ташкил шуд: Ха Не

2.5.3 Ҳаққи истифодабарии муаян шуд: Ха Не

Агар «*Ха*» сари хар хочаги чанд пул? (сомони) _____

2.5.4 Таъмири бомаврид иҷро шуд Ха Не

2.5.5 Оё ягон бор барномаро баъди амалишави таъмир намудед? Ха Не

Агар «*Ха*» бошадб мавриди охири кай ва чиро тамир намудед?

2.5.6 Маблаг барои таъмири калон мавчуд ҳаст: (агар *Ха*, чи кадар) Ха _____ Не

2.5.7 Маблаг барои таъмири хурд мавчуд ҳаст: (агар *Ха*, чи кадар) Ха _____ Не

2.5.8 Оё назорати техники ва мониторинг аз тарафи мақомот Ха _____ Не

ба рох мона шудааст

2.5.9 Оё чомеа нисбати барнома ягон нофахмиҳои техники дорад? *Ха*(агар *Ха*, муаян кунед) *Не*

2.5.10 Дарозии рох/купрук баркарор шуд: *[масоҳат]*_____ *майдон/мурабба*

2.5.11 *Холати барнома (пеш)* *бад хуб аъло*

Агар лозим шарх диҳед

2.5.12 *Холати барнома (баъд)* *бад хуб аъло*

Агар лозим шарх диҳед

2.5.13 Шумораи истифодабарандагон/мошинҳо *[чи кадар]* *[ПЕШ_____][БАЪД_____]*

2.5.14 Дастраси ба рох дар зимистон *(пеш)* *Ха Не*

2.5.15 Дастраси ба рох дар зимистон *(баъд)* *Ха Не*

2.5.16 Масрафи вақт/масофа: *(пеш)*

- Бозор: соат_____дак_____
- Касалхона: Соат_____дак_____
- Мактаб: соат_____дак_____

2.5.17 Масрафи вақт/масофа: *(баъд)*

- Бозор: соат_____дак_____
- Касалхона: соат_____дак_____
- Мактаб: соат_____дак_____

2.5.18 Фуруши маҳсулоти кишоварӣ аз бозори маҳали *Ха* (агар *Ха*, шарҳ диҳед) *Не*

ба бозори маркази зиёд гардид:

VII. Маълумоти умуми

Маълумот пешниҳод шуд:

МХЧ/КМ _____ Чамоат: _____ Нохия _____

Маълумот пешниҳод шуд:

Нохия (ГТД) _____

Таърихи амалишави _____ супорида шуд ба: _____

Оё созишномаи хамкори бо чамоат мавҷуд аст? Ха Не

Саҳми чомеа: (агар *Ха* ҳаҷми онро муаян кунед): _____

Ширкати чомеа дар амаликуни: шумораи хочагиҳо _____

2.6 Сохтмони неругоҳи хурди барки/сохтмони

2.6.1 Кумитаи нигоҳдошт ташкил шуд: Ха Не

2.6.2 Ҳаққи истифодабари муаян шуд: Ха Не

Агар «*Ха*» сари хар хочаги чанд пул? (сомони) _____

2.6.3 Таъмири бомаврид иҷро шуд: Ха Не

2.6.4 Оё ягон бор барномаро баъди амалишави таъмир намудед? Ха Не

Агар лозим шарҳ диҳед

2.6.5 Маблаг барои таъмири калон мавҷуд ҳаст: (агар *Ха*, чи кадар) Ха _____ Не

2.6.6 Маблаг барои таъмири хурд мавҷуд ҳаст: (агар *Ха*, чи кадар) Ха _____ Не

2.6.7 Оё назорати техники ва мониторинг аз тарафи мақомот Бале _____ Не

ба роҳ мона шудааст (агар *Ха* шарҳ диҳед)

2.6.8 Оё чомеа нисбати барнома ягон нофахмиҳои техники дорад? *Ха(агар Ха, муаян кунед) Не*

2.6.9 Хамкори бо дигар бахшҳои Ташкилоти Огоҳон оид ба Рушд *Ха Не*

Агар лозим шарҳ диҳед

2.6.10 Шумораи хочагиҳо/ мактабҳо/марказҳои саломати/ва гайра аз барномаи истифода мебаранд *Ха Не*

Агар лозим шарҳ диҳед

2.6.11 Ҳолати барнома *(пеш)* *бад хуб аъло*

Агар лозим шарҳ диҳед

2.6.12 Ҳолати барнома *(баъд)* *бад хуб аъло*

Агар лозим шарҳ диҳед

2.6.13 Таъмини барки ба таври доими *бад хуб аъло*

2.6.14 Оё об дар зимистон кифоя хаст?

Ха Не

Агар лозим шарҳ диҳед

VIII. Маълумоти умуми

Маълумот пешниҳод шуд:

МХЧ/КМ _____ Чамоат: _____ Нохия _____

Маълумот пешниҳод шуд:

Нохия (ГТД) _____

Таърихи амалишави _____ супорида шуд ба: _____

Оё созишномаи хамкори бо чамоат мавҷуд аст? Ха Не

Саҳми чомеа: (агар *ХА* ҳаҷми онро муаян кунед): _____

Ширкати чомеа дар амаликуни: шумораи хочагиҳо _____

2.7 Таъмири холи варзиши

2.7.1 Кумитаи нигоҳдошт ташкил шуд: Ха Не

2.7.2 Ҳаққи истифодабари муаян шуд: Ха Не

Агар «*Ха*» сари ҳар хочаги чанд пул? (сомони) _____

2.7.3 Таъмири бомаврид иҷро шуд Ха Не

2.7.4 Оё ягон бор барномаро баъди амалишави таъмир намудед? Ха Не

Агар лозим шарҳ диҳед

2.7.5 Маблаг барои таъмири калон мавҷуд ҳаст: (агар *Ха*, чи кадар) Ха _____ Не

2.7.6 Маблаг барои таъмири хурд мавҷуд ҳаст: (агар *Ха*, чи кадар) Ха _____ Не

2.7.7 Оё назорати техники ва мониторинг аз тарафи мақомот Ха _____ Не

ба роҳ мона шудаас?

Агар лозим шарх дихед

2.7.8 Оё чомеа нисбати барнома ягон нофахмиҳои техники дорад? *Ха (агар Ха, муаян кунед) Не*

Агар лозим шарх дихед

2.7.9 Холати барнома (*пеш*) бад хуб аъло

Агар лозим шарх дихед

2.7.10 Холати барнома (*баъд*) бад хуб аъло

Агар лозим шарх дихед

2.7.11 Оё шумо вақти саршави/ба итмомрасии барномаро медонед? *Ха (агар Ха, шарх дихед) Не*

Агар лозим шарх дихед

2.7.12 Оё шумо дар амаликунии барнома сахм гузоштед? *Ха (агар Ха, шарх дихед) Не*

Агар лозим шарх дихед

2.7.13 Аз барнома алакай истифода кардед?

Ха (агар Ха, шарх диҳед) Не

Агар лозим шарх диҳед

2.7.14 Оё шумо бо ягон кас дар бораи барнома хамсухбат шудед ё баръакс ягон кас дар бораи ин барнома суҳбат кард?

Ха (агар Ха, шарх диҳед) Не

Агар лозим шарх диҳед

2.7.15 Бо ки хамсухбат шудед? Бо чанд нафар хамсухбат шудед?

Агар лозим шарх диҳед

IX. Маълумоти умуми

Маълумот пешниҳод шуд:

МХЧ/КМ _____ Чамоат: _____ Нохия _____

Маълумот пешниҳод шуд:

Нохия (ГТД) _____

Таърихи амалишави _____ супорида шуд ба: _____

Оё созишномаи хамкори бо чамоат мавҷуд аст? Ха Не

Саҳми чомаа: (агар ҲА ҳаҷми онро муаян кунед): _____

Ширкати чомаа дар амаликуни: шумораи хочагиҳо _____

2.8 Пасткунии Холати Фавкулода (Сохилмустаҳкамкуни)

2.8.1 Барнома ба тавозуни ки супорида шуд _____

2.8.2 Оё мақомоти ноҳия дар амаликунии барнома ширкат кард? Ха Не

2.8.3 Таъмири бомаврид иҷро шуд Ха Не

2.8.4 Оё ягон бор барномаро баъди амалишави таъмир намудед? Ха Не

Агар «Ҳа» бошад ба мавриди охири он кай ва чиро тамир намудед?

2.8.5 Маблаг барои таъмири калон мавҷуд ҳаст: (агар Ҳа, чи қадар) Ха _____ Не

2.8.6 Маблаг барои таъмири хурд мавҷуд ҳаст: (агар Ҳа, чи қадар) Ха _____ Не

2.8.7 Оё назорати техники ва мониторинг аз тарафи мақомот Ха _____ Не

ба роҳ мона шудааст

Агар лозим шарҳ диҳед

2.8.8 Оё чомаа нисбати барнома ягон нофаҳмиҳои техники дорад? Ха (агар Ҳа, муаян кунед) Не

Агар лозим шарх дихед

2.8.1 Шумораи хочагихо аз барнома истифода мебаранд? [чи кадар]_____

2.8.2 Дарозии сохили дарё мустахкам шуд? [масоҳат]_____

2.8.3 Холати сохили дарё? [ПЕШ____][БАЪД____]

2.8.4 Сатхи об дар мавсими тобистон [баланд/паст] [ПЕШ____][БАЪД____]

2.8.5 Сатхи об дар мавсими тобистон [баланд/паст] [ПЕШ____][БАЪД____]

2.8.6 Такроршавии обхези дар давоми сол [чанд маротиба]_____

2.8.7 Мавсими такроршавии обхези winter; spring; summer; autumn

2.8.8 Намудҳои зарархо ки аз обхези ба мардум таҳдид карданд (Пеш): *(please, list all available)*

Агар лозим шарх дихед

2.8.9 Намудҳои зарархо ки аз обхези ба мардум таҳдид карданд (баъд): *(please, list all available)*

Агар лозим шарх дихед

2.8.10 Намудҳои таҳдидҳо ё хатархо тавасути барнома паст карда шудаанд?

Агар лозим шарх дихед

